Oracle[®] Cloud Oracle Content Management でのアセット の管理



F27103-20 2021 June

ORACLE

Oracle Cloud Oracle Content Management でのアセットの管理、

F27103-20

Copyright © 2018, 2021, Oracle and/or its affiliates.

著者: Sarah Bernau

執筆協力者: Bruce Silver、Bonnie Vaughan

協力者: Ron van de Crommert

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report them to us in writing.

If this is software or related documentation that is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, then the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs (including any operating system, integrated software, any programs embedded, installed or activated on delivered hardware, and modifications of such programs) and Oracle computer documentation or other Oracle data delivered to or accessed by U.S. Government end users are "commercial computer software" or "commercial computer software documentation" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, reproduction, duplication, release, display, disclosure, modification, preparation of derivative works, and/or adaptation of i) Oracle programs (including any operating system, integrated software, any programs embedded, installed or activated on delivered hardware, and modifications of such programs), ii) Oracle computer documentation and/or iii) other Oracle data, is subject to the rights and limitations specified in the license contained in the applicable contract. The terms governing the U.S. Government's use of Oracle cloud services are defined by the applicable contract for such services. No other rights are granted to the U.S. Government.

This software or hardware is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications that may create a risk of personal injury. If you use this software or hardware in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure its safe use. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software or hardware in dangerous applications.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Inside are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Epyc, and the AMD logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group.

This software or hardware and documentation may provide access to or information about content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services unless otherwise set forth in an applicable agreement between you and Oracle. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services, except as set forth in an applicable agreement between you and Oracle.

目次

1 スタート・ガイド

Oracle Content Management の概要	1-1
Oracle Content Management へのアクセス	1-1
ロールの理解	1-2
アセットの管理	1-2
コンテンツの管理	1-3
コンテンツのコラボレーション	1-3
サイトの構築	1-3
Oracle Content Management の統合および拡張	1-4
スタート・ガイド	1-4
主な概念	1-5
リポジトリ	1-5
アセット・タイプ	1-7
ローカリゼーション・ポリシー	1-9
公開チャネル	1-10
タクソノミ	1-11
デジタル・アセット	1-13
コンテンツ・アイテム	1-15
スマート・コンテンツ	1-16
Video Plus	1-18
コンテンツ管理構造とは	1-21
アイコンのクイック・リファレンス	1-26

2 アセット・タイプの管理

コンテンツ・タイプの作成	2-2
デジタル・アセット・タイプの作成	2-4
リポジトリへのアセット・タイプの関連付け	2-7
コンテンツ・タイプの編集	2-7
アセット・タイプのコピー	2-8
アセット・タイプの共有	2-9



アセット・タイプの削除	2-9
アセット・タイプ・プロパティの表示	2-9
データ・フィールド	2-9
リッチテキスト・エディタのツールバーのカスタマイズ	2-11

3 ローカリゼーション・ポリシーの管理

ローカリゼーション・ポリシーの作成	3-1
ローカリゼーション・ポリシーの削除	3-2

4 公開チャネルの管理

公開チャネルの作成	4-1
公開チャネルの共有	4-2
公開チャネルの削除	4-2
公開チャネル・プロパティの表示	4-2

5 タクソノミの管理

タクソノミの作成	5-2
タクソノミのプロモート	5-3
タクソノミの公開	5-3
タクソノミの編集	5-3
タクソノミの削除	5-3
タクソノミのエクスポート	5-4
タクソノミのインポート	5-4
タクソノミおよびカテゴリ・プロパティの表示	5-5

6 リポジトリの管理

アセット・リポジトリの作成	6-1
ビジネス・リポジトリの作成	6-4
リポジトリの共有	6-7
あるリポジトリから別のリポジトリへのアセットのコピー	6-7
アセットのインポート	6-8
アセットの HTML レンディションの再公開	6-9
リポジトリ・プロパティの表示	6-10
複数のリポジトリへのサイト・アクセスの付与	6-10
デジタル・アセット・タイプをサポートするためのレガシー・リポジトリの変換	6-10



7 ワークフローの管理

シー	- ドされたコンテンツ・ワークフローの使用	7-2
	1 ステップ・コンテンツ承認ワークフローの例	7-2
	1 ステップ・コンテンツ承認および公開のワークフローの例	7-3
	1 つの変更リクエスト・オプションがある 2 ステップ・コンテンツ承認ワークフローの 例	7-3
	複数の変更リクエスト・オプションがある 2 ステップ・コンテンツ承認ワークフロー の例	7-3
	1 つの変更リクエスト・オプションがある 3 ステップ・コンテンツ承認ワークフローの 例	7-4
	複数の変更リクエスト・オプションがある 3 ステップ・コンテンツ承認ワークフロー	
	の例	7-4
ワ-	- クフローの登録	7-5
ワ-	- クフロー・メンバーシップの編集	7-6
ワ-	- クフロー・ロールの割当て	7-6

8 オーディエンス属性の管理

属性の表示	8-1
カスタム属性の作成	8-2

9 デジタル・アセットの使用

「アセット」ページについて	9-2
アセットの追加と削除	9-5
デジタル・アセットの表示および管理	9-9
アセットの検索、フィルタおよびソート	9-20
アセットのタグ付け	9-23
アセット・カテゴリの割当て	9-24
スマート・カテゴリ化	9-25
イメージの編集	9-26
ビデオの編集	9-27
カスタム・アセット・タイプへのデジタル・アセットの変換	9-29
標準ビデオの Video Plus への変換	9-30
イメージ・レンディションの管理	9-31
アセットのステータスの変更	9-32
アセットのロックまたはロック解除	9-33
ワークフローの使用	9-33
アセットの公開	9-36
アセットの公開ジョブの管理	9-37



アセットの公開イベント・ログの表示	9-39
Adobe Creative Cloud 拡張機能の使用	9-40
拡張機能のインストール	9-42
拡張機能のカスタマイズ	9-42
拡張機能の使用	9-43
拡張機能でのワークフローの使用	9-50
拡張機能のトラブルシューティング	9-50
サードパーティ・クラウド・ストレージ・プロバイダへのアクセス権の取消し	9-50

10 構造化コンテンツ(コンテンツ・アイテム)の使用

構造化コンテンツの理解	10-2
コンテンツ・アイテムの作成	10-6
コンテンツ・アイテムの表示および管理	10-8
コンテンツ・アイテムのバージョンの比較	10-18
コンテンツ・アイテムの使用	10-19
言語アセットの操作	10-19
コンテンツ・アイテムのレビューと言語の追加	10-21
コンテンツ・アイテムのローカライズ	10-22
翻訳コネクタの統合	10-23
「アセット」ページからのコンテンツ・アイテムのローカライズ	10-24
アセット翻訳ジョブの管理	10-26
翻訳のロケール	10-27
翻訳のカスタム・ロケール	10-27
翻訳のカスタム・ロケールの作成	10-28

11 レコメンデーションの使用

レコメンデーションの表示	11-2
レコメンデーションの作成	11-2
オーディエンス・ルールの定義	11-3
オーディエンス・ルールのグループ化	11-5
レコメンデーションのテスト	11-6
テスト・プロファイルの作成と管理	11-6
レコメンデーションの公開	11-7
レコメンデーションの例	11-8



12 コレクションの使用

コレクションの作成	12-1
コレクションの共有	12-2

A トラブルシューティング

アセット・タイプが表示されません	A-1
アセット・リストに知らないファイルが表示されます	A-1
必要なアセットまたはコレクションが表示されません	A-1
デジタル・アセットを削除できません	A-2
公開チャネルを削除できません	A-2



はじめに

このドキュメントでは、Web サイト、マーケティング資料、電子メール・キャンペーン、オンライン・ストア、ブログなど、様々なチャネルで使用する Oracle Content Management 内のすべてのデジタル・アセットを管理する方法を説明しています。

対象読者

この公開資料は、Web ブラウザ、デスクトップ同期アプリケーションまたはモバイル・ デバイスを使用してファイルを操作する Oracle Cloud ユーザーを対象としています。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト(http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc)を参照してく ださい。

Oracle Support へのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供 しています。詳細情報は(http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info)か、 聴覚に障害のあるお客様は(http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs)を 参照してください。

ダイバーシティ&インクルージョン

Oracle はダイバーシティ&インクルージョンに積極的に取り組んでいます。Oracle は、ソート・リーダーシップと革新性を高める社員の多様性を尊重し、その価値を重 んじています。従業員、お客様、パートナー様にポジティブな影響をもたらすインク ルーシブな文化を醸成する私たちのイニシアティブの一環として、製品やドキュメン トからインセンシティブな用語を取り除くように努めています。また、Oracle 製品お よび業界標準が進化する中、お客様の既存の技術との互換性を維持する必要性および サービスの継続性確保の要求にも留意しています。このような技術的な制限により、 当社のインセンシティブな用語を削除する取組みは継続中であり、時間と皆様のご協 力が必要となります。

関連リソース

詳細は、オラクル社の次の資料を参照してください。

- What's New for Oracle Content Management
- Collaborating on Documents with Oracle Content Management
- Administering Oracle Content Management
- Building Sites with Oracle Content Management
- Developing with Oracle Content Management As a Headless CMS
- Integrating and Extending Oracle Content Management



- Capturing Content with Oracle Content Management
- Known Issues for Oracle Content Management

表記規則

このマニュアルでは次の表記規則を使用します。

表記規則	意味
太字	太字は、アクションに関連付けられたグラフィカル・ユーザー・インタフェ ース要素や、本文または用語集で定義されている用語を示します。
イタリック体	イタリック体は、ブック・タイトル、強調、またはユーザーが特定の値を指 定するプレースホルダー変数を示します。
固定幅フォント	固定幅フォントは、段落内のコマンド、URL、サンプル内のコード、画面に 表示されるテキスト、またはユーザーが入力するテキストを示します。



1 スタート・ガイド

Oracle Content Management は、オムニチャネルのコンテンツ管理を促進し、エクスペリエ ンスの配信を加速するクラウドベースのコンテンツ・ハブです。Oracle Content Management では、任意のデバイスで内部的および外部的に迅速にコラボレートして、コンテンツの承認、 デジタル・アセットの管理およびコンテキスト化されたエクスペリエンスの作成を、ビジネ スフレンドリな組込みツールを使用して行うことができます。

- Oracle Content Management の概要
- 主な概念
- コンテンツ管理構造とは

ビデオ

Oracle Content Management の概要

Oracle Content Management は、オムニチャネルのコンテンツ管理を促進し、エクスペリエンスの配信を加速するクラウドベースのコンテンツ・ハブです。これにより、強力なコラボレーションおよびワークフロー管理機能が提供され、コンテンツの作成と配信が容易になり、顧客と従業員のエンゲージメントが向上します。

Oracle Content Management では、任意のデバイスで内部的および外部的に迅速にコラボレートして、コンテンツの承認およびコンテキスト化されたエクスペリエンスの作成を行うことができます。組込みのビジネスフレンドリなツールにより、魅力的なコンテンツの新しい Web エクスペリエンスを簡単に構築できます。同じコンテンツ・プラットフォームおよび同じプロセスを使用して、すべての関係者にデジタル・エンゲージメントを推進できます。技術的および組織的なボトルネックが解消されるため、魅力的なエクスペリエンスを作成するための障壁がなくなります。

🖉 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition の機能セットは制限されています。完 全な機能セットを利用するには、**Premium Edition** にアップグレードします。

Oracle Content Management へのアクセス

Oracle Content Management へのアクセス権が付与された後、インスタンス URL と自分のユ ーザー名に関する詳細が記載されたようこそ電子メールが送られてきます。この情報はサー ビスにログインするために必要であるため、今後の参照用に保持しておくことをお薦めしま す。

Oracle Content Management と対話するための様々な方法があります:

Web インタフェースは、お気に入りの Web ブラウザからの簡単なアクセスを提供します。クラウド内のコンテンツの管理、他のユーザーとのファイルおよびフォルダの共有、



会話の開始および参加、Web サイトの作成(許可されている場合)などを行うことが できます。

- デスクトップ・アプリケーションでは、クラウドとコンピュータ間でファイルおよびフォルダの同期を保ちます。独自のファイルおよび共有されているファイルを 同期し、常に最新バージョンにアクセスできるようにすることができます。
- Microsoft Office アドオンにより、Microsoft Word、Excel、PowerPoint および Outlook から直接 Oracle Content Management 機能にアクセスできます。
- Android および iOS 用のモバイル・アプリケーションにより、電話やその他のモバ イル・デバイスで簡単にアクセスできます。モバイル・アプリケーションの外観と 動作は Web ブラウザのサービスに似ているため、すぐに慣れることができます。 クラウド・コンテンツへのアクセス、ファイルとフォルダの検索およびソート、コ ンテンツの共有、および会話の操作を行うことができます。
- REST API および SDK は、Oracle Content Management の機能を Web アプリケーションとモバイル・アプリケーションにプログラムで組み込むための強力なツール を開発者に提供します。

ロールの理解

アクセスできる Oracle Content Management 機能は、割り当てられているロールによ って決まります。ユーザー・ロールに応じて異なるオプションが表示されます。標準 ユーザーは、ドキュメント、会話およびサイトを操作できます。エンタープライズ・ ユーザーは、アセットにアクセスすることもできます。開発者には、テンプレート、 テーマ、コンポーネント、レイアウトなど、Web サイトの部分を構築およびカスタマ イズするオプションが表示されます。管理者には、サービスの構成、サービスと他の ビジネス・アプリケーションの統合およびアセット・リポジトリの設定を行うオプシ ョンが表示されます。

Oracle Content Management には、様々なタイプのロールがあります:

- 組織ロール 組織内のロールにより、実行する必要があるタスクと機能の使用方 法が決まります。
- **ユーザー・ロール** ユーザー・ロールによって、Oracle Content Management で 表示される機能が制御されます。
- リソース・ロール(権限) リソース(ドキュメント、コンテンツ・アイテム、サイト、テンプレートなど)に関連して表示される内容および実行できる操作は、リソースの共有時に割り当てられたロールによって決まります。

さらに学ぶ...

アセットの管理

Oracle Content Management は、Web サイト、マーケティング資料、電子メール・キャンペーン、オンライン・ストア、ブログなど、様々なチャネルで使用するすべてのアセットを管理するための強力な機能を提供しています。すべてのアセット用の中央コンテンツ・ハブを提供します。そこでは、アセットをリポジトリおよびコレクションに整理し、アセットが使用される方法と場所を定義するルールを作成できます。

アセットの作成および承認プロセスをガイドし、認可されたバージョンのみが使用可 能になるようにする広範な管理およびワークフロー機能もあります。



アセットのタグとフィルタは簡単であるため、必要なアセットを迅速に見つけ、許可されて いる場合にそれらを使用できます。また、スマート・コンテンツ機能により、アセットを使 用するときにタグ付けと推奨が自動的に行われます。

アセット・タイプを作成して、ユーザーがアセットを作成する際に収集する必要がある情報 を定義します。デジタル・アセット・タイプでは、デジタル・アセット(ファイル、イメージ およびビデオ)に必要なカスタム属性を定義します。コンテンツ・タイプでは、コンテンツの 様々な部分を再利用可能な単位にグループ化します。ユーザーは、それらのアセット・タイ プに基づいてデジタル・アセットとコンテンツ・アイテムを作成して、チャネル間での一貫 した使用および表示を確保できます。

さらに学ぶ...

コンテンツの管理

Oracle Content Management では、クラウド内でコンテンツの管理を行うことができます。 すべて 1 箇所で行うことができ、どこからでもアクセスできます。

フォルダ内のファイルをグループ化し、ローカル・コンピュータ上とほぼ同じ方法で一般的 なファイル管理操作(コピー、移動、削除など)を実行できます。また、すべてのファイルがク ラウドに存在するため、どこにいても、またモバイル・デバイスからでもアクセスできます。 デスクトップ・アプリケーションをインストールする場合、すべてのコンテンツはローカル・ コンピュータと自動的に同期できるため、常に最新バージョンを利用できます。

さらに学ぶ...

コンテンツのコラボレーション

クラウド内のすべてのコンテンツでは、ファイルまたはフォルダを共有して、組織の内部ま たは外部の他のユーザーと簡単にコラボレートできます。コンテンツを共有するすべてのユ ーザーは、必要に応じていつでもどこでも最新情報にアクセスできます。フォルダ全体への アクセス権を付与し、特定のアイテムへのリンクを提供できます。共有アイテムへのすべて のアクセスが記録されるため、各共有アイテムがアクセスされた方法とタイミングを監視で きます。

Oracle Content Management の会話では、リアルタイムでのトピックのディスカッションお よびコメントの投稿によって他のユーザーとコラボレートできます。任意のトピックについ て独立した会話を開始し、必要に応じてファイルを追加できます。または、迅速かつ簡単に フィードバックを行うために、特定のファイル、フォルダ、アセットまたはサイトに関する 会話を開始できます。

会話に関連付けられているすべてのメッセージ、ファイルおよび注釈は保持されるため、ディスカッションを簡単に追跡およびレビューできます。また、会話はクラウド内にあるため、 外出中にモバイル・デバイスからそれらを表示して参加することもできます。

さらに学ぶ...

サイトの構築

Oracle Content Management では、概念から起動まで、マーケティングおよびコミュニティ Web サイトを迅速にビルドおよび公開して、魅力的なオンライン・エクスペリエンスを提供 できます。プロセスは完全に統合されています: コンテンツ、コラボレーションおよび創造性 が1つのオーサリングおよび公開環境に結合されています。



迅速に開始するには、すぐに使用可能なテンプレートを使用し、コンポーネント、サ ンプル・ページのレイアウトおよびサイトのテーマをドラッグアンドドロップして、 定義済の構築ブロックからサイトを組み立てます。または、開発者はカスタム・テン プレート、カスタム・テーマまたはカスタム・コンポーネントを作成して、固有のオ ンライン・エクスペリエンスを作成できます。

コンポーネントをページ上の指定されたスロットにドラッグ・アンド・ドロップする だけで、YouTubeビデオ、ストリーミング・ビデオ、イメージ、ヘッドライン、段落、 ソーシャル・メディア・リンク、その他のサイト・オブジェクトを追加できます。ワ ンタッチでテーマを切り替え、サイトをリブランドして、最適化され一貫したルック・ アンド・フィールを組織全体に提供できます。

1つ以上の更新を行い、サイトの更新をプレビューし、準備ができたら、1回クリック するだけで更新を公開できます。

サイト・ビルダーでのサイトの作成および公開に加えて、Oracle Content Management では、REST API、React JS、Node JS、その他の Web テクノロジを使用した'ヘッド レス'サイト開発もサポートされます。

さらに学ぶ...

Oracle Content Management の統合および拡張

Oracle Platform-as-a-Service (PaaS)製品として、Oracle Content Management は他の Oracle Cloud サービスとシームレスに連携します。

Web アプリケーションへの Web UI の埋込みが可能であるため、ユーザーはコンテン ツと直接対話できます。アプリケーション統合フレームワーク(AIF)を使用して、カス タム・アクションを通じてサードパーティ・サービスおよびアプリケーションを Oracle Content Management インタフェースに統合できます。またはコンテンツ・コネクタを 開発して、すでに他の場所で作成したコンテンツを Oracle Content Management に取 り込み、一元的に管理し、複数のチャネルの新規エクスペリエンスで使用できます。

コンテンツとサイトの管理、配信およびコラボレーション用の REST API および SDK の充実したセットにより、Oracle Content Management 機能を Web アプリケーション に組み込むことができます。

クラウド内のコンテンツ SDK およびアセットと対話するクライアント・アプリケーションを作成します。コラボレーション・オブジェクトとのカスタム統合を開発するか、 必要に応じて使用するアセットを取得します。Web サイト、コンテンツ配信ネットワ ーク(CDN)、モバイル・アプリケーションのいずれを使用するかにかかわらず、各チャ ネルに対して最適化されたすべてのコンテンツとアセットのアクセスと配信が可能で す。

さらに学ぶ...

スタート・ガイド

Oracle Content Management の開始の支援が必要な場合は、Oracle Help Center を参照 してください。ここには、ドキュメント、ビデオ、ガイド・ツアー、開発者情報など の多くのリソースがあります。

必要な場合は、役に立つサポートおよびコミュニティもあります。



主な概念

Oracle Content Management を使用したアセットの管理方法の理解に役立つ主な概念を次に示します:

- リポジトリ
- アセット・タイプ
- ローカリゼーション・ポリシー
- 公開チャネル
- タクソノミ
- デジタル・アセット
- コンテンツ・アイテム
- スマート・コンテンツ
- Video Plus

リポジトリ

リポジトリは、基本的にプロジェクト、グループまたはキャンペーンに必要なすべてのアセットを格納するために使用される大きな"バケット"です。リポジトリ管理者は、異なるアセット管理プロジェクトにとって必要な数だけリポジトリを設定できます。

ビジネス・リポジトリとアセット・リポジトリの2つのタイプのリポジトリがあります。 *ジネス・リポジトリ*はアセットを格納します。*アセット・リポジトリ*はアセットを格納しま すが、ユーザーはアセットを公開およびローカライズすることもできます。ビジネス・リポ ジトリに格納されたアセットは、アセット・リポジトリに格納されたアセットの100分の1 で請求されます。

N-F:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、1 つのアセット・リポジトリのみに制限されます。ビジネス・リポジトリはサポートされません。 リポジトリの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にア ップグレードします。

販売、財務、マーケティングなど、会社内の様々な部門を検討してください。すべての部門 には、コンテンツを操作している独自のチームがあります。財務部門のコンテンツは、少な くともコンテンツのライフ・サイクルの一部において、販売部門の人員には関係がない(場合 によってはアクセスさえできない)ことがあります。マーケティング部門で使用されるコンテ ンツは、他の部門のために業務を行っているチームはアクセス可能ですが、確認のみに制限 されており、変更および公開はできません。販売および財務部門では、コンテンツの公開ま たは翻訳は不要なので、ビジネス・リポジトリを使用しますが、マーケティング部門では、 翻訳済コンテンツを公開できるように、アセット・リポジトリを使用します。





各組織は、各部門またはコンテキストに対して個別のリポジトリを作成し、特定の権限を持つそのリポジトリのユーザーとして各チームを割り当てることができます。ユーザーが Oracle Content Management にサインインした場合、関連するリポジトリに割り当てられ、コントリビューション、レビューまたは承認を許可するリポジトリのアクセス権限が付与されます。一部のユーザーは、複数の部門に関与していて、複数のリポジトリ内のコンテンツにアクセスする必要がある場合があります。

適切な権限を持っている場合、Oracle Content Management Web インタフェースの 「**管理」→「コンテンツ」**の下でリポジトリの作成できます。



コンテンツのライフ・サイクル(管理、ワークフロー、公開およびリビジョン追跡など) のすべての側面が、アセットが含まれるリポジトリのコンテキストで使用可能です。 その目的のために、各リポジトリには、アセット・タイプ、タクソノミおよびコンテ ンツ・コネクタが関連付けられています。さらに、*アセット・リポジトリ*は、公開チ



ャネル、ローカリゼーション・ポリシー、翻訳コネクタおよびワークフローが関連付けられ ています。

リポジトリはサイロであり、つまり、あるリポジトリのアセットは、他のリポジトリから表 示および参照できません。別のリポジトリにコピーする必要があります。その一方、複数の リポジトリのアセットを同じチャネルに公開できます。つまり、リポジトリ内のアセットは サイロで管理されますが、クライアント内で同時に消費できることを意味します。

さらに学ぶ...

アセット・タイプ

アセット・タイプでは、アセットに必要な情報は何かを定義します。アセット情報は、レイ アウト(アセットが表示される方法)とは別に保存されます。そのようにして、ユーザーが作成 したアセットを Web サイト、パンフレット、または必要な任意の場所で使用して、状況に 合った方法で表示できます。

*デジタル・アセット・タイプ*と*コンテンツ・タイプ*の2つのメイン・アセット・タイプがあります。

デジタル・アセット・タイプでは、イメージ、ビデオ、ファイルなどのデジタル・アセット にどのような情報を含めるかを定義します。たとえば、イメージには、カメラからの EXIF 情 報(日付、時刻、場所、解像度など)、システム設定(アセット作成日、最終更新日、ステータ ス、バージョンなど)およびカスタム・メタデータが含まれる場合があります。そのカスタム・ メタデータは、デジタル・アセット・タイプが入る場所です。各イメージの著作権、許可さ れる用途、および連絡先情報を収集することが必要な場合があります。Oracle Content Management には、即時利用可能なデジタル・アセット・タイプ(ファイル、イメージおよび ビデオ)がいくつか含まれています。

コンテンツ・タイプは、コンテンツ・アイテムに含まれる情報を指定するために使用される フレームワークです。次の図は、コンテンツ・タイプ(1)にはレイアウト(2)も関連付けること ができ、これにより、それらがどのように表示されるか、およびその特定のレイアウトでど の情報が使用されるかが決まることを示しています。たとえば、従業員の連絡先リストには 情報のサブセットのみが表示され、Web サイト上の別の場所には従業員のピクチャ、ロケー ションおよび役職が表示されるようにすることができます。コンテンツ・タイプを使用して コンテンツ・アイテムを作成すると、様々なレイアウトでそれがどのように表示されるかを プレビューできます。





N-ト:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、アセット・ タイプのサポートは制限されます:

- イメージ、ビデオおよびファイルの即時利用可能なアセット・タイプが 含まれる
- **5**カスタム・アセット・タイプのみ

アセットの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

適切な権限を持っている場合、Oracle Content Management Web インタフェースの 「管理」→「コンテンツ」の下でアセット・タイプを定義できます。

Home	E (Article		Cancel Save
E Sites				
	Conte	Definition Friendly URL Content L	ayout Tile View	
		Data Fields	Content Type Definition	
	🗆 Sei	A Text	Data fields define the type of content to inclu	ide. For example, use a text field for titles and
		Text with up to 2000 characters	Drag and drop data fields from the palette to	build your content type definition.
		Large Text Text with unlimited number of characters	✓ Content Item Data Fields	Collapse by default
[2] Conversations		Media Reference to a digital media asset	= A title	Denvired Single Edit V
		Reference Reference to another content item		
		Date Date and time in ISO 8601 format	E body	Required Single Edit X
		123 Number Signed integer value	author	Required Single Edit 🗙
		0.12 Decimal	≡ 🔝 picture	Single Edit 🗙
		Piosting-point or decimal value		
		0/1 Boolean True or false value	Add Group	
		(i) Embedded Content JSON formatted data		
	_			

各アセット・タイプは、一連のフィールド定義で構成されます。前述の例では、'Article'という名前のコンテンツ・タイプに4つのフィールド(title、body、author および picture)が定義されています。これらのフィールドは、ユーザーがアセット・タイプに基づいてアセットを作成する際に入力するデータ入力フォームに表示されます。

アセット・タイプが定義された後、それをリポジトリに追加し、ユーザーにコントリビュー タ・アクセスを付与して、ユーザーがそのタイプのアセットをリポジトリに作成できるよう にすることができます。その後、アセットを管理、公開、および任意のチャネルで使用でき ます。

さらに学ぶ...

ローカリゼーション・ポリシー

そのコンテンツにテキストを使用するすべてのアセット(コンテンツ・アイテムなど)は、複数 の言語に翻訳できます。ローカリゼーション・ポリシーは、リポジトリ内のテキスト・アセ ットに適用される翻訳ルールです。翻訳が必須であるかどうかと、必須である場合は必須お よびオプションの言語(存在する場合)、ならびにデフォルト言語が定義されます。これは、多 言語コンテンツを操作する必要がある場合、特に便利です。

/ ノート:

- Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、翻訳はサポートされません。完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。
- ローカリゼーション・ポリシーはビジネス・リポジトリでは使用されません。

ローカリゼーション・ポリシーは、イメージまたはビデオなどのデジタル・アセット には適用されません。そのようなコンテンツは、リポジトリへの追加時に翻訳不能と して分類されます。コンテンツ・アイテムは、元のアイテム(マスター・コピーとみな されます)に関連付けられた複数の翻訳バージョンを保持できます。

適切な権限を持っている場合、Oracle Content Management Web インタフェースの 「**管理」→「コンテンツ」**の下でローカリゼーション・ポリシーを定義できます。



ローカリゼーション・ポリシーを作成したら、それを公開チャネルで使用できます。

コンテンツ・アイテムのデフォルト言語バージョンを表示し、特定の情報をコピーす るか、ローカライズ・バージョンのためにすべて新しいコンテンツを作成するかを選 択できます。これにより、様々な国のオーディエンスに対してコンテンツを微調整で きます。

さらに学ぶ...

公開チャネル

公開チャネルとは、リポジトリ内のアセットを使用できる特定のコンテキストです。 アイテムに適用されるリリース・ルールが決定されます。チャネルは、1つ以上のアセ ット・リポジトリに適用でき、1つのリポジトリは複数のチャネルを使用できます。リ ポジトリ内の特定のアセットで異なるチャネルを使用して、個々のケースで適用する ポリシーを微調整できます。Oracle Content Management で Web サイトを作成する と、公開チャネルはチャネル名としてサイト名を使用して自動的に作成されます。ま た、他のコンテキストの公開チャネルも定義できます。





適切な権限を持っている場合、Oracle Content Management Web インタフェースの「管理」 →「コンテンツ」の下で公開チャネルを定義できます。

🛆 Home	∃ O Sear	ch	Q [x 💿 🌍
Assets	Content Publishing Channels	•		Create
Sites				
Q Recommendations				
👲 Developer	Select All			Name 🔻
Analytics	_			
COLLABORATION	Cafe-Suprem Cafe-Supremo C	b hannel		
Documents	_			
Conversations	Email Campai	gn		
ADMINISTRATION	_			
🔂 Integrations	EU Portal			
Content				
	Uideo			

アセット・リポジトリ内のアイテムが公開されると、それに関連付けられている公開チャネ ルで使用可能になります。アセットを公開するように設定したら、ターゲット対象チャネル に定義されたポリシー(ローカリゼーション・ポリシーなど)に対して評価されます。アセット がポリシー基準を満たさない場合、アセットは公開できません。これにより、作成されたポ リシーに対して検証されたアセットのみが公開されることが保証されます。

さらに学ぶ...

タクソノミ

タクソノミは、関連する概念を階層的にグループ化したものです。Oracle Content Management では、タクソノミにより、コンテンツ開発者は明確に定義されたカテゴリにコ ンテンツを分類できます。



🎤 ノート:

- Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、1つのタクソノミのみに制限されます。タクソノミの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。
- タクソノミは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

コンピュータ・ハードウェアのタクソノミを例として、詳しく見てみましょう。

Computers Desktop Laptop All-in-One Server Tablets iPad Android Printers Inkjet Laser

この例では、Hardware タクソノミに 3 つの上位カテゴリ(Computers、Tablets および Printers)があり、これらのカテゴリには同様にいくつかの子があります。これらの子カ テゴリには、それぞれ独自の子カテゴリなどを設定できます。このような論理的なエ ンティティの構造は、基本的に階層的なカテゴリ・セットを表しています。

適切な権限を持っている場合、Oracle Content Management Web インタフェースの 「管理」→「コンテンツ」の下でタクソノミを定義できます。





タクソノミおよびカテゴリが定義され、アセット・リポジトリに割り当てられると、コンテンツ作成者はコンテンツをそのタクソノミのカテゴリに分類できます。たとえば、'iPad Pro 12.9'と呼ばれるアセットは、/Hardware/Tablets/iPad に分類されます。あらゆる種類の任意の 数のアセットをカテゴリに分類できます。カテゴリは、特定の概念に属するコンテンツの論 理的なプレースホルダにすぎません。

タクソノミは、アセットを編成するために使用されるカテゴリの階層で、ユーザーが作業している領域にドリルダウンすることでアセットを検出できるようにします。1つのタクソノ ミを複数のアセット・リポジトリに割り当てることも、複数のタクソノミを1つのリポジト リに割り当てることもできます。たとえば、部門ごとに、およびビジネスの製品またはイニ シアチブごとに異なるタクソノミを作成できます。その後、「マーケティング部門」および 「製品」というタクソノミをマーケティング・リポジトリに適用し、「販売部門」および「製 品」というタクソノミを販売リポジトリに適用できます。

さらに学ぶ...

デジタル・アセット

組織ではイメージ、ビデオだけでなくテキストベースのコンテンツなど、多くのデジタル・ アセットを使用し、それらは様々な方法およびコンテキスト(Web サイト、マーケティング資料、電子メール、キャンペーン、オンライン・ストア、ブログ)で使用されます。デジタル・ アセットは、多くの場合コンテンツ・モデリングおよび公開に使用されるため、コンテンツ・ コラボレーション、共有および同期化をより目的としている"通常"のドキュメントと異なりま す。

Oracle Content Management は、すべてのデジタル・アセット用の一元的な場所を提供しま す。そこでは、アセットをリポジトリおよびコレクションに整理し、アセットが使用される 方法と場所を定義するルールを作成できます。アセットの作成および承認プロセスをガイド し、認可されたバージョンのみが使用可能になるようにする広範な管理およびワークフロー



機能も提供されます。デジタル・アセットは、アセットに必要な追加情報を定義する デジタル・アセット・タイプに関連付けられています。デジタル・アセットを作成す るには、新規ファイルを Oracle Content Management Web インタフェースのアセッ ト・ビューにアップロードまたはドラッグ・アンド・ドロップします。Oracle Content Management で既存のファイルを選択し、(元のファイルと完全に異なる)アセットとし てリポジトリに追加することもできます。



🖍 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、アセットのサポートは制限されます:

- **5,000** アセットのみ
- イメージ、ビデオおよびファイルの即時利用可能なアセット・タイプが 含まれる
- 5カスタム・アセット・タイプのみ
- イメージ編集やカスタム・レンディションなし(自動レンディションはサポート)
- アーカイブおよび保持はサポートされません
- Video Plus はサポートされません
- Adobe Creative Cloud 拡張機能はサポートされません

アセットの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

デジタル・アセットはアセット・リポジトリに常に関連付けられ、これにより、アセットをグループ化して分類し、どのように使用できるかを制御できます。アセットをリポジトリに追加すると、その管理、レビューおよび公開が可能になり、アセットは、割り当てられている公開チャネルで使用可能になります。デジタル・アセットへは、'



ヘッドレス'環境などの REST API コールを使用してプログラムでアクセスすることもできます。

さらに学ぶ...

コンテンツ・アイテム

コンテンツ・アイテムとは、アセットとして扱われ、リポジトリ内で管理される構造化され たコンテンツの要素です。この種のコンテンツは、任意のファイルまたはレイアウトとは別 に存在します。コンテンツ・アイテムは、基本的にコンテンツ・タイプの個別のインスタン スであり、この構造化されたコンテンツが何で構成されているかを定義しています。たとえ ば、タイトル、本文、執筆者および写真で構成される'Article'と呼ばれるコンテンツ・タイプ があるとします。各記事は、タイトル、本文、執筆者および写真の特定の組合せで構成され るコンテンツ・アイテムに保存されます。これらの各要素は、Oracle Content Management 内にそれ自体のアセットとして存在しますが、記事全体は、別のアセットとしても管理され ます。コンテンツ・アイテムの要素はすべて、まとまった1つのグループとして、または様 々なレイアウトやフォーマットで別々に、必要な場所で使用できます。

Vlogitem v0.2	2		Full Screen	Close
		Content Form View 👻	Fit to Window 👻	ľ E
Content Item Da	ata Fields Coffee and Ice Cream!		Coffee and Ice Cream! The debate has raged since the first ground bean and frozen milk - given	
uthor Image	david_sq.png 💿		the choice, what's the BEST comfort food? Now, science provided the answer. A new study Jerry Ben Haagan University was recently in Food Science Quart's	has from published with
Article	The debate has raged since the first ground bean and froze comfort food? Now, science has provided the answer. A new study from Jerry Ben Haagan University was publish results that you will find both calming and envigorating. In	en milk - given the choice, what ned recently in Food Science Q a double-blind machiato cone	en-US Master ▼ at Vlogitem 2 v0.2 Just now	0
	, <u>,</u> , , , , , , , , , , , , , , , , ,		Vlog	۲

🎤 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、アセットのサポートは制限されます:

- **5,000** アセットのみ
- **5**カスタム・アセット・タイプのみ
- アーカイブおよび保持はサポートされません
- 翻訳はサポートされません
- スマート・オーサリングはサポートされません

アセットの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、**Premium Edition** にアッ プグレードします。



コンテンツ・アイテムは、格納されているリポジトリに設定されたチャネルポリシー とローカリゼーション・ポリシーに従い、他のデジタル・アセットと同じ公開プロセ スをたどります。コンテンツ・アイテムは必要に応じて複数の言語に翻訳でき、各バ ージョンのアイテムは個別のワークフローをたどります。つまり、フランス語バージ ョンは、たとえばスペイン語バージョンまたは英語バージョンとは別に管理できます。 英語バージョンが発行されて使用されている場合に、フランス語バージョンはレビュ ー中、スペイン語バージョンはドラフト段階ということがあります。

さらに学ぶ...

スマート・コンテンツ

スマート・コンテンツを使用すると、作成者やオーサリング担当者がコンテンツを簡 単に見つけられるようになります。

問題

企業は、何千ものデジタル・アセット(イメージ、HTML ページ、ビデオ、PDF、テキ ストなど)を Oracle Content Management に保有しています。これらのアセットは、コ ンテンツ作成者、オーサリング担当者および消費者が必要なときにコンテンツを見つ けられて初めて価値あるものとなります。

コンテンツが見つかるためには、コンテンツのタグ付けと分類が必要です。コンテン ツとその意味を説明するメタデータでコンテンツをタグ付けする必要があります。次 に、タグ付けされたコンテンツを整理し、コンテンツが適時に適切なコンテキストで 見つかって提供されるようにする必要があります。

今まで、このタグ付けと分類は手動のプロセスでした。メディア企業は、コンテンツ のタグ付けと分類に何百時間も費やした上で、精度の維持にも時間をかけています。 コンテンツのタグ付けと分類を継続的に行わないと、コンテンツを見つける上で問題 が生じます。

オラクル社では、手動でタグ付けと分類を行わなくてもコンテンツが見つかるように するとともに、もう一歩踏み込んで、ユーザーが検索しなくても適切なアセットが推 奨されるような方法を見いだしたいと考えていました。

ソリューション

スマート・コンテンツは Oracle Content Management の答えです。人工知能(AI)を使 用してコンテンツを分析することにより、コンテンツの見つかりやすさを高めていま す。スマート・コンテンツには次の機能があります:

- スマート検索。手動でタグ付けを行わなくてもイメージが分析されて、関連するイメージが返されます。これにより、苦労してイメージをタグ付けしなくてもイメージの見つけやすさが向上します。
- スマート・オーサリング。オーサリング・プロセス中に適切なイメージが推奨され ます。ユーザーがイメージのタグ付けや検索を行う必要はありません。イメージ は、現在の記事で表現されている意図に基づいて推奨されます。

🖉 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、スマート・オーサリングはサポートされません。完全な機能セットを利用する には、**Premium Edition** にアップグレードします。



• **スマート分類**。コンテンツ・アイテム内のコンテンツに基づいてカテゴリが推奨されます。



スマート・コンテンツの仕組み

スマート・コンテンツのバックボーンは主に2種類のAIモデルで構成されています:

 何百万ものイメージに対して、新規イメージ内の関連するオブジェクトやパラメータを検 出できるようにトレーニングされたコンピュータ・ビジョン・モデル。新規イメージがリ ポジトリにアップロードされると、見つかりやすさを高めるために自動的にタグ付けされ ます。ユーザーが検索を実行すると、それらの自動タグに基づいて最も関連性の高い結果 が返されます。Oracle Content Management により、スマート・キーワード(推奨キーワ ード)も表示されるので、ユーザーは検索をさらに絞り込むことができます。

ノート:

必要に応じてアセットを手動でタグ付けして、検索結果の精度をさらに高める ことも引き続き可能です。

記事の主な意図を導出できる自然言語処理(NLP)モデル。この意図は、記事の意図と、前述のコンピュータ・ビジョン・モデルを使用して生成された自動タグとを照合することにより、関連するイメージを推奨するために使用されます。

① ビデオ

プロセス

スマート・コンテンツは、新規に作成したリポジトリではデフォルトで有効になります。既 存のリポジトリの場合、リポジトリ管理者が手動でスマート・コンテンツを有効化する必要 があります。

ユーザーがアセットを検索すると、Oracle Content Management により、検索キーワードが 推奨されます。



ユーザーがイメージを含むコンテンツ・アイテムを作成すると、Oracle Content Management により、記事の意図が判別されて関連するイメージが提示されます。

ユーザーがコンテンツ・アイテムを作成またはアセット・カテゴリを割当てすると、 Oracle Content Management により、コンテンツ・アイテム内のコンテンツに基づい てカテゴリが推奨されます。

よくある質問

- スマート・コンテンツをオフにして、関連する変更を元に戻す方法はありますか。
 はい。リポジトリでスマート・コンテンツをオフにします。
- 探しているアセットがスマート検索で見つからない場合、検索動作を改善するには どうすればよいですか。
 スマート検索では検索キーワードに対して完全で正確な結果が返されない場合、探している検索語を使用してアセットを手動でタグ付けすることができます。
- マシン・タグがイメージに表示されるのはなぜですか。

マシン・タグは手動でキュレートすることを意図していません。Oracle Content Management では、可能なかぎり多くのパラメータおよび属性に基づいてイメージ を分析するため、多数のマシン・タグが生成されます。また、AI モデルは絶えず 改善されているため、新しいイメージが追加されるとマシン・タグが向上します。 探しているものが見つからない場合は、いつでも手動のタグを追加できます。 Oracle Content Management では、結果を返すときに、手動のタグを最も重要視し ます。

- データは Oracle サーバーからなくなるのですか。
 いいえ。
- 使用状況データはログに記録されていますか。
 Oracle Content Management では、サービス向上の取組みの一環として、非匿名の ロギングを行って機能の使用状況を把握しています。

Video Plus

ガイド・ツアーを実行(英語のみ)

今日の視覚世界におけるビデオ・アセット管理および配信の重要性はますます高まっています。オーディエンスは、Web サイトやその他のコンテキストにおいて豊かなオンライン・エクスペリエンスを期待しており、ビデオはその点において大きな役割を 果たしています。

Oracle Content Management は、ビデオを含むすべてのデジタル・アセットの中心的 なハブとして機能します。ビデオ・アセットを管理および使用するための2つのオプ ションが提供されています。

- 標準ビデオ:すぐに使用でき、他のアセットと同じ管理および配信機能を提供し、 タグ付け、カテゴリ化、レビュー、ワークフロー、会話、基本的な再生などが可能 です。
- Video Plus: 豊富なビデオ管理および配信エクスペリエンスを提供し、すべての標準機能に加え、最適化されたストリーミング、自動トランスコードおよび会話のための高度な機能、ならびによりレスポンシブな再生オプションを使用できます。



💉 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、**Video Plus** はサポートされません。完全な機能セットを利用するには、**Premium Edition** にアップグレードします。

Video Plus は、Oracle Content Management のオプション機能であり、サービス管理者がイ ンスタンスに対して有効にする必要があります。これが完了すると、リポジトリ管理者は、 Video Plus 機能を利用するために新規または既存のアセット・リポジトリを構成できます。 リポジトリにアップロードされた新しいビデオは、Video Plus アセットとして管理されます。 既存のアセット・リポジトリ内にすでにあるすべてのビデオは、そのリポジトリ内の Video Plus を有効化した後も標準ビデオのままであることに注意してください。アップロードされ た新しいビデオは、Video Plus アセットとなります。



💉 ノート:

Video Plus は、関連する料金を伴う追加サービスです。料金は、システム内のビデ オ・アセット数に基づき毎月請求されます。アウトバウンド・トラフィックおよび ストレージの既存料金は変更されず、他のアセットのようにビデオに適用されます。 料金は比例配分されます。価格設定、請求および関連する割引の詳細については、 営業担当者に問い合せいただき、Oracle PaaS および IaaS ユニバーサル・クレジッ ト・サービスの説明の Oracle Content and Experience Cloud Service に関する項を 参照してください。

標準ビデオ機能

標準ビデオ・アセットはサイトで使用可能ですが、配信方法において制限があります。たと えば、標準ビデオ・アセットは、再生に Web ブラウザを利用します。このため、標準ビデオ は、サポートされているすべてのブラウザで共通である MP4 フォーマットにすることをお薦 めします。様々なデバイスが様々なフォーマットでビデオを保存するため、これは、ビデオ・ アセットを Oracle Content Management にアップロードする前に、手動で変換する必要があることを意味します。

また、配信に Web ブラウザを使用するため、ビデオのコントロールは、再生、一時停 止および音量など単純な機能に制限されることが多くあります。加えて、ビデオ・フ ァイルが大きい、またはネットワークのバッファリングの問題がある場合、配信の遅 延が発生することがあるため、標準ビデオ・アセットは、再生を開始する前に全体を ダウンロードする必要があります。

Video Plus の機能

Video Plus アセットは、アダプティブ・ビットレート・ストリーミングを使用してス トリーミングされ、この場合は、ビデオ全体がダウンロードされるまで待機せずに、 ただちに再生が開始されます。ストリームはネットワークの状況が変化してもそれに 適応され、ストリームが最適化されるため、オーディエンスは、使用しているデバイ ス、Web ブラウザまたはネットワークに関係なく、良好な状態でビデオを表示できま す。

Video Plus では、あらゆるフォーマットのビデオをアップロードでき、Oracle Content Management により、最適な状態で配信するために適切なフォーマットにトランスコ ードおよび変換されます。Video Plus ビデオにカーソルを合わせると、アニメーショ ン化されたビデオのプレビューが表示され、ビデオ品質の指定および2分の1から2 倍の再生速度の指定など、追加の再生機能を利用できます。さらに、ビデオの前後に スキップしたり、またはビデオのリロードを待機することなくクリック操作でビデオ のタイムラインの任意の場所に簡単に移動したりできます。



次は、Oracle Content Management で提供されている標準ビデオと Video Plus の機能 を並べて比較しています:





機能	標準ビデオ	Video Plus
会話	\bigcirc	\bigcirc
グリッド・ビューでの自動サム ネイル	,	\bigcirc
 アニメーション化されたプレ ビュー		\bigcirc
自動フォーマット変換		
アダプティブ・ストリーミング	۶ ۵	
ビデオ編集		
即時再生		
ページに合わせた自動サイズ 変更		
 ビデオ内のクイック・ナビゲー ション	-	
多様な再生速度		
調整可能なビデオ品質		

コンテンツ管理構造とは

すべての組織は、大量のアセットを毎日生成しており、多くの場合労力を倍増させています。 アセットの効果的な管理とは、アセットがテキスト、イメージ、ビデオまたはこれらすべて で構築されたコンテンツ・アイテムであっても、効率的に格納、コラボレーション、検出お よび公開できることを意味します。アセットの管理および公開に使用できる Oracle Content Management のいくつかの機能を見てみましょう。

Oracle Content Management のコンテンツ管理構造はリポジトリから開始します。リポジト リは、組織の Web、モバイルまたはその他のユーザー・エクスペリエンスを構築するために 必要なアセットの格納場所です。アセットには、コンテンツの個々の部分を表す*コンテンツ・ アイテム*(ブログの投稿、事例研究、製品情報など)や、エクスペリエンスに必要なイメージ、 ビデオ、またはその他のタイプのメディアを表す*デジタル・アセット*があります。

ビジネス・リポジトリとアセット・リポジトリの2つのタイプのリポジトリがあります。 *ジネス・リポジトリ*はアセットを格納します。*アセット・リポジトリ*はアセットを格納しま すが、ユーザーはアセットを公開およびローカライズすることもできます。ビジネス・リポ ジトリに格納されたアセットは、アセット・リポジトリに格納されたアセットの100分の1 で請求されます。

リポジトリ管理者は、リポジトリのアセット・タイプを選択して、リポジトリに格納できる アセットのタイプを定義します。タクソノミをリポジトリに割り当てて、アセットの分類を 可能にします。アセット・リポジトリの場合、公開チャネルをリポジトリにターゲット指定



して、内部サイトと外部アプリケーションのどちらによって消費されるかなど、アセットの公開のルールも定義します。自分のユース・ケースをサポートするために必要 なその他のリポジトリ設定を構成します。

複数のリポジトリを作成して、様々なビジネス・ニーズを処理できます。例:

- 1つのリポジトリを設定して、企業 Web サイトに公開するコンテンツをサポートできます。リポジトリの割当て済公開チャネルの1つにローカリゼーション・ポリシーを関連付けて、サイトのグローバル配信を可能にするために必要な言語を定義します。外部言語サービス・プロバイダによるコンテンツの翻訳を有効にするには、翻訳コネクタをリポジトリに割り当てます。アセットを企業サイトに公開する前に、ビジネス所有者がそれらをレビューして承認する必要があります。リポジトリに関連ワークフローを割り当てることで、その作業を促進します。
- マーケティング自動化システムのデジタル・アセットの管理をサポートする別のリ ポジトリを設定します。パーソナライズされたキャンペーンをサポートするため に必要なカスタム属性にデジタル・アセット・タイプを割り当てます。個々の製品 または顧客のアセット分類を可能にするには、ビジネスに該当する製品階層または 業界を表すタクソノミを割り当てます。コントリビュータがアセットの分類また は関連デジタル・アセットの単純な検索を行うのを支援するには、リポジトリでス マート・コンテンツ機能を有効にします。
- 組織は、マーケティング・キャンペーンのコンテンツを作成する外部デザイン代理 店と協力できます。これらの代理店とのコラボレーションのためにリポジトリを 設定できます。Google Drive、OneDrive またはその他のサードパーティ・コンテ ンツ・プロバイダのコンテンツ・コネクタを割り当てて、デザイナがこれらの外部 リポジトリからデジタル・アセットをアップロードできるようにします。

Oracle Blogs を例として使用して、アセット・リポジトリの設定をガイドし、類似サイトにコンテンツを投稿できるようにします。必要な依存関係を作成し、リポジトリを設定するために使用できるプロセスを示します。

・ アセット・タイプ

Oracle Blogs のコア・コンテンツ要素は、ブログ記事、ブログの著者に関する短い 記事、イメージ、ビデオおよび PDF ファイルで、一部の記事ではこれらをダウン ロードできます。Oracle Content Management では、このコンテンツは2つのタ イプのいずれかのアセットとして表されます:

- コンテンツ・アイテムが格納できるデータの構造を定義するコンテンツ・タイプ。ブログの著者に関する情報を格納するには、著者の名前を表すテキスト・フィールド「名前」、役職を表すテキスト・フィールド「役職」、著者の写真を表すメディア・フィールド「写真」、および略歴を表す「著者経歴」がある著者コンテンツを定義します。ブログ記事の場合、記事のタイトルを表すテキスト・フィールド「タイトル」、ブログ記事のリストまたは検索結果ページに表示されるサマリーを表すテキスト・フィールド「サマリー」、記事自体を表すリッチテキスト・フィールド「コンテンツ」、記事のヘッダーに表示されるイメージを表すメディア・フィールド「カバー・イメージ」、およびブログ著者のコンテンツ・アイテムを参照する参照フィールド「ブログ著者」がある「記事」コンテンツ・タイプを定義します。
- デジタル・アセットが格納できるファイル・メディア・タイプおよびアセット を説明する属性(メタデータ)の構造を定義するデジタル・アセット・タイプ。
 即時利用可能なイメージ、ビデオ、およびファイル・タイプを使用して、ブロ グ・サイト用のイメージ、ビデオおよび PDF ドキュメントを管理するか、カ スタム・デジタル・アセット・タイプを定義します。たとえば、イメージ作成 者の名前を格納するテキスト属性「*属性*」がある「著者の写真」デジタル・ア セット・タイプを定義し、メディア・タイプが PDF ファイルに制限される「ブ

ログ・ドキュメント」デジタル・アセット・タイプを定義して、コントリビュータが ブログ・サイトで PDF のみ公開でき、Microsoft Word ドキュメントなどの他のファ イルは公開できないようにすることができます。

次に、これらすべてのアセット・タイプをブログ・サイトのリポジトリに割り当てて、マ ネージャまたはコントリビュータのロールを持つリポジトリ・メンバーが次のことを行え るようにします。

- 「著者」および「記事」コンテンツ・タイプからコンテンツ・アイテムを作成します。
- 写真をアップロードして「著者の写真」デジタル・アセット・タイプからデジタル・ アセットを作成します。これは、「著者」コンテンツ・タイプから作成されたコンテンツ・アイテムの「写真」フィールドで参照できます。
- イメージまたはビデオを必要に応じてアップロードして、即時利用可能な「イメージ」または「ビデオ」デジタル・アセット・タイプからデジタル・アセットを作成します。その後、これを「記事」コンテンツ・タイプまたはサイト上の他の場所から作成されたコンテンツ・アイテムで使用できます。
- ファイルを PDF 形式でアップロードして、「ブログ・ドキュメント」デジタル・アセット・タイプからデジタル・アセットを作成します。これをブログ記事にリンクできます。

コントリビュータは、リポジトリに関連付けられているデジタル・アセット・タイプで指 定されたファイル・タイプのみのアップロードに制限されることに注意してください。

• 言語(ローカリゼーション・ポリシー)(ビジネス・リポジトリでは使用できません)

組織がグローバルに操業している場合、公開されたコンテンツは通常、地域の言語に翻訳 する必要があります。コンテンツの翻訳を有効にするには、リポジトリに必要な言語が割 り当てられている必要があります。言語をリポジトリに直接割り当てることができます。 ただし、ベスト・プラクティスとして、主要な国または地域の必須およびオプションの言 語をローカリゼーション・ポリシーで定義する必要があります。サイトにコンテンツを公 開するために使用されるチャネルにローカリゼーション・ポリシーを割り当て、その公開 チャネルをリポジトリに割り当てると、関連付けられたローカリゼーション・ポリシーで 定義されている言語がリポジトリに自動的に割り当てられます。

• **公開チャネル** (ビジネス・リポジトリでは使用できません)

公開チャネルにより、リポジトリで管理されているアセットを Web サイト(または、その ための REST API を使用できる外部アプリケーション)で使用可能にできます。チャネル では、アセットを公開前に承認する必要があるかどうか、公開されたコンテンツがパブリ ックかセキュリティで保護されているか、そしてセキュリティで保護されている場合は特 定のユーザー・ロールを持つユーザーのサブセットに限定できるかどうかなど、公開ルー ルを定義します。

Oracle Content Management を使用してブログ・サイトを作成する場合、公開チャネルが 自動的に作成され、サイトに対して選択するリポジトリに割り当てられます。別のテクノ ロジを使用してブログ・サイトを作成し管理する場合、または、たとえば一部のブログ記 事をモバイル・アプリケーションまたは別のサイトに公開することを計画している場合 は、追加の公開チャネルを作成し、それらをサイトのリポジトリに割り当てることができ ます。

公開チャネルをリポジトリに割り当てた後、リポジトリ・メンバーは、公開チャネルの制限が適用されるこれらのチャネルにアセットをターゲット指定し、公開できます。

・ タクソノミ

ブログ・サイトなどの Web サイト上の記事は通常、訪問者が関心のある領域、製品名、 または技術情報やナレッジの特定の領域でブログの投稿をフィルタすることで関連情報 を見つけるのに役立つカテゴリに整理されます。たとえば、Oracle Blogs には、公開され



ている記事を Analytics Advantage Blogs、Developers Blogs または Netherlands Blogs に絞り込むために使用できるブログ・ディレクトリがあります。

公開されているサイトまたはアプリケーションでのフィルタと検索を容易にする ために、Oracle Content Management では、関連タクソノミを定義し、それらをリ ポジトリに割り当てて、アセット分類に使用できます。ビジネス用語の語彙を定義 してタクソノミを作成し、組織全体のコンテンツを定義および分類する方法を表す カテゴリの階層に配置できます。たとえば、組織が運用できる製品、業界および地 域、または組織に関連するその他の対象カテゴリの階層のタクソノミを定義できま す。

タクソノミをリポジトリに割り当てた後、リポジトリ・メンバーは、リポジトリへ の追加時または後でアセットを分類できます。ファセット検索ユーザー・インタフ ェースにより、1つのタクソノミまたは複数のタクソノミでアセットをカテゴリで フィルタして、関連コンテンツを見つけることができます。タクソノミを公開し て、同じチャネルに公開されているアセットで分類情報を利用可能にすることがで きます。これにより、タクソノミを利用して、公開された Web サイトまたはアプ リケーションでのアセットのフィルタと検索をサポートできます。

・ リポジトリ

アセット・タイプ、ローカリゼーション・ポリシー、公開チャネルおよびタクソノ ミが定義された後、リポジトリを作成し、作成したオブジェクトをリポジトリに関 連付けます。

それにより基本設定が完了します。この時点で、リポジトリを使用する準備ができま す。オプションで、リポジトリで追加の機能を有効にして、コンテンツの作成をより 効率的にするツールをコントリビュータに提供したり、Web サイトでパブリックに使 用可能になる前のコンテンツをリポジトリ・マネージャが管理できるようにしたりす ることができます。

• 翻訳コネクタ (ビジネス・リポジトリでは使用できません)

デフォルトで、Oracle Content Management はコンテンツを必要な言語に手動で翻 訳する機能を提供します。新規言語を一度に1つのアセットに追加したり、翻訳の ために抽出したテキスト文字列を含む ZIP ファイルとしてアセットを一括でエク スポートしたりできます。組織でコンテンツの翻訳に Lingotek、Lionbridge、SDL などの外部ベンダーを使用している場合は、関連翻訳コネクタを Oracle Content Management に登録し、コントリビュータが外部ベンダーによる翻訳のためのアセ ットを簡単に送信できるように翻訳コネクタをリポジトリに割り当てることがで きます。

・ コンテンツ・コネクタ

組織で外部のデザイン代理店とのデジタル・アセットの共有に Dropbox、Google Drive、Microsoft OneDrive などの外部クラウド・ストレージ・サービスを使用し ている場合、関連ストレージ・サービス用のコンテンツ・コネクタを Oracle Content Management に登録し、コントリビュータが外部クラウド・ストレージから直接リ ポジトリにファイルを簡単に追加できるようにコンテンツ・コネクタをリポジトリ に割り当てることができます。

・ スマート・コンテンツ

リポジトリでスマート・コンテンツ機能を有効にすることで、コントリビュータが 検索での関連イメージの検索、コンテンツ・アイテムへの関連イメージの追加、ま たはタクソノミによるアセットの分類を行うのを支援できます。これを行う場合、 リポジトリに追加されるすべてのイメージおよびリポジトリに作成されるすべて のコンテンツ・アイテムが組込みの人工知能および自然言語処理サービスによって

ORACLE

処理され、それに応じた自動タグ付けとテキストからのキーワードの抽出が行われます。

ワークフロー (ビジネス・リポジトリでは使用できません)

通常、コンテンツは、公開前にピアまたはマネージャによるレビューと承認が必要です。 リポジトリに割り当てられているすべての公開チャネルが**承認済アイテムのみ公開でき** るに設定されるようにすることで、リポジトリ内でそのようなガバナンスを有効にできま す。

デフォルトでは、Oracle Content Management は、コントリビュータがリポジトリ・マネ ージャからレビューを受けるためにアセットを提出できるようにします。

組織が、ピア、テクニカル・エディタ、マネージャ、コンプライアンスまたは法務チーム によるマルチステップ・ワークフローでコンテンツをレビューする必要がある場合、 Oracle Integration プロセスを Oracle Content Management に登録してから、それらをリ ポジトリに割り当てることができます。その後、コントリビュータは関連ワークフローを 通じたレビューのためにアセットを提出できます。ワークフロー参加者は、タスクが自分 に割り当てられたときに通知を受け取り、ワークフローで自分に割り当てられているロー ルに従ってアセットに対するアクションを実行できます。

権限とロール

コンテンツ管理ユーザー・インタフェース(左のナビゲーション・メニューの「管理」の下に ある「コンテンツ」)にアクセスするには、エンタープライズ・ユーザー・ロールが割り当てら れ、次の管理者ロールの1つを持っている必要があります。

- *コンテンツ管理者* このロールでは、アセット・タイプとタクソノミを作成できます。
- *リポジトリ管理者* このロールでは、アセット・リポジトリ、公開チャネルおよびロー カリゼーション・ポリシーを作成し、ワークフローを登録できます。

様々なコンテンツ管理オブジェクトを参照または操作できるユーザーについて知っておく必 要のあることを次に示します。

- リポジトリ リポジトリを作成すると、リポジトリ設定とメンバーシップを編集できる マネージャ・ロールが割り当てられます。他の管理者をリポジトリにマネージャとして追 加して、それらの管理者にリポジトリの管理を許可できます。他のエンタープライズ・ユ ーザーをリポジトリにコントリビュータとして追加してリポジトリへのアセットの追加 を許可したり、リポジトリ内のアセットを表示できる参照者として追加したりできます。
- アセット・タイプ アセット・タイプを作成すると、アセット・タイプとメンバーシップを編集できるマネージャ・ロールが割り当てられます。他の管理者をアセット・タイプにマネージャとして追加して、それらの管理者にアセット・タイプの管理を許可できます。アセット・タイプを使用して、少なくともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールを持つ任意のリポジトリ・メンバーが関連リポジトリ内のアセットを作成できます。
- 公開チャネル(ビジネス・リポジトリでは使用できません) 公開チャネルを作成すると、 チャネル設定とメンバーシップを編集できるマネージャ・ロールが割り当てられます。他 の管理者をチャネルにマネージャとして追加して、それらの管理者にチャネルの管理を許 可できます。他のエンタープライズ・ユーザーをチャネルにコントリビュータとして追加 して、それらのユーザーにチャネルへのアセットの公開を許可できます。
- タクソノミ タクソノミを作成すると、それはドラフト状態で作成されます。ユーザー にタクソノミでのアセットの分類を許可するには、それを昇格してからリポジトリに追加 する必要があります。



アイコンのクイック・リファレンス

ここでは、「アセット」ページに表示されるアイコンを示します。

「アセット」ツールバーのアイコン

アイコン	意味
	公開ジョブ、翻訳ジョブ、コレクション、カテゴリの提案、コンテンツ・アナリティクスおよびワークフロー・タスクなどの追加オプションを参照する場合にクリックします。
	カテゴリ、チャネル、プロパティ(アクティビティおよび前のバージョン)、タグと コレクションおよびワークフローなどの選択したアセットに関する追加情報を表 示する場合にクリックしてサイドバーを開きます。

「アセット」アクション・バーのアイコン

アイコン	意味
Ð	選択したアセットを開く場合にクリックします。
0	選択したアセットを表示する場合にクリックします。
	選択したコンテンツ・アイテムを編集する場合にクリックします。
⚠	選択したデジタル・アセットの新規バージョンをアップロードする場合にクリック します。
.↓	選択されたアセットをダウンロードし、ローカル・コンピュータで使用するために 保存する場合にクリックします。
4	複数の選択済アセットを.zip ファイルでダウンロードする場合にクリックします。
G	選択したコンテンツ・アイテムをコピーする場合にクリックします。
음의	選択したアセットを別のリポジトリにコピーする場合にクリックします。
団	選択したアセットを削除する場合にクリックします。
品・ (右側)	クリックすると、リストやグリッドなどで、ページ上のアイテムの表示方法を変更 できます。



「アセット」タイルのアイコン

アイコン	意味
ステータ	アセットのステータスがアセット・プレビューの下に表示されます:
ス・アイコ ン	・ 🔼 公開済(アセット・リポジトリのみ)
	• 🔀 却下済
	・ ① ドラフト
	・ 🔼 翻訳済(アセット・リポジトリのみ)
	・ 日 レビュー中
	最後の公開以降にアセットが再分類されたことを示します。
i	アセットの公開がスケジュールされていることを示します。
ക	アセットがロックされていることを示します。
먹	関連付けられている会話の表示

「レコメンデーション」アクション・バーのアイコン

アイコン	意味
0	選択したレコメンデーションを表示する場合にクリックします。
	選択したレコメンデーションを編集する場合にクリックします。
団	選択したレコメンデーションを削除する場合にクリックします。


2 アセット・タイプの管理

アセット・タイプでは、アセットが格納できるデータのデータ構造とタイプに加えて、アセットがリポジトリ内の他のアセットとの間に持つことができる関係を定義します。ユーザーがコンテンツ・アイテムを作成またはデジタル・アセット・ファイルをリポジトリにアップ ロードするには、適切なアセット・タイプを作成してから、それらをリポジトリに関連付け る必要があります。

Oracle Content Management では、アセット・タイプは次の2つのファミリに分割されます:

- コンテンツ・タイプでは、様々なデータ型(文字列値を格納するためのテキスト型、リッ チテキスト値を格納するための長いテキスト型、日時値を格納するための日付型、他のア セットへの参照を格納するための参照型など)のデータ・フィールドのグループを定義し ます。たとえば、各アセットがタイトル、本文、作成日および関連記事への参照のリスト を格納するブログ記事コンテンツ・タイプを作成できます。コンテンツ・タイプからアセ ットを作成する場合、それはコンテンツ・アイテムと呼ばれます。
- デジタル・アセット・タイプでは、そのタイプのアセットが格納できるファイル・メディア・タイプ(MIME タイプ)と、ファイルを説明するための様々なデータ型の属性のグループを定義します。たとえば、著作権とキャプションのイメージ/jpeg およびイメージ/pngファイル・タイプおよび属性のみを含む写真デジタル・アセット・タイプを作成できます。Oracle Content Management には、即時利用可能なデジタル・アセット・タイプ(イメージ、ビデオ、Video Plus およびファイル)がいくつか含まれています。デジタル・アセット・タイプからアセットを作成する場合、それはデジタル・アセットと呼ばれます。

💉 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、アセット・タイプのサポートは制限されます:

- イメージ、ビデオおよびファイルの即時利用可能なアセット・タイプが含まれる
- 5カスタム・アセット・タイプのみ

アセットの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアッ プグレードします。

アセット・タイプを作成するには、コンテンツ管理者ロールが必要です。アセット・タイプ を作成した後で、少なくとも1つのリポジトリに関連付けて、そのリポジトリにアセットを 作成するために使用できます。マネージャまたはコントリビュータ・ロールを持つリポジト リ・メンバーは、リポジトリに割り当てられているアセット・タイプからアセットを作成で きます。

最初にトピックを選択します。

- コンテンツ・タイプの作成
- デジタル・アセット・タイプの作成



- リポジトリへのアセット・タイプの関連付け
- コンテンツ・タイプの編集
- アセット・タイプのコピー
- アセット・タイプの共有
- アセット・タイプの削除
- アセット・タイプ・プロパティの表示

コンテンツ・タイプの作成

コンテンツ・タイプは、コンテンツ・アイテムに含まれる情報を指定するために使用 されるフレームワークです。コンテンツ・タイプを作成してそれらを他のユーザーと 共有するには、コンテンツ管理者である必要があります。

- ブラウザでコンテンツ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニュ ーの「管理」にある「コンテンツ」をクリックします。
- 2. ドロップダウン・メニューから「アセット・タイプ」を選択します。
- 3. 新しいコンテンツ・タイプを作成するには、「作成」をクリックします。
- 4. コンテンツ・タイプの名前とオプションの説明を入力します。
- 5. コンテンツ・アイテム・タイプの作成を選択し、「作成」をクリックします。
- 6. データ・フィールドをコンテンツ・タイプの定義にドラッグします。
- 7. データ・フィールドの設定ページが開きます:
 - データ・フィールドの表示名および省略可能な説明を入力します。
 - オプションで、フィールド名を編集します。一意の名前を指定する必要があり ます。
 - テキスト、メディアまたは参照を選択した場合は、フィールドに1つの値しか 入力できないようにするか、複数の値を許可するか、および許可される値の数 を選択します。
 - ユーザーがコンテンツを送信する際にフィールドが必須であるかどうかを選 択します。
 - メディアまたは参照を選択した場合、依存アセットが親アセットとともに常に 公開されるか、または依存アセットがまだ公開されていない場合のみ公開され るかどうかを選択します。
 - フィールド値をマスター・タイプから継承する必要があるかどうかを選択します。たとえば、すべての言語でコンテンツ・アイテムの作成にこのコンテンツ・タイプを使用している場合に、入力された会社名または銘柄記号をテキスト・フィールドに表示できます。または、イメージ・フィールドを事前に移入して、すべての言語で常に承認済会社ロゴを使用できます。



💉 ノート:

マスターから継承を選択する場合、「翻訳しない」が自動的に選択されます。 異なる言語のコンテンツ・アイテムの作成にすでに使用されているコンテン ツ・タイプを編集する場合、マスターから継承を選択すると、既存のドラフ ト・アイテム内のフィールド値にマスター・アイテム内の値が使用されま す。言語がすでに公開されている場合、その言語の新規ドラフト・アイテム が公開されるまで、既存の値がそのまま使用されます。

- テキスト、大きいテキストまたは埋込みコンテンツを選択した場合は、フィールドに 入力されたデータを翻訳するかどうかを選択します。たとえば、製品説明は翻訳でき ても、製品名またはブランド名は元の言語でのみ有効な場合があります。
- また、テキスト、大きいテキストまたは埋込みコンテンツを選択した場合、オプションで翻訳者に追加の指示を提供するコメントやノートも提供できます。
- データ・フィールドの「外観」ページで、データ・フィールドの外観と、検証を適用する かどうかを設定します。各データ・フィールドには、検証、最小長、最大長、使用するテ キスト・エディタのタイプ(テキスト領域、リッチ・テキスト・エディタまたはマークダ ウン・エディタ)、データを特定のパターン(有効な電子メール・アドレスや zip コードな ど)に従わせる必要があるかどうかなど、外観に関する様々な値があります。使用可能な データ・フィールドおよびそれらのオプションの詳細は、「データ・フィールド」を参照 してください。 大きいテキスト・フィールドを追加し、リッチテキスト・エディタまたはマークダウン・ エディタに外観を設定したら、ツールバーのタイプ(標準、基本またはカスタム)を選択で きます。カスタム・マークダウン・エディタの場合は、ツールバーに含めるボタンを選択 します。カスタム・リッチテキスト・エディタの場合は、「リッチテキスト・エディタの ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。
- 9. 関連フィールドをグループ化して、コントリビュータがコンテンツ・アイテム・フォーム を操作しやすくすることができます。
 - グループを作成するには、「グループの追加」をクリックしてグループに名前を付けます。データ・フィールドを目的のグループにドラッグします。
 - コンテンツ・アイテム・エディタで表示したときに、グループをデフォルトで縮小するかどうかを選択します。
 - グループ名を編集するには、
 - グループを削除するには、 をクリックします。データ・フィールドをグループとともに削除するかどうか、またはデータ・フィールドを別のグループに移動するかどうかを選択します。
- **10.** コンテンツ・タイプの「**簡易 URL」**ページで、このコンテンツ・タイプを使用して作成 されたコンテンツ・アイテムのわかりやすい URL を指定できます。
- コンテンツ・アセットの「コンテンツ・レイアウト」ページで、レイアウト、エディタを 選択し、このコンテンツ・タイプで使用可能にするフォーマットをプレビューします。こ のコンテンツ・タイプを使用してコンテンツ・アイテムを作成する場合、そのアイテムを 作成しているユーザーは、これらのいずれかのレイアウトを使用して、コンテンツ・アイ テムがどのように表示されるかをプレビューできます。
 - サイト・ビルダーのレイアウト: サイト・ビルダーで使用されるレイアウト・スタイ ルごとにデスクトップ・レイアウトおよびモバイル・レイアウトを選択します。この タイプを使用して作成されたコンテンツ・アイテムを Web サイトで使用する場合は、



コンテンツ・タイプを作成する前にコンテンツ・レイアウトを作成してアップ ロードしておく必要があります。

- カスタム・レイアウト: API で公開できて、オプションで公開済アセットの HTML レンディションの公開に使用できるカスタム・レイアウト・スタイルを 追加します。カスタム・コンポーネントおよびレイアウトの管理を参照してく ださい。
 - a. 「レイアウト・スタイルの追加」を追加します。
 - **b.** スタイル名を入力します。
 - **c.** API 名は自動的に生成されますが、必要に応じて編集できます。API 名は 一意にする必要があります。
 - d. デスクトップ・レイアウトとモバイル・レイアウトを選択します。
 - cのレイアウトでコンテンツの HTML レンディションを公開する場合、ア セットを公開するときに、「HTML の公開」を選択します。アセットを公 開すると、アセットの HTML レンディションが自動的に作成されます。リ ポジトリ管理者は、このアセット・タイプのすべての公開済アセットに対 して、手動で HTML レンディションを再公開することもできます。
- コンテンツ・アイテム・エディタ・レイアウト: コンテンツ・アイテム・エディタに使用するレイアウトを選択します。
- サイト・プレビュー・レイアウト: コンテンツ・アイテムの作成者が、コンテンツ・アイテムが特定のサイト・ページでどのように見えるかを確認できるようにするには、Oracle Content Management で作成されたサイトおよびページを選択するか、外部サイトおよびページ URL を入力します。外部 URL には、id、type、language および slug のプレースホルダーを含めることができます。たとえば、http://www.example.com/mypage/{id}/{type}/{language}/{slug}または http://www.example.com/mypage?
 id{&lang={language}&type={type}&slug=(slug)となります。
- 12. コンテンツ・タイプの「タイル・ビュー」ページでは、カスタム・タイル・ビューを指定できます。カスタム・タイル・ビューを使用すると、コンテンツ・タイプに基づき、「アセット」ページにコンテンツ・アイテムのデータ・フィールドをどのように表示するかを構成できます。「タイル・ビュー」ページの「表示」領域でオプションを選択し、タイル・ビューにメディア、タイトルまたはテキスト・データとして表示するコンテンツ・タイプのフィールドを構成します。使用可能なオプションでは、メディア・データのフィールドは灰色の四角形で、タイトル・データのフィールドは灰色の本で、テキスト・データのフィールドは少し小さい灰色の棒で表示されます。

コンテンツ・タイプのプロパティを表示するには、

コンテンツ・タイプを少なくとも1つのリポジトリに関連付けて、ユーザーに少なく ともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールを付与し、コンテンツ・タイプを コンテンツ・アイテムの作成に使用できるようにする必要があります。

デジタル・アセット・タイプの作成

デジタル・アセットが格納できるファイル・メディア・タイプおよびアセットを説明 する属性(メタデータ)の構造を定義する*デジタル・アセット・タイプ*。デジタル・アセ



ット・タイプを作成してそれらを他のユーザーと共有するには、コンテンツ管理者である必 要があります。

Oracle Content Management には、いくつかの即時利用可能なデジタル・アセット・タイプ が事前定義されたメディア・タイプのグループとともに含まれます:

- イメージ このアセット・タイプでは、イメージに対する既知の Oracle Content Management メディア・タイプがすべてサポートされます。これをそのまま使用してリポ ジトリ内のイメージ・ファイルを管理できます。
- ビデオ このアセット・タイプでは、ビデオに対する既知の Oracle Content Management メディア・タイプがすべてサポートされます。これをそのまま使用してリポ ジトリ内のビデオ・ファイルを管理できます。
- Video Plus このアセット・タイプでは、ビデオ・タイプと同じファイル・メディア・ タイプがサポートされますが、高度なビデオの管理をサポートするように設計されていま す。
- ファイル このアセット・タイプでは、イメージまたはビデオ以外の任意のファイルを 管理できます。

特定のファイル・メディア・タイプのみをサポートするようにカスタム・デジタル・アセット・タイプを制限し、必要に応じて組織内のデジタル・アセットの管理に必要なカスタム属 性を追加できます。

既存のアセット・タイプをコピーしたり、新規に作成したりできます。たとえば、シードされたイメージ・タイプをコピーして、アセット・タイプを属性で拡張するカスタム・アセット・タイプを作成できます。

- 1. ブラウザでコンテンツ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。
- 2. ドロップダウン・メニューから「**アセット・タイプ」**を選択します。
- 3. 新しいデジタル・アセット・タイプを作成するには、「作成」をクリックします。
- デジタル・アセット・タイプの名前と説明(オプション)を入力し、デジタル・アセット・ タイプの作成を選択してから、「作成」をクリックします。
- 「メディア・タイプ」タブで、このデジタル・アセット・タイプに対してサポートするメディア・タイプを選択します。拡張機能を検索して選択し、「追加」をクリックします。 Video Plus をサポートする1つ以上のビデオ・タイプを選択した場合、(内部リンク) Video Plus OLINK Video Plus を有効にできます。Video Plus は、最適化されたストリーミング、 自動トランスコーディング、変換、ビデオ編集など、高度なビデオ機能をサポートします。
- 6. 「定義」タブをクリックします。
- 7. データ・フィールドをデジタル・アセット・タイプ定義にドラッグします。
- 8. データ・フィールドの設定ページが開きます:
 - データ・フィールドの表示名および省略可能な説明を入力します。
 - オプションで、フィールド名を編集します。一意の名前を指定する必要があります。
 - テキストを選択した場合は、フィールドに1つの値しか入力できないようにするか複数の値を許可するかと、許可される値の数を選択します。
 - ユーザーがデジタル・アセットを送信する際にフィールドが必須であるかどうかを選 択します。



 データ・フィールドの「外観」ページで、データ・フィールドの外観と、検証を適用するかどうかを設定します。各データ・フィールドには、検証、最小長、最大長、使用するテキスト・エディタのタイプ(テキスト領域またはリッチテキスト・エディタ)、データを特定のパターン(有効な電子メール・アドレスや zip コードなど)に従わせる必要があるかどうかなど、外観に関する様々な値があります。使用可能なデータ・フィールドおよびそれらのオプションの詳細は、「データ・フィールド」を参照してください。 大きいテキスト・フィールドを追加し、リッチテキスト・エディタに外観を設定した。

たら、ツールバーのタイプ(標準、基本またはカスタム)を選択できます。カスタ ム・リッチテキスト・エディタの場合は、「リッチテキスト・エディタのツールバ ーのカスタマイズ」を参照してください。

- デジタル・アセット・タイプの定義では、関連フィールドをグループ化して、コントリビュータがデジタル・アセット・フォームを操作しやすくすることができます。
 - グループを作成するには、「グループの追加」をクリックしてグループに名前 を付けます。データ・フィールドを目的のグループにドラッグします。
 - デジタル・セット・エディタで表示したときに、グループをデフォルトで縮小 するかどうかを選択します。
 - グループ名を編集するには、
 - グループを削除するには、 をクリックします。データ・フィールドをグル ープとともに削除するかどうか、またはデータ・フィールドを別のグループに 移動するかどうかを選択します。
- **11.** デジタル・アセット・タイプの「**簡易 URL」**ページで、このアセット・タイプを 使用して作成されたデジタル・アセットにわかりやすい **URL** を指定できます。
- デジタル・アセット・タイプの「コンテンツ・レイアウト」ページで、レイアウト を選択し、このデジタル・アセット・タイプで使用可能にするフォーマットをプレ ビューします。デジタル・アセットがこのデジタル・アセット・タイプを使用して 作成された場合、アセットを作成するユーザーは、これらのレイアウトのいずれか を使用して、デアセットがどのように表示されるかをプレビューできます。
 - サイト・ビルダーのレイアウト: サイト・ビルダーで使用されるレイアウト・ スタイルごとにデスクトップ・レイアウトおよびモバイル・レイアウトを選択 します。このタイプを使用して作成されたデジタル・アセットを Web サイト で使用する場合、コンテンツ・レイアウトはデジタル・アセット・タイプを作 成する前に作成およびアップロードする必要があります。
 - カスタムおよびプリコンパイル・レイアウト: API で公開できて、オプション で公開済アセットの HTML レンディションの公開に使用できるカスタム・レイ アウト・スタイルを追加します。カスタム・コンポーネントおよびレイアウト の管理を参照してください。
 - **a.** 「レイアウト・スタイルの追加」を追加します。
 - **b.** スタイル名を入力します。
 - c. API 名は自動的に生成されますが、必要に応じて編集できます。API 名は 一意にする必要があります。
 - d. デスクトップ・レイアウトとモバイル・レイアウトを選択します。
 - e. このレイアウトでコンテンツの HTML レンディションを公開する場合、ア セットを公開するときに、「HTML の公開」を選択します。アセットを公

開すると、アセットの HTML レンディションが自動的に作成されます。リポジト リ管理者は、このアセット・タイプのすべての公開済アセットに対して、手動で HTML レンディションを再公開することもできます。

 サイト・プレビュー・レイアウト: デジタル・アセットの作成者が、デジタル・アセットが特定のサイト・ページでどのように見えるかを確認できるようにするには、 Oracle Content Management で作成されたサイトおよびページを選択するか、外部サイトおよびページ URL を入力します。外部 URL には、id、type、language およびslug のプレースホルダーを含めることができます。たとえば、http:// www.example.com/mypage/{id}/{type}/{language}/{slug}または http:// www.example.com/mypage?id={id}&lang={language}&type={type}&slug=(slug)と なります。

デジタル・アセット・タイプ:のプロパティを表示するには、 のをクリックします。

デジタル・アセット・タイプを少なくとも1つのリポジトリに関連付けて、ユーザーに少な くともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールを付与し、デジタル・アセット・タイ プをデジタル・アセットの作成に使用できるようにする必要があります。

リポジトリへのアセット・タイプの関連付け

アセット・タイプをリポジトリに関連付けて、使用できるようにする必要があります。それ を行った後、少なくともコントリビュータ・ロールを持つユーザーは、アセット・タイプを 使用して、そのリポジトリ内にアセットを作成できるようになります。

リポジトリの作成時にアセット・タイプをリポジトリに関連付けるか、リポジトリを編集してアセット・タイプを追加することができます。

リポジトリを編集してアセット・タイプを追加する手順:

- 1. ブラウザでリポジトリ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。
- 2. ドロップダウン・リストから「**リポジトリ」**を選択します。
- 3. アセット・タイプを関連付けるリポジトリを開きます。
- 4. リポジトリで使用するアセット・タイプを選択します。アセット・タイプを使用するには、それが自分と共有されている必要があります。誰か別のユーザーが、このリポジトリに関連付けるアセット・タイプを作成した場合、それを使用するためには自分と共有されている必要があります。

🖋 ノート:

このリポジトリに対して選択されているコネクタに関連付けられたアセット・ タイプは削除できません。

コンテンツ・タイプの編集

作成後に、コンテンツ・タイプを編集して、必要に応じてデータ・フィールドを追加または 削除できます。

1. ブラウザでコンテンツ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。



- 2. ドロップダウン・メニューから「コンテンツ・タイプ」を選択します。
- 3. 編集するコンテンツ・タイプを選択し、バナー・メニューの「編集」をクリックします。

スライドアウト・パネルには、コンテンツ・タイプ定義および定義で使用されるデ ータ・フィールドが表示されます。また、追加のデータ・フィールド・オプション もリストされます。

- 4. 追加のデータ・フィールドの追加、現在のデータ・フィールドの設定の編集、また は現在のデータ・フィールドの削除を行います。
 - a. 追加のデータ・フィールドを追加するには、リストから定義にフィールドをド ラッグし、新規コンテンツ・タイプの作成時と同様に要求される設定を指定し ます。
 - b. 現在のデータ・フィールドの設定を編集するには、データ・フィールドの横の 「編集」をクリックし、設定を変更します。
 - **c.** 現在のデータ・フィールドを削除するには、データ・フィールドの横の「**X」** をクリックします。

🥒 ノート:

コンテンツ・タイプがそれに関連付けられているコンテンツ・アイテ ムを公開した場合、それらのコンテンツ・アイテムの公開が取り消さ れるまで、コンテンツ・タイプからデータ・フィールドを削除できま せん。コンテンツ・タイプに関連付けられているドラフト・コンテン ツ・アイテムがある場合、コンテンツ・タイプからデータ・フィール ドを削除すると、関連付けられているコンテンツ・アイテム内のその データ・フィールドの値も削除されます。

アセット・タイプのコピー

既存のアセット・タイプをベースにしてコピーすることで、新しいアセット・タイプ を素早く作成できます。

- ブラウザでコンテンツ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニュ ーの「管理」にある「コンテンツ」をクリックします。
- 2. ドロップダウン・メニューから「**アセット・タイプ」**を選択します。
- 3. コピーするアセット・タイプを選択し、「コピー」をクリックします。
- 4. アセット・タイプの名前とオプションの説明を入力し、「作成」をクリックします。
- 5. アセット・タイプは、元のアセット・タイプと同じ構成で作成されます。設定を編 集し、「保存」をクリックします。

アセット・タイプを少なくとも1つのリポジトリに関連付けて、ユーザーに少なくと もリポジトリに対するコントリビュータ・ロールを付与し、アセット・タイプをアセ ットの作成に使用できるようにする必要があります。



アセット・タイプの共有

他のユーザーがアセット・タイプを管理できるようにするために、そのアセット・タイプを 他のユーザーと共有します。

アセット・タイプの共有は、ファイルやフォルダの共有と似ています。アセット・タイプを 選択して「メンバー」をクリックし、そのタイプに追加するメンバーと、そのタイプを使用 する際にメンバーに割り当てられるロールを選択します。個々のユーザーと共有すること も、グループと共有することも可能です。

ユーザーは、「アセット」ページのフィルタ・ペインで、関連付けられているアセット・タイ プをすべて表示でき、明示的に共有しなくても、そのタイプのアイテムを表示および編集で きます。アセット・タイプからアセットを作成するには、アセット・タイプをリポジトリに 追加し、ユーザーに少なくともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールが必要です。 ユーザーが実際のアセット・タイプを編集できるようにするには、アセット・タイプのメン バーとしてそのユーザーを追加する必要があります。

アセット・タイプの削除

既存のアセット・タイプを削除できます。アセットが関連付けられているアセット・タイプ または付属のアセット・タイプ(ファイル、イメージおよびビデオ)は削除できません。

- 1. ブラウザでコンテンツ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。
- 2. ドロップダウン・メニューから「**アセット・タイプ」**を選択します。
- 3. 削除するアセット・タイプを選択し、「削除」をクリックします。

アセット・タイプ・プロパティの表示

アセット・タイプ・プロパティは、アセット・タイプの作成日時、最終更新日時および API 情報を示します。説明を表示または編集することもできます。

プロパティを表示するには、アセット・タイプを開いて

プロパティ情報はタブに分割されています。

- 一般 名前、説明、アセット・タイプの作成日時および最終更新日時を表示します。説 明を編集できます。変更を保存するには、「保存」をクリックします。
- API アセット・タイプの ID および管理 URL を表示します。ID または URL をクリップ ボードにコピーするには、これの横にある をクリックします。アセット・タイプの JSON データを表示するには、

データ・フィールド

アセット・タイプ内のデータ・フィールドを使用して、完了したアセットに必要なコンテン ツを定義します。



データ・フィールド	オプション
テキスト	 複数値の許可 単ーテキスト・ボックス - デフォルト値、 長さの検証、パターンの検証(カスタム、 電子メール、URL、電話番号、郵便番号) テキスト領域 - 長さの検証、パターンの検 証(電子メール、URL、電話番号、郵便番 号)
	 最大 1,000 文字です。#*& ?<>^;{} ()'=+\を含めることはできません ラジオ・ボタン - オプションまたは JSON 単一選択メニュー - オプションまたは JSON 単一選択メニュー(Visual Builder エンド ポイント) - Visual Builder エンドポイン ト URL、エンドポイント・セキュリティ、 ラベルおよび値として使用する REST フ ィールド
大きいテキスト	 複数値の許可 テキスト領域 - デフォルト値、長さの検 証、パターンの検証(カスタム、電子メー ル、URL、電話番号、郵便番号) リッチテキスト・エディタ - ツールバー・ タイプ(標準、基本、カスタム)、デフォル ト値、長さの検証 リッチテキスト・エディタのツールバーの カスタマイズを参照してください。 マークダウン・エディタ - ツールバー・タ イプ(標準、カスタム)、デフォルト値、長 さの検証 ツールバー・タイプとしてカスタムを選択 した場合、マークダウン・エディタのツー ルバーに含めるボタンを選択できます。
メディア	 複数値の許可 メディア・ピッカー - メディア・タイプ(ドキュメント、イメージ、ビデオ、その他) を選択し、アセット・タイプ(すべてまたは特定のタイプ)を選択します
参照	 複数値の許可 コンテンツ・アイテム・ピッカー - コンテ ンツ・タイプ(すべてまたは特定のタイプ) を選択します
日付	 日付ピッカー 日時ピッカー 日時ピッカー(タイム・ゾーンあり) デフォルト値 日付範囲の検証
数值	 数のスピナー - デフォルト値、数値範囲の 検証 最大 15 文字です。整数にする必要があ り、小数は使用できません。 ラジオ・ボタン - オプションまたは JSON 単一選択メニュー - オプションまたは JSON

データ・フィールド	オプション
10 進数	 数のスピナー - デフォルト値、数値範囲の 検証
	• ラジオ・ボタン - オプションまたは JSON
	 単一選択メニュー - オプションまたは JSON
ブール	 スイッチ - true/false のラベル、デフォル ト値
	 チェックボックス - チェックボックスの ラベル、デフォルト値
埋込みコンテンツ(JSON コンテンツ)	 ラベル、テフォルト恒 テキスト領域 - 有効な JSON 構文が必要です。オプションで、JSON 値は含まれるスキーマに対して検証されます。 JSON スキーマ・フォーム - JSON コンテンツを入力する対話型フォームを動的に生成するには JSON スキーマが必要です。スキーマに定義されているフィールドがフォームにどのように表示されるかをカスタマイズするオプションを提供し、結果をプレビューできます。 現在、バージョン 04 の JSON スキーマをサポートしています(https://json-schema.org/specification-links.html#draft-4)。次の型がサポートされています。 文字列 数値 ブール 配列次のオプションがサポートされています。
	ウギスト」、ウキスト頃域」、「数」、「チェッ クボックス」、配列、「選択」および比率。 詳細は、http://www.alpacajs.org/ documentation.html にある Alpaca Forms パ ッケージのドキュメントを参照してください。

リッチテキスト・エディタのツールバーのカスタマ イズ

アセット・タイプに大きいテキスト・フィールドを追加し、リッチテキスト・エディタに外 観を設定したら、カスタム・ツールバーを作成できます。

ツールバーには標準ツールバー・グループおよびオプションが事前移入されており、そのプ レビューが表示されます。

ツールバーをカスタマイズするには、「JSON」タブをクリックし、CKEditor 構文を使用して JSON 構成を編集します。https://ckeditor.com/latest/samples/toolbarconfigurator/ index.html#basic を参照してください。

大きなテキスト・フィールドでは次のグループがサポートされます。

 "basicstyles" - 太字/イタリック/下線に制限されます https://ckeditor.com/cke4/addon/ basicstyles



- "styles" フォント・スタイル https://docs.ckeditor.com/ckeditor4/latest/guide/ dev_styles.html
- "colors" テキストおよび背景色 https://docs.ckeditor.com/ckeditor4/latest/guide/ dev_colorbutton.html
- "undo" エディタ内の現在のインスタンスを元に戻す/やり直す
- "links" ダイアログをリンクするためのカスタム・プラグイン
- "paragraph" 箇条書き/番号付きリストおよびインデントのサポート
 - "list"
 - "indent"
- "align" 左揃え/右揃え/中央揃え
- "insert"
 - "image"
 - "table"
- "cleanup" 選択したテキストのスタイルの削除

また、行セパレータ・エントリを使用できます:"/"

✓ ノート: ツールバー・グループ構成に他の値を設定した場合、サイト・ビルダー・ツ ールバーが作成される前に値が削除されます。"extraPlugins"は指定できま せん。"name"/"groups"構成のみサポートされます。"items"エントリは無視 されます。

プロパティには、「toolbarGroups」と「removeButtons」、または「toolbar」のいずれ かを使用できます。次の例を参照してください。

例 2-1 オプション 1: 「toolbarGroups」と「removeButtons」

```
{
"toolbarGroups": [
{"name": "basicstyles"}

{"name": "styles"}

{"name": "colors"}

{"name": "clipboard"}

{"name": "links"}

{"name": "links"}

{"name": "insert"}

{"name": "paragraph", "groups": ["list", "indent"]}
```



```
{"name": "undo"}
,
{"name": "cleanup"}
,
{"name": "mode"}
,
{"name": "tools"}
],
"removeButtons":
"Styles,Subscript,Superscript,Anchor,Blockquote,PasteFromWord,Copy,Cut"
}
```

例 2-2 オプション 2: 「toolbar」

```
{
"toolbar" = [
{ "name":"basicstyles","items":
["Bold","Italic","Underline","Strike","Subscript","Superscript","-","CopyForm
atting", "RemoveFormat"] }
{ "name":"paragraph","items":
["NumberedList", "BulletedList", "-", "Outdent", "Indent", "-", "Blockquote", "Creat
eDiv","-","JustifyLeft","JustifyCenter","JustifyRight","JustifyBlock","-","Bi
diLtr", "BidiRtl", "Language"] }
  "name":"links","items":["Link","Unlink","Anchor"] }
{
 "name":"insert","items":
{
["Image", "Flash", "Table", "HorizontalRule", "Smiley", "SpecialChar", "PageBreak",
"Iframe"] }
"/",
{ "name":"styles","items":["Styles","Format","Font","FontSize"] }
  "name":"colors","items":["TextColor","BGColor"] }
  "name":"tools","items":["Maximize","ShowBlocks"] }
{
{
  "name":"about","items":["About"] }
] }
```



3

ローカリゼーション・ポリシーの管理

ローカリゼーション・ポリシーによって、翻訳が必須であるかどうかと、必須である場合は アセットの必須言語および使用可能なオプション言語が定義されます。ローカリゼーショ ン・ポリシーを作成するには、リポジトリ管理者である必要があります。

/ ノート:

ローカリゼーション・ポリシーはビジネス・リポジトリでは使用されません。

ローカリゼーション・ポリシーは、リポジトリ内のテキスト・アセットに適用される翻訳ル ールです。これらのポリシーは、イメージなどのデジタル・アセットには適用されません。 そのようなコンテンツは、アップロード時に翻訳不能として分類されます。コンテンツ・ア イテムは、元のアイテム(マスター・コピーとみなされます)に関連付けられた複数の翻訳バー ジョンを保持できます。

アイテムがローカライズされると、その言語用にアイテムのコピーが作成されます。たとえ ば、マスター・コピーが英語で、フランス語とスペイン語に翻訳された最新の Android タブ レットに関するブログ投稿があるとします。ブログ投稿の各バージョンは、個別のエンティ ティとして存在します。これは、必要に応じて編集し、他とは異なるアセット・ライフサイ クルのステージに設定できます。たとえば、フランス語バージョンはレビュー中とし、スペ イン語バージョンは公開することができます。投稿に2つか3つのコンテンツ・バージョン を用意し、そのそれぞれを翻訳して異なるステータスを適用できます。

特定の翻訳バージョンのステータスを確認するための最も簡単な方法は、アセット・リポジ トリのアイテムを表示することです。詳細は、アセットの検索、フィルタおよびソートを参 照してください。

最初にトピックを選択します。

- ローカリゼーション・ポリシーの作成
- ローカリゼーション・ポリシーの削除

ローカリゼーション・ポリシーの作成

ローカリゼーション・ポリシーによって、翻訳が必須であるかどうかと、必須である場合は アセットの必須言語および使用可能なオプション言語が定義されます。ローカリゼーショ ン・ポリシーを作成するには、リポジトリ管理者である必要があります。

ローカリゼーション・ポリシーを作成するには:

- 1. ブラウザでリポジトリ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。
- ドロップダウン・リストから「ローカリゼーション・ポリシー」を選択し、「作成」をクリックします。
- 3. ポリシーの名前を入力します。名前に特殊文字を使用しないでください。



- 4. ポリシーのオプションの説明を入力します。
- 5. ドロップダウン・リストからこのポリシーの必須言語を選択します。言語を選択解除するには、「X」をクリックします。言語名の一部を入力すると、結果が表示されるため、使用する言語を迅速に検索できます。このローカリゼーション・ポリシーに関連付けられたリポジトリで作成されたコンテンツ・アイテムは、必要なすべての言語の翻訳がないかぎり、公開することはできません。
- 6. 必要に応じて、このローカリゼーション・ポリシーで公開されるサイトおよびアセット用のデフォルト言語として、必須言語のうちの1つを選択します。ユーザーが、バージョンの存在しない言語でサイトまたはアセットを表示しようとすると、そのサイトまたはアセットはデフォルト言語で表示されます。
- ポリシーのオプション言語を選択します。このローカリゼーション・ポリシーに関 連付けられたリポジトリで作成されたコンテンツ・アイテムは、公開するために、 これらのオプション言語の翻訳は必要ありません。
- 8. 完了したら、「保存」をクリックします。

ポリシーを作成したら、それを公開チャネルで使用できます。詳細は、公開チャネル の管理を参照してください。

ローカリゼーション・ポリシーの削除

ローカリゼーション・ポリシーは、公開チャネルに関連付けられている場合、削除で きません。関連付けを削除して、ローカリゼーション・ポリシーを削除する必要があ ります。

ローカリゼーション・ポリシーを削除するには、これを選択し、**「削除」**をクリックします。



4 公開チャネルの管理

公開チャネルによって、リポジトリのアイテムに適用されるリリース・ルールが決定されま す。チャネルは、パブリックに設定してすべてのユーザーに開放することも、セキュアに設 定して制限することもできます。公開チャネルを作成および共有するには、リポジトリ管理 者である必要があります。

🎤 ノート:

- Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、許可されている1つのサイト・チャネルを除いて、1つの公開チャネルのみに制限されます。公開チャネルの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。
- 公開チャネルはビジネス・リポジトリでは使用されません。

公開チャネルは、1つ以上のアセット・リポジトリおよびそのリポジトリ内で管理されている アセットに適用できます。また、1つのリポジトリで複数のチャネルを使用できます。リポジ トリ内の特定のアセットで異なるチャネルを使用して、個々のケースで適用するポリシーを 微調整できます。

サイトを作成すると、公開チャネルはチャネル名としてサイト名を使用して自動的に作成されます。

最初にトピックを選択します。

- 公開チャネルの作成
- 公開チャネルの共有
- 公開チャネルの削除
- 公開チャネル・プロパティの表示

公開チャネルの作成

公開チャネルによって、リポジトリのアイテムに適用されるリリース・ルールが決定されま す。チャネルは、パブリックに設定してすべてのユーザーに開放することも、セキュアに設 定して制限することもできます。公開チャネルを作成および共有するには、リポジトリ管理 者である必要があります。

チャネルを作成するには:

- 1. ブラウザでリポジトリ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「コンテンツ」をクリックします。
- 2. ドロップダウン・リストから「公開チャネル」を選択し、「作成」をクリックします。
- 3. チャネルの名前を入力します。名前に特殊文字を使用しないでください。



- 4. 説明を入力します(オプション)。他のユーザーが簡単にすぐ理解できるように、チャネルの使用方法を説明しておくと便利です。
- チャネルをパブリックにするかセキュアにするかを決定します。パブリック・チャネルは、組織内のすべてのユーザーが使用できます。セキュア・チャネルは、特定のロールを持つユーザーに制限されます。
- 6. 公開ポリシーの内容を決定します。承認なしでアイテムを公開するか、承認プロセ スを経たアイテムのみに公開を制限するかを選択できます。
- 7. チャネルに使用するローカリゼーション・ポリシーを選択します。
- API クライアント・アプリケーションにチャネル情報を提供する必要がある場合 は、「チャネル ID」および「チャネル・トークン」の値をコピーできます。新規チャネル・トークンを取得するには、「リフレッシュ」をクリックします。
- 9. 完了したら、「保存」をクリックします。

チャネルが作成されると、チャネル ID とチャネル・トークンがチャネルに割り当てら れます。これらの ID は、カスタマイズされたインタフェースの作成時に使用できま す。ID を表示するには、チャネルを選択して、メニュー・バーまたは右クリック・メ ニューから「編集」を選択します。

公開チャネルの共有

チャネルの共有は、ファイルやフォルダの共有と似ています。チャネルを選択して、 「メンバー」をクリックし、メンバーを選択してから割当て可能なロールを選択しま す。個々のユーザーと共有することも、グループと共有することも可能です。

誰かにマネージャ・ロールを割り当てる場合、そのユーザーには必ずサイト管理者ロ ールも割り当ててください。それにより、このユーザーは、他のユーザーの追加、サ イトの公開、チャネルの管理、他の管理タスクの実行など、リポジトリを完全に管理 できるようになります。

サイトを作成すると、公開チャネルはサイト名を名前として自動的に作成されます。 チャネルの詳細は説明以外は編集できません。また、チャネルを他のユーザーと直接 共有することはできません。サイトを共有して共有する必要があります。

管理ロールを持たないユーザーは、共有されていないチャネルに対して、アセットを ターゲット指定できます。ただし、そのユーザーがアセットを公開する、または非公 開にするには、最小のコントリビュータ・ロールを持つユーザーにチャネルを共有す る必要があります。そのユーザーがリポジトリ内でマネージャ・ロールを持っている 場合でも、公開するためにはチャネルのロールが必要です。

公開チャネルの削除

公開済アセットがあるか、サイトに関連付けられている場合、チャネルは削除できま せん。チャネルを削除するには、公開済アセットまたはサイトを削除する必要があり ます。

公開チャネルを削除するには、それを選択し、**「削除」**をクリックします。

公開チャネル・プロパティの表示

公開チャネル・プロパティは、公開チャネルの作成日時、最終更新日時および API 情報を示します。名前および説明を表示または編集することもできます。



プロパティを表示するには、公開チャネルを開いて

プロパティ情報はタブに分割されています。

- 一般 名前、説明、公開チャネルの作成日時および最終更新日時を表示します。名前ま たは説明を編集できます。変更を保存するには、「保存」をクリックします。
- API チャネル ID およびチャネル・トークンを表示します。ID またはトークンをクリッ



5

タクソノミの管理

タクソノミは、アセットを編成するために使用される、ビジネス構造にマップされたカテゴ リの階層で、ユーザーが作業している領域にドリルダウンすることでアセットを検出できる ようにします。タクソノミを作成および管理するには、コンテンツ管理者である必要があり ます。

🖉 ノート:

- Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、1つのタク ソノミのみに制限されます。タクソノミの数を増やし、完全な機能セットを利 用するには、Premium Edition にアップグレードします。
- タクソノミは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

1つのタクソノミを複数のリポジトリに割り当てることも、複数のタクソノミを1つのリポジ トリに割り当てることもできます。たとえば、部門ごとに、およびビジネスの製品またはイ ニシアチブごとに異なるタクソノミを作成できます。その後、「マーケティング部門」および 「製品」というタクソノミをマーケティング・リポジトリに適用し、「販売部門」および「製 品」というタクソノミを販売リポジトリに適用できます。

タクソノミを作成すると、最初は*ドラフト*として機能します。タクソノミを確定した場合、 それを使用するには、それをプロモートして1つ以上のリポジトリに関連付ける必要があり ます。関連付けられているリポジトリのマネージャには、タクソノミの準備が完了したこと が電子メールによって通知されます。その後、アセット・ユーザーはコンテンツをカテゴリ に編成できます。公開されたサイトおよびアセットでアセットのカテゴリ化情報を公開する 準備が完了したら、タクソノミを公開できます。

ビジネスの変化に応じて、新しいドラフト・バージョンを作成してタクソノミを更新できま す。ドラフトに加えた変更は、リポジトリの組織に影響しません。更新した構造が承認され たら、組織で使用するために新しいタクソノミ・バージョンをプロモートすることができ、 アセットもそれに従って再分類されます。その後、カテゴリの更新を公開する準備が完了し たら、タクソノミの新規バージョンを公開できます。

デフォルトで、「タクソノミ」ページには、ドラフトとプロモート済の両方のすべてのタクソ ノミが名前でソートされて表示されます。ステータスでリストをフィルタする、ソート順序 を変更するには、リストの最上部でドロップダウン・リストを使用します。

タクソノミを作成するには、リポジトリ管理者権限を持っている必要があります。

最初にトピックを選択します。

- タクソノミの作成
- タクソノミのプロモート
- タクソノミの公開
- タクソノミの編集



- タクソノミの削除
- タクソノミのエクスポート
- タクソノミのインポート
- タクソノミおよびカテゴリ・プロパティの表示

タクソノミの作成

タクソノミは、アセットを編成するために使用される、ビジネス構造にマップされた カテゴリの階層で、ユーザーが作業している領域にドリルダウンすることでアセット を検出できるようにします。タクソノミを作成および管理するには、コンテンツ管理 者である必要があります。

タクソノミを作成するには:

- ブラウザでリポジトリ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニュ ーの「管理」にある「コンテンツ」をクリックします。
- 2. ドロップダウン・リストから「タクソノミ」を選択し、「作成」をクリックします。
- 3. タクソノミの名前を入力します。名前に特殊文字を使用しないでください。
- 4. タクソノミの3文字の略語を入力します。略語を入力しない場合、タクソノミ名の 最初の3文字が使用されます。
- 5. タクソノミの用途を記述するオプションの説明を入力します。
- 6. 「作成」をクリックします。
- 7. カテゴリを追加してタクソノミを作成します。
 - 最上位レベルのカテゴリを追加するには、「カテゴリの追加」をクリックしま す。
 - 選択したカテゴリと同じレベルのカテゴリを追加するには、「兄弟の追加」または^{+⁽)}をクリックします。
 - 選択したカテゴリの下にカテゴリを追加するには、「子の追加」または¹をクリックします。
 - カテゴリを再編成するには、それを新しい場所にドラッグするか、それを選択して「インデント」または「アウトデント」をクリックするか、またはそれを 選択して「移動」をクリックしてから移動先のカテゴリを選択します。
 - カテゴリをコピーするには、カテゴリを選択して「コピー」をクリックします。
 す。宛先を選択して、「コピー」をクリックします。
 - カテゴリ名を変更するには、それを選択して「カテゴリ・プロパティ」ペイン で名前を変更するか、「名前の変更」または をクリックします。
 - カテゴリを削除するには、それを選択して「削除」または × をクリックします
 - タクソノミまたはカテゴリのプロパティを表示するには、ししをクリックし、 ドロップダウン・メニューで「タクソノミ・プロパティ」または「カテゴリ・ プロパティ」を選択します。
- 8. 終了したら、「完了」をクリックします。



タクソノミを作成した後、それを使用するには、それをプロモートして1つ以上のリポジト リに関連付ける必要があります。

タクソノミのプロモート

タクソノミをプロモートするには:

- 「タクソノミ」ページで、プロモートするタクソノミを選択し、「プロモート」をクリック します。
- 2. このタクソノミを公開可能にするかどうかを選択します。たとえば、このタクソノミを内 部でのみ使用する場合、公開しないようにします。
- 3. タクソノミをプロモートすることを確認して、「プロモート」をクリックします。

最初にタクソノミをプロモートした後、それを使用するには、1 つ以上のリポジトリに関連付ける必要があります。リポジトリの管理を参照してください。その後、リポジトリのアセットを分類できます。アセット・カテゴリの割当てを参照してください。

タクソノミの公開

公開されたタクソノミは、そのタクソノミを使用するリポジトリに関連付けられた任意のチャネルに公開できます。リポジトリに公開チャネルがまだ関連付けられていない場合、すぐ に関連付けてください。リポジトリの管理を参照してください。

タクソノミを公開するには:

- 1. 「タクソノミ」ページで、公開するタクソノミを選択し、「公開」をクリックします。
- デフォルトで、このタクソノミを使用するリポジトリに関連付けられたすべての公開チャ ネルが表示されます。オプションでチャネルを削除できます。タクソノミ情報は、選択し たチャネルに公開されているすべてのサイトおよびアセットに公開されます。
- 3. タクソノミを公開することを確認して、「公開」をクリックします。

タクソノミの編集

タクソノミを編集するには:

- 1. 「タクソノミ」ページで、編集するタクソノミを選択し、「編集」をクリックします。
- 2. 必要に応じてカテゴリおよび階層を編集し、「閉じる」をクリックします。
- 3. タクソノミの更新を完了したら、新しいバージョンをプロモートし、準備して公開しま す。

タクソノミの削除

タクソノミはドラフト済かプロモート済か公開済かに関係なく、削除できますが、公開済タ クソノミは最初に非公開にする必要があり、プロモート済タクソノミはリポジトリから割当 て先に削除する必要があります。

ドラフト・タクソノミを削除するには:

「タクソノミ」ページで削除するタクソノミを選択し、「ドラフトの削除」をクリックします。



プロモート済タクソノミを削除するには:

「タクソノミ」ページで削除するタクソノミを選択し、プロモート済の削除をクリックします。

プロモート済タクソノミがリポジトリに割り当てられている場合、割り当てられたリ ポジトリからこれを削除してから再度削除を試みるように求めるメッセージが表示さ れます。タクソノミを割当て済リポジトリから削除すると、そのカテゴリのすべてが リポジトリ内のアセットから削除され、再分類されます。アセットが公開されると、 再分類されたアセットの再公開が必要になる場合があります。

タクソノミの状態がドラフトとプロモート済の両方である場合、「**削除」**プルダウン・ メニューがメニュー・バーで使用でき、削除するタクソノミの状態を選択できます。

公開済タクソノミを削除するには:

• 「タクソノミ」ページで削除するタクソノミを選択し、「公開の取消」をクリックします。非公開になると、プロモート済タクソノミを選択して削除できます。

タクソノミのエクスポート

プロモートまたは公開されているタクソノミをエクスポートして、JSON ファイルと してダウンロードできます。これは、タクソノミを新規または既存のプロモート済タ クソノミのドラフト・バージョンとしてインポートする場合に便利です。

- 「タクソノミ」ページで、プロモート済タクソノミのリストからエクスポートする タクソノミを選択します。
- 2. 「エクスポート」をクリックします。
 - プロモート済バージョンと公開済バージョンが同じ場合、JSON ファイルが作 成され、ファイルをダウンロードするリンクとともに通知が表示されます。
 - プロモート済バージョンと公開済バージョンが異なる場合、どのバージョンを エクスポートするかが尋ねられます。選択すると、JSON ファイルが作成さ れ、ファイルをダウンロードするリンクとともに通知が表示されます。
- 3. 「ダウンロード」をクリックし、ファイルを保存します。

タクソノミのインポート

タクソノミ **JSON** ファイルは、新規タクソノミまたは既存のプロモート済タクソノミ のドラフト・バージョンのいずれかとしてインポートできます。

- 1. 「タクソノミ」ページで「インポート」をクリックします。
- インポートする Oracle Content Management 内のタクソノミ JSON ファイルに移動します。JSON ファイルが Oracle Content Management にドキュメントとして現在格納されていない場合、「アップロード」をクリックして、JSON ファイルに移動し、Oracle Content Management にアップロードします。
- 3. インポートするタクソノミを選択したら、「OK」をクリックします。
- **4.** タクソノミを、既存のタクソノミのドラフトとして、または新規タクソノミとして インポートするかを選択します。
 - 既存のタクソノミのドラフトとしてインポートするように選択した場合、 JSON ファイルに既存のタクソノミと同じ名前を付ける必要があり、タクソノ ミに既存のドラフトが存在しないようにします。



- 新規タクソノミの作成を選択した場合、新規タクソノミでの名前、略語および説明を JSON ファイルから取得するか、または新規の名前、略語および説明の指定をクリックして新しい情報を入力します。
- 5. 終了したら、「インポート」をクリックします。

タクソノミおよびカテゴリ・プロパティの表示

タクソノミ・プロパティは、タクソノミの最終更新日時、プロモート日時および公開日時な どの情報、API 情報およびカスタム・プロパティを示します。タクソノミ名、略語および説明 を表示または編集することもできます。カテゴリ・プロパティを使用すると、カテゴリ名、 説明または API 名を表示または編集できます。

プロパティを表示するには、タクソノミを開いて

タクソノミ・プロパティ

タクソノミ・プロパティには次の詳細が含まれています。

- 名前、略語および説明 この情報を編集できます。
- タクソノミの最終更新日時および最終更新者。
- タクソノミがプロモートされている場合、プロモートされた最後のバージョンが表示されます。
- タクソノミが公開されている場合、公開された最後のバージョンおよび公開先のチャネル が表示されます。
- タクソノミ API ID ID をクリップボードにコピーするには、これの横にある ゆをクリックします。
- カスタム・プロパティ カスタム名/値のペアを追加するには、「追加」をクリックします。プロパティを削除するには、これの横にある「X」をクリックします。

カテゴリ・プロパティ

カテゴリを選択してから、ドロップダウン・メニューで**「カテゴリ・プロパティ」**を選択し ます。カテゴリ・プロパティには、名前、説明、タクソノミ・パス(読取り専用)および API 名 が含まれています。



6 リポジトリの管理

リポジトリは、グループでデジタル・アセットおよびコンテンツ・アイテムを管理するため の方法です。たとえば、キャンペーンに必要なすべてのコンテンツを1つのリポジトリに格 納できます。アセット・リポジトリを作成および共有するにはリポジトリ管理者である必要 があります。

ビジネス・リポジトリとアセット・リポジトリの2つのタイプのリポジトリがあります。 *ジネス・リポジトリ*はアセットを格納します。*アセット・リポジトリ*はアセットを格納しま すが、ユーザーはアセットを公開およびローカライズすることもできます。ビジネス・リポ ジトリに格納されたアセットは、アセット・リポジトリに格納されたアセットの100分の1 で請求されます。

リポジトリの作成後にそれを使用するためには、他のユーザーと共有する必要があります。

デフォルトでは、すべてのリポジトリが名前順に表示されます。右側にあるドロップダウン・ メニューを使用して、リポジトリ・タイプでフィルタしたり、ソート順を変更します。

N-ト:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、1 つのアセット・リポジトリのみに制限されます。ビジネス・リポジトリはサポートされません。 リポジトリの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にア ップグレードします。

最初にトピックを選択します。

- アセット・リポジトリの作成
- ビジネス・リポジトリの作成
- リポジトリの共有
- あるリポジトリから別のリポジトリへのアセットのコピー
- アセットのインポート
- アセットの HTML レンディションの再公開
- リポジトリ・プロパティの表示
- 複数のリポジトリへのサイト・アクセスの付与
- デジタル・アセット・タイプをサポートするためのレガシー・リポジトリの変換

アセット・リポジトリの作成

アセット・リポジトリにより、1つの目的に必要なすべてのアセットを1か所で管理できま す。また、ユーザーはアセットを公開およびローカライズすることもできます。アセット・ リポジトリを作成および共有するにはリポジトリ管理者である必要があります。

ORACLE

🖍 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、1 つのア セット・リポジトリのみに制限されます。リポジトリの数を増やし、完全な 機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

アセット・リポジトリの作成の概要

アセット・リポジトリを作成する際に留意する必要のあるいくつかのヒントを示します:

- アセット・リポジトリを使用すると、アセットを公開およびローカライズできます が、ビジネス・リポジトリに格納されたアセットは、アセット・リポジトリに格納 されたアセットの100分の1で請求されます。アセットを格納する必要があり、 公開または翻訳の必要がない場合、かわりにビジネス・リポジトリを作成します。
- 格納されているコンテンツをユーザーが認識できるように、リポジトリには意味の ある名前を使用し、わかりやすい説明を追加してください。リポジトリを共有する と、それはユーザーのアセット・リストに表示されます。ユーザーがその使用場所 を理解していることを確認してください。
- リポジトリに名前を付ける場合、特殊文字は使用しないでください。
- 他の管理ユーザーが作成したチャネル、アセット・タイプおよびタクソノミを使用 できます。管理ロールがある場合には、チャネルおよびアセット・タイプは明示的 に共有されている必要はありません。
- リポジトリを共有した場合でも、中に含まれる個々の一部の機能は共有されません。
 - 非管理ユーザーは、アセット・ページのフィルタ・ペインで、関連付けられているアセット・タイプをすべて表示でき、明示的に共有しなくても、そのタイプのアセットを表示および編集できます。新規アセットを作成するには、ユーザーに少なくともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールが必要です。
 - 非管理ユーザーはリポジトリに関連付けられているチャネルをすべて表示で き、それらのチャネルにアセットをターゲット指定できます。ただし、チャネ ルに対してアセットを公開する、または非公開にするには、最小のコントリビ ュータ権限を持つユーザーとチャネルを共有する必要があります。
 - 管理者以外のユーザーは、リポジトリに関連付けられたタクソノミに基づいて アセットを分類できます。
- ビデオ・アセットを使用する場合、すべての標準ビデオ機能に加え、最適化された ストリーミング、自動トランスコードおよび会話のための高度な機能を備えた豊富 なビデオ・アセット・エクスペリエンスを提供する Video Plus を有効化すること を検討してください。

アセット・リポジトリの作成

アセット・リポジトリを作成するには:

- 1. ブラウザでリポジトリ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニュ ーの「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。
- 2. ドロップダウン・リストから「リポジトリ」を選択し、「作成」をクリックしてか ら「アセット・リポジトリ」を選択します。
- 3. リポジトリの名前を入力します。名前に特殊文字を使用しないでください。



- 4. リポジトリの使用場所を説明するオプションの説明を入力します。
- 5. リポジトリで使用するアセット・タイプを選択します。

🖍 ノート: このリポジトリに対して選択されているコネクタに関連付けられたアセット・ タイプは削除できません。

- 6. システム管理者が Video Plus を有効にしている場合、リポジトリのビデオ・プランを選 択するオプションがあります。
 - 標準ビデオ: すぐに使用でき、他のアセットと同じ管理および配信機能を提供し、タ グ付け、カテゴリ化、レビュー、会話、基本的な再生などが可能です。
 - Video Plus: 豊富なビデオ管理および配信エクスペリエンスを提供し、すべての標準 機能に加え、最適化されたストリーミング、自動トランスコードおよび会話のための 高度な機能、ならびによりレスポンシブな再生オプションを使用できます。

たとえば、アーカイブ目的または特定のビデオを簡単に検索して見つけられるようにする ために、リポジトリに標準ビデオをのみを格納して、それらを表示およびダウンロードで きます。または、リポジトリを、サイトで使用されている Video Plus ビデオ・アセット 用にし、サイトが異なる機能を持つ複数のデバイスに提供されている場合に便利な自動ト ランスコードおよび最適化されたストリーミングなどの利点を活用することもできます。

- 7. 使用する公開チャネルを選択します。リポジトリを作成して、それをサイトで使用する と、そのサイトのチャネルが、リポジトリで使用されるチャネルのリストに追加されま す。
- 8. リポジトリで使用するタクソノミを選択します。プロモートされたタクソノミのみをリ ストで使用できます。

/ ノート:

タクソノミは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

- 9. リポジトリのデフォルト言語を選択します。
- チャネルが選択されていると、そのチャネルに必要な言語が表示されます。チャネル言語 を編集することはできませんが、オプションで言語を追加できます。言語が選択されて も、アイテムは自動的に翻訳されません。アセットをエクスポートし、文字列を翻訳し、 翻訳された文字列をインポートするか、特定のコンテンツ・アイテムに翻訳を追加する必 要があります。
- リポジトリで使用する翻訳コネクタを選択します。翻訳コネクタがサードパーティ翻訳 プロバイダを統合します。翻訳プロバイダは、機械翻訳サービスである場合や手動翻訳会 社である場合があります。デフォルトでは、Lingotek による翻訳コネクタが提供されます が、このコネクタを構成および有効化するには Lingotek アカウントが必要です。
- 12. リポジトリで使用するコンテンツ・コネクタを選択します。コンテンツ・コネクタは、サードパーティのクラウド・ストレージ・プロバイダを統合します。有効になっているコネクタのみをリストで使用できます。コンテンツ・コネクタを追加すると、リポジトリ・ユーザーは、それらのサードパーティ・クラウド・ストレージ・プロバイダからコンテンツを追加できるようになります。コンテンツ・コネクタに関連付けられているアセット・タイプがある場合、それらはアセット・タイプのリストに自動的に追加されます。



- 13. デフォルトでは、スマート・コンテンツが新規リポジトリで有効になっています。 スマート・コンテンツを使用すると、ユーザーは手動でタグ付けすることなくイメ ージを検索できます。Oracle Content Management により、イメージのコンテンツ が分析され、適切な検索結果をユーザーに提供するためのタグが自動的に作成され ます。また、コンテンツ作成者は、記事のコンテンツに基づいてイメージが推奨さ れるようにすることができます。また、コンテンツ・アイテム内のコンテンツに基 づくカテゴリの提案が提供されます。
- **14.** ワークフローを登録した場合、「**ワークフロー」**タブをクリックして、ワークフロー設定を構成します。
 - a. 「ワークフロー」ボックスをクリックして、このリポジトリで使用するワーク フローを選択します。このリポジトリでアセットを作成すると、これらのワー クフローがこのページの割当てボックスに表示されます。
 - b. 「ワークフロー割当て」セクションで、このリポジトリに関連付けられたアセットを・タイプに自動およびデフォルトのワークフローを選択し、デフォルトのワークフローが必須かどうかを指定します。
 - 任意のアセット・タイプ: この行の選択内容がすべてのアセット・タイプ に伝播されますが、必要に応じて、この設定を個々のアセット・タイプに オーバーライドできます。
 - **自動起動**: このリポジトリに追加したアセットをユーザーのコンピュータ から自動的にワークフローに送信されるようにする場合、この列のワーク フローを選択します。

✓ ノート:

Oracle Content Management またはサードパーティのクラウ ド・ストレージ・プロバイダから追加されたアセットは、現在、 自動ワークフロー割当てをサポートしていません。

 ・ 手動起動デフォルト: このリポジトリのアセットを手動でデフォルトのワ ークフローに送信する場合、この列のワークフローを選択して、ワークフ ローが必須かどうかを選択します。
 ユーザーが初めてアセットの「ワークフロー」パネルを表示するときに、 デフォルトのワークフローが選択されます。ワークフローが必須でない場 合のみ、ユーザーはこのワークフローの選択を変更できます。ワークフロ ーを開始するには、「レビューに提出」をクリックする必要があります。

15. 完了したら、「保存」をクリックします。

ビジネス・リポジトリの作成

ビジネス・リポジトリにより、1つの目的に必要なすべてのアセットを1か所で管理で きます。アセット・リポジトリを作成および共有するにはリポジトリ管理者である必 要があります。



💉 ノート:

ビジネス・リポジトリは、Oracle Content Management Starter Edition ではサポートされません。完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

ビジネス・リポジトリの作成の概要

ビジネス・リポジトリを作成する際に留意する必要のあるいくつかのヒントを示します:

- ビジネス・リポジトリを使用すると、アセットを公開またはローカライズすることはできませんが、ビジネス・リポジトリに格納されたアセットは、アセット・リポジトリに格納されたアセットの100分の1で請求されます。アセットを公開またはローカライズする必要がある場合、かわりにアセット・リポジトリを作成します。
- 格納されているコンテンツをユーザーが認識できるように、リポジトリには意味のある名前を使用し、わかりやすい説明を追加してください。リポジトリを共有すると、それはユ ーザーのアセット・リストに表示されます。ユーザーがその使用場所を理解していることを確認してください。
- リポジトリに名前を付ける場合、特殊文字は使用しないでください。
- 他の管理ユーザーが作成したアセット・タイプおよびタクソノミを使用できます。管理ロ ールがある場合には、アセット・タイプは明示的に共有されている必要はありません。
- リポジトリを共有した場合でも、中に含まれる個々の一部の機能は共有されません。
 - 非管理ユーザーは、アセット・ページのフィルタ・ペインで、関連付けられているア セット・タイプをすべて表示でき、明示的に共有しなくても、そのタイプのアセット を表示および編集できます。新規アセットを作成するには、ユーザーに少なくともリ ポジトリに対するコントリビュータ・ロールが必要です。
 - 管理者以外のユーザーは、リポジトリに関連付けられたタクソノミに基づいてアセットを分類できます。

ビジネス・リポジトリの作成

ビジネス・リポジトリを作成するには:

- 1. ブラウザでリポジトリ管理者としてサインインし、左側のナビゲーション・メニューの 「管理」にある「**コンテンツ」**をクリックします。
- ドロップダウン・リストから「リポジトリ」を選択し、「作成」をクリックしてから「ビジネス・リポジトリ」を選択します。
- 3. リポジトリの名前を入力します。名前に特殊文字を使用しないでください。
- 4. リポジトリの使用場所を説明するオプションの説明を入力します。
- 5. リポジトリで使用するアセット・タイプを選択します。

ノート: このリポジトリに対して選択されているコネクタに関連付けられたアセット・ タイプは削除できません。



6. リポジトリで使用するタクソノミを選択します。プロモートされたタクソノミの みをリストで使用できます。

🖍 ノート:

タクソノミは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

- リポジトリで使用するコンテンツ・コネクタを選択します。コンテンツ・コネクタ は、サードパーティのクラウド・ストレージ・プロバイダを統合します。有効にな っているコネクタのみをリストで使用できます。コンテンツ・コネクタを追加する と、リポジトリ・ユーザーは、それらのサードパーティ・クラウド・ストレージ・ プロバイダからコンテンツを追加できるようになります。コンテンツ・コネクタに 関連付けられているアセット・タイプがある場合、それらはアセット・タイプのリ ストに自動的に追加されます。
- 8. デフォルトでは、スマート・コンテンツが新規リポジトリで有効になっています。 スマート・コンテンツを使用すると、ユーザーは手動でタグ付けすることなくイメ ージを検索できます。Oracle Content Management により、イメージのコンテンツ が分析され、適切な検索結果をユーザーに提供するためのタグが自動的に作成され ます。また、コンテンツ作成者は、記事のコンテンツに基づいてイメージが推奨さ れるようにすることができます。また、コンテンツ・アイテム内のコンテンツに基 づくカテゴリの提案が提供されます。
- 9. ワークフローを登録した場合、「**ワークフロー」**タブをクリックして、ワークフロ ー設定を構成します。
 - a. 「**ワークフロー」**ボックスをクリックして、このリポジトリで使用するワーク フローを選択します。このリポジトリでアセットを作成すると、これらのワー クフローがこのページの割当てボックスに表示されます。
 - b.「ワークフロー割当て」セクションで、このリポジトリに関連付けられたアセットを・タイプに自動およびデフォルトのワークフローを選択し、デフォルトのワークフローが必須かどうかを指定します。
 - 任意のアセット・タイプ: この行の選択内容がすべてのアセット・タイプ に伝播されますが、必要に応じて、この設定を個々のアセット・タイプに オーバーライドできます。
 - 自動起動: このリポジトリに追加したアセットをユーザーのコンピュータ から自動的にワークフローに送信されるようにする場合、この列のワーク フローを選択します。

🖋 ノート:

Oracle Content Management またはサードパーティのクラウ ド・ストレージ・プロバイダから追加されたアセットは、現在、 自動ワークフロー割当てをサポートしていません。

 ・
 手動起動デフォルト: このリポジトリのアセットを手動でデフォルトのワ ークフローに送信する場合、この列のワークフローを選択して、ワークフ ローが必須かどうかを選択します。
 ユーザーが初めてアセットの「ワークフロー」パネルを表示するときに、 デフォルトのワークフローが選択されます。ワークフローが必須でない場
 合のみ、ユーザーはこのワークフローの選択を変更できます。ワークフローを開 始するには、「**レビューに提出」**をクリックする必要があります。

10. 完了したら、「保存」をクリックします。

リポジトリの共有

リポジトリの共有は、ファイルやフォルダの共有と似ています。リポジトリを選択して、「メンバー」をクリックし、追加するメンバーを選択してから割当て可能なロールを選択します。 個々のユーザーと共有することも、グループと共有することも可能です。

誰かにマネージャ・ロールを割り当てる場合、そのユーザーには必ずコンテンツ管理者また はサイト管理者のロールも割り当ててください。それにより、このユーザーは、他のユーザ ーの追加、チャネルの管理、他の管理タスクの実行など、リポジトリを完全に管理できるよ うになります。

リポジトリを共有した場合でも、中に含まれる個々の一部の機能は共有されません。

- 非管理ユーザーは、アセット・ページのフィルタ・ペインで、関連付けられているアセット・タイプをすべて表示でき、明示的に共有しなくても、そのタイプのアセットを表示および編集できます。新規アセットを作成するには、ユーザーに少なくともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールが必要です。
- 非管理ユーザーはリポジトリに関連付けられているチャネルをすべて表示でき、それらの チャネルにアセットをターゲット指定できます。ただし、チャネルに対してアセットを公 開する、または非公開にするには、最小のコントリビュータ権限を持つユーザーとチャネ ルを共有する必要があります。
- 管理者以外のユーザーは、リポジトリに関連付けられたタクソノミに基づいてアセットを 分類できます。

あるリポジトリから別のリポジトリへのアセットの コピー

複数のリポジトリを管理している場合、あるリポジトリのコレクションから別のリポジトリ ヘアセットを一括コピーできます。

- 「リポジトリ」ページで、ソース・リポジトリ(アセットのコピー元となるリポジトリ)を 選択し、アセットのコピーをクリックします。
- すべてのアセット、コレクション内のアセットまたはチャネルにターゲット指定したアセットをコピーする場合に選択します。必要に応じて、コレクションまたはチャネルを選択します。
- 3. ターゲット・リポジトリ(アセットのコピー先となるリポジトリ)を選択します。
- **4. 「コピー」**をクリックします。

ソース・リポジトリから選択したアセットがターゲット・リポジトリにコピーされます。チャネルにターゲット指定した場合、新規コピーは選択したチャネルに関連付けられます。

- デジタル・アセットの場合、すべてのレンディションがコピーされます。
- コンテンツ・アイテムの場合、すべての翻訳および依存関係がコピーされます。
- アセットのアセット・タイプがターゲット・リポジトリに関連付けられていない場合、ア セット・タイプはターゲット・リポジトリに自動的に追加されます。



 アセットがソース・リポジトリで公開されている場合でも、ターゲット・リポジト リでは公開されません。

アセットのインポート

Oracle WebCenter Sites から Oracle Content Management にコンテンツを公開できるので、他のチャネルにこれを配布でき、コンテンツの再利用および一貫したメッセージングが促進されます。

このトピックでは、プロセスの1つのステップ(アセットのインポート)を説明します。 完全なプロセスは、*Oracle WebCenter Sites の管理*の WebCenter Sites から Oracle Content and Experience へのコンテンツの公開に関する項を参照してください。

Oracle WebCenter Sites の公開済アセットの **Oracle Content Management** へのインポートには、2 つのステップが含まれています:

- zip ファイルを Oracle Content Management にアップロードします。
- 公開済アセットをリポジトリにインポートします。

公開済アセットをインポートするには:

- 1. ブラウザにリポジトリ管理者としてサインインします。
- 必要に応じて、WebCenter Sites からコンテンツをインポートする場所に新規リポジトリを作成します。または、既存のリポジトリを使用することもできます。
- 3. コンテンツのインポート先のリポジトリを選択し、「コンテンツのインポート」を クリックします。
- 4. インポートしたコンテンツをアップロードします。
 - a. zip ファイルのアップロード先のフォルダを開きます。新しいフォルダを作成 するには、「作成」をクリックし、「フォルダ」を選択し、名前と説明を追加し て、「作成」をクリックします。
 - b. 「アップロード」をクリックして、WebCenter Sites のマッピング(zip)ファイル をコンピュータから選択します。
- 5. zip ファイルを選択して、「OK」をクリックします。
- 6. 「コンテンツのインポート」画面で、「新規バージョンを追加して既存のアセットを 更新」を選択して、「インポート」をクリックします。 インポートが成功すると、「コンテンツ・パッケージ<ファイル名>.zip を正常にイ ンポートしました。」メッセージが表示されます。
- 7. 「詳細」をクリックし、マッピングがリポジトリにアップロードされると生成され るサマリー・ページ(次を参照)を表示します。アイテムをクリックして、これを表 示します。





アセットの HTML レンディションの再公開

🖉 ノート:

この機能はビジネス・リポジトリでは使用できません。

HTML レンディションの公開をサポートするリポジトリにアセット・タイプが存在する場合、 特定のアセット・タイプのすべての*公開済*アセットの HTML レンディションを容易に再公開 できます。

- 「リポジトリ」ページで、再コンパイルするアセットを含むリポジトリを選択して「HTML の公開」をクリックします。
- 2. HTML レンディションを再公開するアセット・タイプを選択し、「OK」をクリックしま す。

Oracle Content Management では、このリポジトリにある選択されたタイプのすべての公開 済アセットに対して新規 HTML レンディションが作成されます。

公開イベント・ログページですべての公開ジョブの履歴を表示できます。



リポジトリ・プロパティの表示

リポジトリ・プロパティは、リポジトリの作成日時、最終更新日時および API 情報を示します。名前および説明を表示または編集することもできます。

プロパティを表示するには、リポジトリを開いてします。

プロパティ情報はタブに分割されています。

- 一般 名前、説明、リポジトリの作成日時および最終更新日時を表示します。名前または説明を編集できます。変更を保存するには、「保存」をクリックします。
- API リポジトリの ID を表示します。ID をクリップボードにコピーするには、これの横にある をクリックします。

複数のリポジトリへのサイト・アクセスの付与

🔊 ノート:

この機能はビジネス・リポジトリでは使用できません。

デフォルト・リポジトリに加えて、サイト・アクセスをリポジトリに付与する場合は、 サイトの公開チャネルを追加リポジトリに追加できます。

- 「リポジトリ」ページで、サイトによるアクセスを可能にするリポジトリを開きます。
- 2. 「チャネルのパブリッシュ」で、サイトの公開チャネルを選択します。
- 3. 「保存」をクリックします。

🔊 ノート:

複数のリポジトリに関連付けられているサイトを共有する場合、デフォルト のリポジトリのみが共有されます。必要に応じて、追加リポジトリを共有す る必要があります。

デジタル・アセット・タイプをサポートするため のレガシー・リポジトリの変換

2021 年 2 月より前に作成されたリポジトリは、デジタル・アセット・タイプをサポートしていません。デジタル・アセット・タイプを利用するには、これらのレガシー・リポジトリおよびそれに含まれるデジタル・アセットを変換する必要があります。

どのリポジトリを変換する必要があるかを「リポジトリ」ページで確認できます。変換されていないリポジトリには、右側の列に「変換」ボタンが表示されます。すでに 変換済のリポジトリには、変換が成功したかどうかを示すメッセージが右側の列に表



示されます(このメッセージは 14 日後に表示されなくなります)。「変換に成功しました」のメ ッセージが表示されている、または右側の列に何も表示されていないリポジトリは、デジタ ル・アセット・タイプをサポートしています。



リポジトリを変換する際、リポジトリ内の各デジタル・アセットは、シードされたデジタル・ アセット・タイプ(イメージ、ビデオ、Video Plus またはファイル)のいずれかを使用するよう に変換され、新しいバージョンとして保存されます。変換中、ユーザーはリポジトリを使用 できません。リポジトリ内のデジタル・アセットの数によっては、変換処理に長い時間がか かる場合があります。変換の進行状況を示す進行状況バーがリポジトリの上に表示され、右 側の列に「変換中」というメッセージが表示されます。変換後、リポジトリ内のアセットを 再公開する必要がある場合があります。

/ ノート: 変換は元に戻せません。

レガシー・リポジトリを変換してデジタル・アセット・タイプをサポートするには:

- 「リポジトリ」ページで、変換するリポジトリの横にある「変換」をクリックします。または、リポジトリを選択するか、リポジトリを右クリックして、「変換」をクリックします。
- 2. 変換が正常に完了した後、必要に応じてアセットを再公開します。

リポジトリ変換の詳細を表示するには、リポジトリを選択または右クリックして、「変換レポート」をクリックします。変換のステータス、日付および時刻が表示され、詳細な変換レポートをダウンロードできます。ダウンロードされるレポートは、アセットに適用されるアセット ID、アセット名およびデジタル・アセット・タイプなど、各デジタル・アセットのエントリが表示される JSON ファイルです。



✓ ノート: 変換レポートへのアクセスは、変換ステータス・メッセージと同様に 14 日後 に消失します。



7 ワークフローの管理

サービス管理者が Oracle Content Management を Oracle Integration と統合している場合、 Oracle Content Management で使用するために Oracle Integration で作成されたワークフロ ーを登録できます。

/ ノート:

- Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、基本的で即時利用可能な承認/却下ワークフローのみに制限されます。完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。
- ワークフローは API ではサポートされません。これらの登録と管理は、現在、 Oracle Content Management インタフェースを通じて行います。

たとえば、次のダイアグラムでは、ワークフローに提出されたアセットは、却下されるか、 詳細情報を必要として戻されるか、追加の承認を必要として渡された後に承認されます。



サービス管理者がより複雑なワークフローを作成している場合、追加のオプションを使用で きる場合があります。

最初にトピックを選択します。


- シードされたコンテンツ・ワークフローの使用
- ワークフローの登録
- ワークフロー・メンバーシップの編集
- ワークフロー・ロールの割当て

ワークフローを登録し、それをリポジトリに割り当て、メンバーを追加してワークフ ロー・ロールを割り当てると、ユーザーはアセットを操作する際にワークフローを使 用できます。

シードされたコンテンツ・ワークフローの使用

Oracle Content Management は、Oracle Content Management で使用されるシンプル なマルチステップ・コンテンツ承認ワークフローを含むクイック・スタート・アプリ ケーション・パッケージを提供します。

クイック・スタート・アプリケーション・パッケージのダウンロードおよびプロセス を使用するための設定の手順は、Oracle Integration とアセットを参照してください。

クイック・スタート・プロセスのユースケースの例を次に示します。

- 1ステップ・コンテンツ承認ワークフローの例
- 1ステップ・コンテンツ承認および公開のワークフローの例
- 1つの変更リクエスト・オプションがある2ステップ・コンテンツ承認ワークフロ 一の例
- 複数の変更リクエスト・オプションがある2ステップ・コンテンツ承認ワークフロ ーの例
- 1つの変更リクエスト・オプションがある3ステップ・コンテンツ承認ワークフロ 一の例
- 複数の変更リクエスト・オプションがある3ステップ・コンテンツ承認ワークフロ 一の例

1ステップ・コンテンツ承認ワークフローの例

1 ステップ・コンテンツ承認ワークフローは、作成者がドラフトをレビューのために送信し(ステップ1)、レビューアが承認、却下、または変更をリクエストできる単純なワ ークフローです。レビューアが変更をリクエストする場合、変更が行われ、作成者が 再送してワークフロー・プロセスがもう一度開始します。





1ステップ・コンテンツ承認および公開のワークフローの例

1 ステップ・コンテンツ承認および公開のワークフローは、作成者がドラフトをレビューのために送信し(ステップ 1)、レビューアが承認、却下、または変更をリクエストできる単純なワ ークフローです。レビューアが変更をリクエストする場合、変更が行われ、作成者が再送し てワークフロー・プロセスがもう一度開始します。コンテンツが承認されたら、Oracle Content Management がコンテンツを検証し公開します。



1つの変更リクエスト・オプションがある2ステップ・コンテ ンツ承認ワークフローの例

2ステップ・コンテンツ承認ワークフローは、作成者がドラフトをレビューのために送信し、 レビューアが変更をリクエストするか最終承認のために渡すことができる追加の承認レイヤ ーを追加します。たとえば、すべてのアイテムを法務部門が最終承認として承認する必要が あるとします。作成者は承認を受けるためにドラフトを編集者に送信でき(ステップ1)、編集 者は変更をリクエストする(ステップ1の再始動)か承認し、最終承認を受けるために法務部門 に送信できます(ステップ2)。その後、法務部門は承認するか、アイテムを作成者に戻して変 更をリクエストし、プロセスをもう一度開始することができます。



複数の変更リクエスト・オプションがある2ステップ・コン テンツ承認ワークフローの例

2ステップ・コンテンツ承認ワークフローでは、いくつかの複雑さを追加することで変更リク エストを短縮できます。たとえば、作成者は承認を受けるためにドラフトを編集者に送信で き(ステップ1)、編集者は変更をリクエストする(ステップ1の再始動)か承認し、最終承認を



受けるために法務部門に送信できます(ステップ 2)。法務部門が作成者ではなく編集 者に変更をリクエストするオプションを追加することで、ワークフローは再始動する 必要がなくなり、承認時間が短縮される可能性があります。



1つの変更リクエスト・オプションがある3ステップ・コ ンテンツ承認ワークフローの例

3 ステップ・コンテンツ承認ワークフローは追加の承認レイヤーを追加します。たとえ ば、すべてのアイテムを法務部門が承認する必要があるものの、最終承認はコンプラ イアンス部門から来る必要があるとします。作成者は承認を受けるためにドラフトを 編集者に送信でき(ステップ1)、編集者は変更をリクエストする(ステップ1の再始動) か承認し、承認を受けるために法務部門に送信できます(ステップ2)。その後、法務部 門はアイテムを作成者に戻して変更をリクエストし、プロセスをもう一度開始するか、 コンプライアンス部門に渡すことができます(ステップ3)。コンプライアンス部門は、 作成者に変更をリクエストするか(プロセスの再始動)、承認できます。



複数の変更リクエスト・オプションがある3ステップ・コ ンテンツ承認ワークフローの例

3 ステップ・コンテンツ承認ワークフローでは、いくつかの複雑さを追加することで変 更リクエストを短縮できます。たとえば、作成者は承認を受けるためにドラフトを編 集者に送信でき(ステップ1)、編集者は変更をリクエストする(ステップ1の再始動)か 承認し、承認を受けるために法務部門に送信できます(ステップ2)。その後、法務部門 は変更のためにアイテムを作成者に戻すことができます(プロセスの始動)。ただし、変更を編 集者に直接リクエストするオプションを追加することで、法務部門はワークフローを再始動 する必要がなくなり、プロセスを短縮できます。法務部門が承認すると、アイテムはコンプ ライアンス部門に渡されます(ステップ 3)。コンプライアンス部門は、作成者に変更をリクエ ストするか(プロセスの再始動)、編集者または法務部門に変更をリクエストすることでプロセ スを短縮し、最終的に承認できます。



ワークフローの登録

コンテンツ管理者の場合、Oracle Content Management Web インタフェースを使用して、新 規ワークフローの登録、現在のワークフローの登録解除、ワークフロー詳細(割当て済リポジ トリやワークフロー・ロールなど)の表示、メンバーの追加およびワークフローの共有を行っ て、それらを必要としているユーザーのためにワークフローを登録できます。

- 登録済ワークフローの表示
- ワークフローの登録
- ワークフローの登録解除
- ワークフローの無効化

登録済ワークフローの表示

登録済ワークフローとその詳細のリストを表示するには:

- サイド・ナビゲーション・メニューの管理領域にある「コンテンツ」をクリックし、バナ ー・メニューから「コンテンツ・ワークフロー」を選択します。
- 2. ワークフローを選択してメニュー・バーの「表示」をクリックすると、割当て済リポジト リやワークフロー・ロールなどのワークフロー詳細が表示されます。

ワークフローの登録

新規ワークフローを登録するには:

 サイド・ナビゲーション・メニューの管理領域にある「コンテンツ」をクリックし、バナ ー・メニューから「コンテンツ・ワークフロー」を選択します。



- バナー・メニューの「登録」をクリックし、登録するワークフローを「OIC プロセス」メニューから選択します。使用可能なプロセスは、サービス管理者が Oracle Integration で定義します。
- **3.** ダイアログで「登録」をクリックします。「コンテンツ・ワークフロー」ページの ワークフローのリストに、登録したワークフローの名前と説明が表示されます。

ワークフローの登録後、作成時にリポジトリに割り当てるか、登録されているワーク フローを追加または削除するように既存のリポジトリを編集できます。

ワークフローの登録解除

ワークフローを登録解除するには、それを選択してメニュー・バーの「**登録解除」**を クリックします。ワークフローがリストから削除されます。

ワークフローの無効化

ワークフローを無効にするには、それを選択して**「無効」**をクリックします。無効に なったワークフローにアセットを提出することはできませんが、ワークフローは登録 されたままでワークフロー・リストに表示されるため、後で再度有効にすることがで きます。

ワークフロー・メンバーシップの編集

ワークフローにメンバーを追加するには:

- サイド・ナビゲーション・メニューの管理領域にある「コンテンツ」をクリック し、バナー・メニューから「コンテンツ・ワークフロー」を選択します。
- メンバーを追加するワークフローを選択して、メニュー・バーの「メンバー」をクリックします。
- 3. ダイアログの「メンバーの追加」をクリックします。メンバーは、ワークフローに 対するマネージャ権限を持ち、デフォルトでマネージャ・ロールが付与されている 必要もあります。
- 4. 「追加」をクリックします。
- 5. メンバーの追加が完了したら、「完了」をクリックします。

ワークフローからメンバーを削除するには:

- サイド・ナビゲーション・メニューの管理領域にある「コンテンツ」をクリック し、バナー・メニューから「コンテンツ・ワークフロー」を選択します。
- 2. メンバーを削除するワークフローを選択して、メニュー・バーの「メンバー」をク リックします。メンバーのリストが表示されます。
- 3. 削除するメンバーを見つけて、メンバー・メニューから「削除」を選択します。
- 4. 「完了」をクリックします。

ワークフロー・ロールの割当て

ワークフロー・ロールは、ワークフロー・プロセスの一部であり、サービス管理者が ワークフロー・プロセスの定義時に Oracle Integration で定義します。ワークフロー・ ロールによって、そのロールに割り当てられたワークフロー・メンバーがワークフロ ー・タスクで使用できるアクションが決定されます。ワークフロー・ロールにメンバ ーを割り当てるには:

ORACLE

- サイド・ナビゲーション・メニューの管理領域にある「コンテンツ」をクリックし、バナ ー・メニューからワークフロー・ロールを選択します。ワークフロー・ロールのリストが 表示されます。
- メンバーを割り当てるロールを選択して、アクション・バーの「メンバー」をクリックします。
- 3. 「メンバーの追加」をクリックします。
- メンバーとして追加するユーザーの名前または電子メール・アドレスを入力します。ワークフロー・ロールのすべてのメンバーが、ロールに定義されたアクションを実行できます。オプションで、これらのユーザーに送信され、ワークフロー・ロールが割り当てられていることを通知するメッセージを編集します。
- 5. メンバーの追加が完了したら、「追加」をクリックします。



8 オーディエンス属性の管理

レコメンデーションは、場所や関心のある分野に基づいてアセットを表示することで、Web サイトのビジターにパーソナライズされたエクスペリエンスを提供する方法です。オーディ エンス属性は、パーソナライズされたコンテンツを検索して表示するためにレコメンデーシ ョンによって使用されるものです。これには、参照者の場所や、参照者がサイトにアクセス している日付、参照者の興味を引く製品の種類などが含まれます。

たとえば、カリフォルニアの参照者が推奨コンテンツを使用したサイトにアクセスすると、 ロサンゼルスで近日中に開催されるクラウド・コンピューティングに関するイベントが表示 されます。フランスの参照者が同じサイトにアクセスした場合は、パリで近日中に開催され るイベントが表示されます。

オーディエンス属性は、レコメンデーションのルールを作成する際に使用します。オーディ エンス属性には、**3**つのタイプがあります:

- カスタム―一般的にはサイト管理者によって作成され、ページ・コンテンツに基づいて値を渡します。たとえば、関心のある製品についてのカスタム属性を2つの別々のページ(1つはデータベースで、もう1つはクラウド・コンピューティング)で使用し、属性に渡された値に応じて、2つの異なる製品を表示することができます。
- セッション―表示セッションに一意の情報に基づいて事前に定義された属性。たとえば、 顧客の IP アドレスでは参照者の場所やタイム・ゾーンを特定でき、ブラウザの user-agent では使用されているデバイスの種類を特定できるため、実行可能なメディアを提供できま す。
- システム—現在の日付など、Oracle Content Management システムに一意の属性。

/ ノート: オーディエンス属性を定義できるのは、コンテンツ管理者のみです。

最初にトピックを選択します。

- 属性の表示
- カスタム属性の作成

属性の表示

属性を表示するには、サイト管理者であることが必要です。

- 1. サイド・メニューの「管理」セクションで、「コンテンツ」をクリックします。
- 2. 「コンテンツ」ページ・メニューから、「オーディエンス属性」を選択します。
- 3. 属性タイプをクリックして、そのタイプの使用可能な属性のリストを表示します。

カスタム属性の作成

カスタム属性を作成するには、サイト管理者であることが必要です。

- 1. サイド・メニューの「管理」セクションで、「コンテンツ」をクリックします。
- 2. 「コンテンツ」ページ・メニューから、「オーディエンス属性」を選択します。
- 3. 「カスタム」をクリックして、使用可能なカスタム属性のリストを表示します。
- 4. 「作成」をクリックします。
- 5. 属性の名前を入力します。たとえば、Product Interest です。

N-h:

入力した属性名に基づいて API 名が自動的に生成されるか、自動生成さ れた名前を上書きできます。API 名は、REST API コールの使用時に、属 性の呼出しに使用します。

6. 属性の説明をオプションで入力し、「作成」をクリックします。



9

デジタル・アセットの使用

プロジェクトのデジタル・コンテンツを管理しやすい1箇所に簡単にグループ化し、必要な すべてのアイテムをすぐに使用できる状態にしておくことができます。デジタル・アセット にはイメージ、ビデオ、ドキュメント、HTML、およびその他のアップロードされたファイル が含まれます。デジタル・アセットを使用できるのはエンタープライズ・ユーザーのみです。

🖍 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、アセットのサポートは制限されます:

- **5,000** アセットのみ無料
- イメージ、ビデオおよびファイルの即時利用可能なアセット・タイプが含まれる
- 5カスタム・アセット・タイプのみ
- イメージ編集やカスタム・レンディションなし(自動レンディションはサポート)
- Video Plus はサポートされません
- Adobe Creative Cloud 拡張機能はサポートされません

アセットの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアッ プグレードします。

- デジタル・アセットの使用についてのクイック・ツアーを見る(英語のみ)
- 「アセット」ページについて
- アセットの追加と削除
- デジタル・アセットの表示および管理
- アセットの検索、フィルタおよびソート
- スマート・コンテンツ
- アセットのタグ付け
- アセット・カテゴリの割当て
- イメージの編集
- ビデオの編集
- イメージ・レンディションの管理(アセット・リポジトリのみ)
- アセットのステータスの変更
- アセットの公開(アセット・リポジトリのみ)
- Adobe Creative Cloud 拡張機能の使用



デジタル・アセットをサイトに追加するには、アセットおよびコンテンツ・アイテムの操作(アセット・リポジトリのみ)に関する項を参照してください。

✓ ノート: ビジネス・リポジトリでアセットを公開または翻訳することはできません。

「アセット」ページについて

アセット・ビューでは、プロジェクトに必要なすべてのデジタル・アセットおよびコンテンツ・アイテムを管理できます。「アセット」ページで使用可能な機能は、*ビジネス・リポジトリ*を表示しているか、*アセット・リポジトリ*を表示しているかによって 異なります。アセット・リポジトリは公開および翻訳をサポートしています。



始めるには、左側のナビゲーション・メニューの「アセット」をクリックします。

コールア ウト	説明
1	は をクリックしてフィルタ・パネルを非表示または表示します。パネルを非表示 にすると、コンテンツ領域内のアセットを表示するための領域が増えます。
2	フィルタ・アイコンの横のドロップダウン・リストで、使用するリポジトリを選択 します。
3	タグまたはキーワードを使用してアセットを検索します。リポジトリでスマート・ コンテンツが有効になっている場合、検索語を入力すると、検索ボックスの下に推 奨キーワードが表示されます。キーワードをクリックして検索に追加します。



コールア 説明 ウト

2 1	
4	コレクション、チャネル(アセット・リポジトリのみ)または言語(アセット・リポジ トリのみ)でフィルタします。たとえば、特定のコレクションを選択すると、そのコ レクションに含まれるコンテンツ・アイテムとデジタル・アセットのみが表示され ます。これらのオプションを「すべて」に設定したままにすると、使用するように 選択したリポジトリのすべてのアセットが表示されます。アセット・リポジトリ内 のコンテンツ・アイテムが複数の言語に翻訳される場合、1 つのアイテムがマスター とみなされ、その他の翻訳バージョンはセカンダリとみなされます。特定の言語で フィルタすると、アセットは、その言語では表示されない結果として返されること があります。ただし、その言語のセカンダリ・バージョンが存在する可能性があり ます。
5	イメージ、ドキュメント、コンテンツ・アイテムなどのメディア・グループでフィ ルタします。
6	アセットのタイプによってフィルタします。選択したリポジトリ内で使用可能なす べてのアセット・タイプが表示されます。
7	ステータスでフィルタします。承認、公開中(アセット・リポジトリのみ)、カテゴリ 化、ロック、コレクションまたはチャネル・ターゲット(アセット・リポジトリのみ) のステータス・タイプでフィルタできます。
8	デフォルトでは、コレクション、チャネル(アセット・リポジトリのみ)、言語(アセ ット・リポジトリのみ)、メディア・グループ、アセット・タイプおよびステータス によってリポジトリ内のアセットをフィルタするためのフィルタが表示されます。 表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、「カテゴリ」タブ も表示され、そこでカテゴリによりフィルタできます。タクソノミは、階層型のフ ォルダに似たカテゴリ構造を提供します。 各カテゴリの横に、カテゴリおよびカテゴリの子に割り当てられたアセットの数が 表示されます。 デフォルトでは、カテゴリを選択すると、そのカテゴリに割り当てられたすべての アセットまたは選択したカテゴリの任意の子が表示されます。検索を特定の親カテ ゴリに限定する場合は、カテゴリを選択し、「すべての子を含める」を選択解除しま す
	✓ ノート:

タクソノミとカテゴリは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。





コールア ウト	説明
<u>ウト</u> 12	 Alvera 各アセット・タイルには、アセットの詳細が表示されます。次の情報が表示されます。 アセットのプレビュー。 言語のリスト(次に説明するアセット・リボジトリ内のコンテンツ・アイテム用)。 最後の公開以降にアセットが再分類された場合は、 のが表示されます。 アセット・ステータス: 公開済(アセット・リポジトリのみ) 承認済 公開済(アセット・リポジトリのみ) アセット方子 の新訳済(アセット・リポジトリのみ) レビュー中 レビュー中 レビュー中 アセットが最後に更新された時点。 アセットの経類(jpg、.png など)。 アセットの経験(jpg、.png など)。 アセットの公開がスケジュールされている場合(アセット・リポジトリのみ)、 が表示されます。 デジタル・アセットをダウンロードするためのアイコン(上で、コンテンツ・アイテムに対しては表示されない)。 アセットがロックされている場合は、 が表示されます。
	アセットが会話に関連付けられている場合は、 ^{「4]} が表示されます。アイコンを クリックすると、会話が表示されます。 ・ アセットをプレビューするためのアイコン(⁽¹⁾)。
13	アセットがコンテンツ・アイテムの場合には、翻訳できます(アセット・リポジトリのみ)。翻訳済バージョンのリストが表示されるのは、コンテンツ・アイテム・タイル上で翻訳表示の横にあるドロップダウン矢印を選択した場合です。アイテムに関連付けられたすべての言語を表示するには、アイテムを選択して「言語」をクリックします。スライドアウト・パネルが開き、アセットの翻訳バージョンが表示されます。
14	矢印をクリックすると、ナビゲーションが展開されて、ナビゲーション・メニュー のメニュー・オプションのテキストが表示されたり、ナビゲーションが縮小されて、 アイコンのみのナビゲーション・メニューが表示されたりします。メニューを縮小 すると、コンテンツ領域内のアセットを表示するための領域が増えます。

アセットの追加と削除

アセット管理でのアイテムの追加および削除は、ファイルの場合とほとんど同じ方法で行い ます。



コンテンツは、ローカル・コンピュータから、または Oracle Content Management ア カウントのファイルから、あるいは他のソースから(管理者が有効にしている場合)アッ プロードできます。

最初にトピックを選択します。

- アセットを簡単に見つけられるようにする
- アセットの追加
- イメージ・レンディションの追加(アセット・リポジトリのみ)(アセット・リポジト リのみ)
- アセットの削除

アセットを簡単に見つけられるようにする

アセットを見つけやすくする方法がいくつかあります:

- アセットはすべて、アセットを追加するときに選択した特定のリポジトリで管理されます。ユーザーは、アセットを検索または使用する前にリポジトリを選択します。
- アセットをリポジトリ内のコレクションに追加して、関連付けられたアセットとと もにグループ化することができます。コレクションを使用すると、ユーザーは、サ イトで使用されるすべてのアセットや部門で使用されるすべてのアセット、あるい はニーズに適したその他のグループが表示されるように選択内容を絞り込むこと ができます。
- PDF、Microsoft Word ドキュメント、その他のテキスト・ドキュメントなどのデジ タル・アセットは全文索引付けされるため、ユーザーはドキュメント内の任意のテ キストを検索できます。
- リポジトリ管理者がリポジトリでスマート・コンテンツを有効にしている場合、イメージはイメージのコンテンツに基づいて自動的にタグ付けされます。
- ユーザーが検索する可能性のあるキーワードを追加することにより、アセットに手動でタグ付けできます。
- 表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、「カテゴリ」を クリックしてアセットをカテゴリを割り当てることができます。カテゴリは、ビジ ネス構造にマップされた階層組織であり、ユーザーは、それにドリルダウンして必 要なものを見つけることができます。
- ドキュメント・アセットで、リポジトリ管理者がリポジトリでスマート・コンテン ツを有効にしていて、タクソノミがリポジトリに関連付けられている場合、ドキュ メントのコンテンツに基づいたカテゴリの提案が表示されます。ドキュメントに は少なくとも1KBのテキストが含まれている必要があり、テキストの最初の10 MBのみが提案用に分析されます。

アセットの追加

アセットを追加するには:

- 1. アイテムの追加は次のいずれかの方法で行います。
 - 「アセット」ページからアイテムを追加します。
 「アセット」ページで、リポジトリを選択し、オプションでアイテムを追加するコレクションを選択します。次に、「追加」をクリックし、オプションを選択します。

ORACLE

- ドキュメントから追加 Oracle Content Management ドキュメントから1つ以 上のアイテムを選択します。
 アイテムのコピーが作成され、リポジトリに新規アセットとして追加されるため、 ドキュメントのバージョン番号に関係なく、リポジトリにバージョン1としてリ ストされます。たとえば、ドキュメントのv3を選択し、それをアセットとして 追加すると、リポジトリ内のアセットを表示したときに v0.1 としてリストされま す。リポジトリに格納されたアイテムには影響を与えずに、ドキュメント内の元 のアイテムを変更または削除できます。
- このコンピュータから追加 コンピュータから1つ以上のアイテムを選択します。
- サードパーティ・クラウド・ストレージ・プロバイダから追加 管理者が他の サードパーティのクラウド・ストレージ・プロバイダを統合し、リポジトリ管理 者が選択したリポジトリにコネクタを追加した場合、それらのプロバイダからイ ンポートするオプションが表示されます。新しいプロバイダから最初にインポー トする場合、サインインする必要があります。その後、アカウントから1つ以上 のアイテムを選択できます。 必要に応じて、後でプロバイダに対するアクセス権限を取り消すことができます。
- デスクトップ・コンピュータからのコンテンツのドラッグ・アンド・ドロップ。
 「アセット」ページで、リポジトリと、オプションでアイテムを追加するコレクションを選択したことを確認します。その後、ローカル・ファイルからコンテンツを見つけ、それを「アセット」ページにドラッグします。
- ドキュメント・リストからのコンテンツの選択。 「ドキュメント」ページで、アイテムを選択し、アセットに追加を選択します。アイ テムを追加するリポジトリを選択します。アイテムをリポジトリに追加するには、そ のリポジトリのメンバーである必要があります。使用するリポジトリがリストに表 示されていない場合、そのリポジトリのメンバーではない可能性があります。

アイテムのコピーが作成され、リポジトリに新規アセットとして追加されるため、ド キュメントのバージョン番号に関係なく、リポジトリにバージョン1としてリストさ れます。たとえば、ドキュメントの v3 を選択し、それをアセットとして追加すると、 リポジトリ内のアセットを表示したときに v0.1としてリストされます。リポジトリ に格納されたアイテムには影響を与えずに、ドキュメント内の元のアイテムを変更ま たは削除できます。

2. リポジトリに追加ダイアログに、ファイル名、ファイル・サイズ、アイテムに適用される 関連アセット・タイプ、ステータスなどの追加するアイテムのリストが表示され、選択し

たアセット・タイプにデータ・フィールドがある場合は属性アイコン()が表示されま す。アセットを追加する前に、ダイアログで次のアクションを実行する必要がある場合、 または実行したい場合があります。

 アセット・タイプを選択 — ファイル・タイプに複数のデジタル・アセット・タイプ が関連付けられている場合は、ドロップダウン・リストで適切なタイプを選択できま す。または、複数のアイテムを選択し、タイプの割当てをクリックし、アセット・タ イプを選択できます。アセットに選択したリポジトリで使用可能なアセット・タイプ

が関連付けられていない場合は、ステータスとして ^S "タイプなし"が表示されます。 残りのアイテムを追加する前に、アイテムを削除する必要があります。

属性値の編集 — アセットに一部の必須属性値がない場合は、ステータスとして [▶]
 "属性"が表示されます。値の表示または編集が必要な場合もあります。値を編集するには、 [●]をクリックするか、アイテムを選択し、属性の編集をクリックします。アセット・タイプが同じである複数のアセットに同じ属性値を入力するには、アセット



を選択し、「**属性の編集」**をクリックします(属性アイコンは単一のアセットの 属性のみを示します)。

カテゴリの割当て — アイテムを追加しているリポジトリにタクソノミが関連
 付けられている場合、カテゴリを割り当てることができます。1つ以上のアイ

テムを選択し、「カテゴリ」をクリックするか、↓↓↓をクリックしてからドロッ プダウン・メニューの「カテゴリ」を選択します。このコンテンツ・アイテム にカテゴリを割り当てるには、カテゴリの追加をクリックします。 スマート・コンテンツがリポジトリで有効化されている場合、アセット内のコ ンテンツに基づくカテゴリの提案が表示されます。提案を選択して「追加」を クリックするか、提案されたカテゴリをすべて追加するには「すべて追加」を クリックします。

 ターゲット・チャネル(アセット・リポジトリのみ) — アイテムをチャネルにタ ーゲット指定して、アイテムの公開ルールを決定します。1つ以上のアイテム

を選択し、「チャネル」をクリックするか、ししをクリックしてからドロップダウン・メニューの「チャネル」を選択します。

- タグの割当て ユーザーがアイテムを素早く見つけられるようにするキーワードを追加します。1つ以上のアイテムを選択し、タグとコレクションをクリックするか、
 かっするか、
 たクリックしてからドロップダウン・メニューのタグとコレクションを選択します。
- **コレクションへの追加** リポジトリ内でコレクションにアイテムを追加しま

す。1つ以上のアイテムを選択し、**タグとコレクション**をクリックするか、 **し** をクリックしてからドロップダウン・メニューの**タグとコレクション**を選択します。

イメージ・レンディションの追加(アセット・リポジトリのみ)

イメージの公開先のチャネル(モバイル、タブレット、Web など)に合せてカスタム・ レンディションをアップロードできます。リポジトリにイメージを追加すると、イメ ージの大、中、小およびサムネイルのレンディションが Oracle Content Management によって自動的に生成されます。これらのレンディションを使用することも、ニーズ に合った独自のレンディションを作成することもできます。

アセットの削除

日 重要:

アセットを削除した場合、それは完全に削除されます。アセットは、後で回 復できるごみ箱には移動されません。

アセットを削除する手順:

- 1. 「アセット」ページで、削除するアイテムを選択します。
- 2. 「削除」をクリックします。

次に、アセットを削除する際の考慮事項について示します。

- 公開されているアセットを削除することはできません。アセットは、最初に非公開にする 必要があり、その後、削除できます。公開されているアセットを選択した場合、削除オプ ションは使用できません。
- 一連の翻訳済コンテンツ・アイテムのマスターを削除すると、そのすべての翻訳も削除されます。
- コンテンツ・アイテムで使用されているアセットを削除することはできません。たとえば、コンテンツ・アイテムでイメージが参照されている場合、そのイメージは削除できません。

デジタル・アセットの表示および管理

デジタル・アセットは、「アセット」ページや、デジタル・アセットの表示中に、様々な方法 で表示、編集および管理できます。

セクションにジャンプして開始します。

- リポジトリでのアクションの実行
- 検索、フィルタおよびソート
- 選択したアセットでのアクションの実行
- アセットの表示中のアクションの実行
- アセットを簡単に見つけられるようにする
- サイトへのアセットの追加(アセット・リポジトリのみ)

リポジトリでのアクションの実行

「アセット」ページのヘッダーで、リポジトリに次のアクションを実行できます。

タスク	説明
デジタル・アセットの追 加	選択したリポジトリにデジタル・アセットを追加するには、 「追加」 をクリ ックしてから、アセットの追加元の場所を選択します。
コンテンツ・アイテムの 作成	選択したリポジトリにコンテンツ・アイテムを作成するには、 「作成」 をク リックしてからオプションを選択します。
公開ジョブの表示 (アセ ット・リポジトリのみ)	アセットを公開するようにスケジュールした場合、公開ジョブを表示するに は、●●●をクリックしてから「 公開ジョブ」 を選択します。
翻訳ジョブの表示(アセ ット・リポジトリのみ)	翻訳のためにコンテンツ・アイテムをエクスポートした場合、 ●●●をクリ ックしてから 翻訳ジョブ を選択すると <mark>関連付けられた翻訳ジョブを表示</mark> で きます。
公開イベント・ログの表 示(アセット・リポジトリ のみ)	すべての公開ジョブのログを表示するには、●●●をクリックしてから「イ ベント・ログの公開中」を選択します。
コレクションの管理	選択したリポジトリでコレクションを管理するには、・・・をクリックしてから「 コレクション」 を選択します。
提案されたカテゴリの 適用	選択したリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合に、このオプションが表示されます。カテゴリは、ビジネス構造にマップする階層組織を提供し、ユーザーがドリルダウンして必要なものを見つけられるようにします。選択したリポジトリ内のアセットに対するカテゴリの提案を表示して適用するには、・・・をクリックし、 カテゴリの提案 を選択します。
コンテンツ・アナリティ クスの表示(アセット・リ ポジトリのみ)	選択したリポジトリに関連付けられているサイトおよびチャネルのアナリ ティクスを表示するには、・・・をクリックしてから、コンテンツ・アナリテ ィクスを選択します。



タスク	説明
ワークフロー・タスクの	管理者がワークフローを設定した場合、•••をクリックし、 ワークフロー・
管理 (アセット・リポジト	タスク を選択して、自分に割り当てられているすべてのワークフロー・タス
リのみ)	クを表示および管理します(選択したリポジトリに対して1つとはかぎりま
	せん)。

検索、フィルタおよびソート

アセットを検索、フィルタおよびソートするには、「アセット」ページの左側のツール と一番上の検索ボックスを使用します。

選択したアセットでのアクションの実行

デジタル・アセットを右クリックまたは選択すると、次のアクションを実行できます。 ウィンドウのサイズに応じて、一部のオプションを表示するために**「その他」**をクリ ックする必要がある場合があります。

タスク	説明
アセットを開く	アセットを開き、そのアセット・タイプに関連付けられている様々な レイアウトを使用してコンテンツがどのように表示されるかを確認 し、エディタにアクセスするには、右クリック・メニューの「 開く」
	を選択するか、アクション・バーの 🎦 をクリックします。
アセットの表示	アセットを表示するには、右クリック・メニューの 「プレビュー」 を
	選択するか、アクション・バーまたはアセット・タイルの ^④ をクリッ クします。
新規バージョンの追加	アセットの新規バージョンを追加するには、右クリック・メニューの 「新規バージョンのアップロード」 を選択するか、アクション・バーの
	▲ をクリックします。
アセットのダウンロー ド	デジタル・アセットをコンピュータにダウンロードするには、右クリ ック・メニューの 「ダウンロード」 を選択するか、アクション・バー
	またはアセット・タイルの ┵ をクリックします。 複数のデジタル・アセットを同時に選択する場合、アクション・バー
	のアイコンは 🍄 になり、アセットは.zip ファイルとしてダウンロード されます。最大 50 件のアセットまたは最大 2 GB のコンテンツをダウ ンロードできます。
	デジタル・アセットのみダウンロードでき、コンテンツ・アイテムは できません。
アセットのコピー	アセットを別のリポジトリにコピーするには、右クリック・メニュー
	の「コピー先」またはアクション・バーの と選択し、アセットをコ ピーするリポジトリを選択して、「コピー」をクリックします。ターゲ ット・リポジトリに対してマネージャ・ロールを持っている必要があ ります。複数のアセットを選択して同時にコピーできます。各アセッ トの現在のバージョンのみがコピーされます。 リポジトリ・マネージャはあるリポジトリ・コレクションから別のリ ポジトリ・コレクションにアセットをコピーすることもできます。
アセットのロックまた はロック解除 	他のユーザーがアセットを編集できないようにロックするには、右ク リック・メニューまたは「ロック」メニューの「アセットのロック」 を選択します。アセットをすでにロックしてある場合は、「アセットの ロック解除」をクリックしてアセットをロック解除できます。

タスク	説明
アセットの公開または 非公開(アセット・リポ ジトリのみ)	アセットを公開し、サイトで使用できるようにするには、右クリック・ メニューまたは「公開」メニューから「今すぐ公開」または「後で公 開」を選択します。複数のアセットを選択して、同時に公開できます。 アセットがすでに公開されている場合は、かわりに「公開取消」のオ プションが表示されます。
レビューでのアセット の移動	アセットをレビューする必要がある場合、右クリック・メニューまた は「ワークフロー」メニューから「レビューに提出」を選択します。 すでに提出済の場合、リポジトリ管理者であればアセットを「承認」 または「却下」できます。複数のアセットを選択して、レビューに同 時に提出できます。送信ステータスがアセット・プレビューの下に表 示されます。
	 レビュー中 ・ ・ ▲認済 ・ × 却下済
視覚的類似アセットの 検索(アセット・リポジ トリのみ)	選択されているアセットに視覚的に類似するアセットを検索するに は、右クリック・メニューまたは 「検索」 メニューの 「視覚的類似の 検索」 をクリックします。
類似カテゴリのアセッ トの検索	アセットが分類されている場合は、右クリック・メニューまたは「検 索」メニューの「類似したカテゴリの検索」を選択して、選択されて いるアセットと類似のカテゴリに割り当てられているアセットを検索 します。
カスタム・アセット・ タイプへのアセットの 変換	即時利用可能なデジタル・アセット・タイプ(イメージ、ビデオ、Video Plus またはファイル)を使用しているアセットがある場合、アイテムを 変換してカスタム・デジタル・アセット・タイプにすることができま す。右クリック・メニューまたは「変換」メニューで、「タイプの変 換」を選択します。
標準ビデオの Video Plus への変換	Video Plus が有効な場合、標準ビデオを Video Plus に変換できます。 右クリック・メニューまたは「 変換」 メニューで、「ビデオの変換」を 選択します。
アセットへのカテゴリ の割当て	表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、右 クリック・メニューまたは「サイドバー」メニューの「カテゴリ」を 選択して、アセットにカテゴリを割り当てることができます。カテゴ リは、ビジネス構造にマップされた階層組織であり、ユーザーは、そ れにドリルダウンして必要なものを見つけることができます。
アセットを公開チャネ ルにターゲット指定す る(アセット・リポジト リのみ)	アセットを公開チャネルにターゲット指定するには、右クリック・メ ニューまたは「 サイドバー」 メニューの「 チャネル」 を選択します。 複数のアセットを選択して、チャネルを同時に割り当てることができ ます。
タグとコレクションの 割当て	タグおよびコレクションをアセットに割り当てるには、右クリック・ メニューまたは 「サイドバー」 メニューの 「タグとコレクション」 を 選択します。
ワークフローによるア セットの移動(アセッ ト・リポジトリのみ)	表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場合 は、右クリック・メニューまたは 「サイドバー」 メニューの 「ワーク フロー」 を選択して、ワークフローを通じてアセットを移動します。

タスク	説明
アセットのプロパティ の表示	 アセットのプロパティを表示するには、右クリック・メニューまたは 「サイドバー」メニューの「プロパティ」を選択します。プロパティには、アイテムの作成時刻や最終更新時刻などの読取り専用情報が含まれます。 一般 - アセットのタイプ、サイズ、公開されるかどうかに関する情報と、その他の一般情報が含まれます。 アクティビティ - レビュー・ステータスの変更、リビジョン履歴、その他のアクティビティなど、特定のアクティビティの詳細。 API - アセット ID、管理 URL、および公開済の場合は公開情報と配信 URL を表示します。ID または URL をクリップボードにコピ
	ーするには、これの横にある ゆをクリックします。 アセットに対 して関連付けられた JSON データを表示するには、管理または配信 URL の横にある く)をクリックします。
アセットの除去	アセットをリポジトリから削除するには、右クリック・メニューの 「削
	除」 を選択するか、アクション・バーの をクリックします。複数の アセットを選択して、同時に削除できます。アセットが公開されてい る場合、削除される前に非公開になるため、アセットを非公開にする 権限が必要です。

タスク	説明
アセット履歴の表示	前のバージョンのアセットのリストを表示するには、アセット・タイ ルでバージョン番号をクリックするか、右クリック・メニューまたは 「サイドバー」メニューから「プロパティ」を選択して、「アクティビ ティ」タブをクリックします。

Properties 👻	
General	Activity API
v0.2	Approved 8/21/2020 at 1:13 PM Approved in 'Approve by Manager'.
v0.2	Submitted for Review 8/21/2020 at 1:13 PM Submitted for review in workflow 'Approve by Manager'.
v0.2	Updated 8/21/2020 at 1:12 PM
v0.1 🗙	Rejected 8/21/2020 at 1:11 PM Rejected in workflow 'Approve by Manager'.
v0.1 🧲	Submitted for Review 8/21/2020 at 1:11 PM Submitted for review in workflow 'Approve by Manager'.
v0.1	Created 6/24/2020 at 9:44 PM by

- 前のバージョンを表示するには、「アクティビティ」タブでバージョン番号をクリックします。編集できるのは現在のバージョンのみです。
- 前のバージョンを現行にするには、前のバージョンを表示し、バナー・メニューで「現行に設定」をクリックします。現在のバージョンがビデオ・アセットで、以前のバージョンがそうではない場合、以前の非ビデオ・バージョンを現行にすることはできません。

アセットが公開されると、新しいバージョンが作成され、小数点の左の番号が増加します。たとえば、バージョン v1.2 を公開すると、公開されたバージョンは v2 になります。

アセットの表示中のアクションの実行

デジタル・アセットの表示中に、次のアクションを実行できます。



タスク	説明
アセットの編集	イメージを編集またはビデオを編集するには、 「編集」 をクリックしま す。
標準ビデオ・アセット の制御	 アセットが標準ビデオの場合、次の操作を行うにはコントロール・バーを使用します。 再生 一時停止 スキップ 音量の調整
Video Plus アセット の制御(アセット・リポ ジトリのみ)	 アセットが Video Plus アセットの場合、次を行うにはコントロール・バーを使用します。 再生 一時停止 スキップ 音量の調整 10 秒先にスキップ 10 秒前にスキップ ビデオ解像度品質の選択 高速または低速の再生速度の選択
レビューでのアセット の移動 	アセットにレビューが必要な場合、 レビューに提出 をクリックします。 すでに提出済の場合、リポジトリ管理者であればアセットを 「承認」 または 「却下」 できます。
アセットのダウンロー ド	アセットをコンピュータにダウンロードするには、 「ダウンロード」 を クリックします。
アセットを全画面で表 示	アセットを全画面モードで表示するには、 全画面 をクリックします。
新規バージョンのアッ プロード	アセットの新規バージョンを追加するには、・・・をクリックしてから新 規バージョンのアップロード を選択します。
拡大率の変更	アセットの倍率を変更するには、ズーム・コントロールを使用するか、 •••をクリックし、ズーム・オプションを選択します。
注釈の追加	イメージ・レンディションまたはドキュメント・アセットに注釈を追加するには、 かするには、 をクリックし、領域を選択するか注釈を追加する場所 をクリックしてから、テキスト・ボックスにコメントを入力して、「投 稿」をクリックします。
注釈の表示	アセット・レンディションの注釈を表示するには、 マセット・レンディションの注釈を表示するには、 マージで注釈をクリックすると、会話で注釈ノートにフォーカ スが取得されます。

タスク	説明
アセットのプロパティ の表示	 アセットのプロパティを表示するには、 をクリックし、ドロップダウン・メニューで「プロパティ」を選択します。プロパティには、アイテムの作成時刻や最終更新時刻などの読取り専用情報が含まれます。プロパティ情報はタブに分割されています。 一般 - アセットのタイプ、サイズ、公開されるかどうかに関する情報と、その他の一般情報が含まれます。 アクティビティ - レビュー・ステータスの変更、リビジョン履歴、その他のアクティビティなど、特定のアクティビティの詳細。 API - アセット ID、管理 URL、および公開済の場合は公開情報と配信 URLを表示します。ID または URLをクリップボードにコピーするには、これの横にある をクリックします。アセットに対して関連付けられた JSON データを表示するには、管理または配信
	URL の横にある��をクリックします。

タスク	説明
アセット履歴の表示	前のバージョンのアセットのリストを表示するには、アセット・タイ
	ルでバージョン番号をクリックするか、 「プロパティ」 をクリックし

て、**「アクティビティ」**タブをクリックします。

Properties 👻		
General	Activity API	
v0.2 💽	Approved 8/21/2020 at 1:13 PM Approved in 'Approve by Manager'.	
v0.2	Submitted for Review 8/21/2020 at 1:13 PM Submitted for review in workflow 'Approve	
v0.2	Updated 8/21/2020 at 1:12 PM	
v0.1 🗙	Rejected 8/21/2020 at 1:11 PM Rejected in workflow 'Approve by Manager'.	
v0.1	Submitted for Review 8/21/2020 at 1:11 PM Submitted for review in workflow 'Approve by Manager'.	
v0.1	Created 6/24/2020 at 9:44 PM by	

- 前のバージョンを表示するには、「アクティビティ」タブでバージョン番号をクリックします。編集できるのは現在のバージョンのみです。
- 前のバージョンを現行にするには、前のバージョンを表示し、バ ナー・メニューで「現行に設定」をクリックします。現在のバー ジョンがビデオ・アセットで、以前のバージョンがそうではない 場合、以前の非ビデオ・バージョンを現行にすることはできません。

アセットが公開されると、新しいバージョンが作成され、小数点の左の番号が増加します。たとえば、バージョン v1.2 を公開すると、公開されたバージョンは v2 になります。

タスク	説明
アナリティクスの表示	アセットの公開先またはターゲット対象となっているサイトおよびチ
(アセット・リホシトリ のみ)	ャネルのアナリティクスを表示するには、
	ダリン・メーユービ 「アテリテイジス」 を選択します。 デフォルトでけすべての分析データが実テされますが、ドロップダウ
	ン・リストで新規オプションを選択することで制限できます(たとえば、
	今年や過去 30 日など)。アセットがターゲットとしているチャネルに
	関する次の情報が表示されます。
	• 平均日次アクセス数:折れ線グラフに、各チャネルへの一意の訪問
	数の1日当たりの半均か、公開済アセットと非公開アセットで分 類されて表示されます。一音の訪問とは1時間の期間内に1つの
	チャネルを訪問する1人のユーザーです。そのため、ユーザーが
	1時間以内に20回サイトを訪問しても、1回の一意の訪問として
	カウントされます。
	 アセット・ステータス: 各チャネル内のアセットの経過時間および ステータスが表示されます
	- 承認済
	_ 🛛 🔀 却下済
	- D KƏZK
	VIGEO Plus かりーと人で有効になっている場合、 とナオの使用 タノも 表示されます。デフォルトでは Video Plus アセットのすべてのアナ
	リティクス・データが表示されますが、ドロップダウン・リストで新
	規オプションを選択することで制限できます(たとえば、今年や過去30
	日や特定のチャネルなど)。
	アセットについて次の情報が表示されます:
	 ファイル名: ビデオ・ファイルの名前。 プリートのコード・ビデオ・ボキニュキャキ わびこわに閉びたく プリー・
	 ノレーヤのロート: ヒテオか衣示されたかとうかに関係なく、ノレーヤがページにロードした回数
	 再生:ビデオが再生された実際の回数。
	• 平均完了率: 最後まで完了した再生のパーセンテージ。
	• 平均ドロップオフ率: 最後まで完了しなかった再生のパーセンテ
	ージ。
	上位の国: このビテオが表示された上位5つの国。フレーヤかし ードした回数 ビデオが再生された回数お上びこの国の再生のパ
	ーセンテージのデータが含まれています。
	• 上位プラットフォーム: このビデオが表示された上位 5 つのプラ
	ットフォーム。プレーヤがロードした回数、ビデオが再生された
	回奴のよびこのフラットフォームの再生のハーセンテーンのテー タが含まれています。
	• 上位チャネル: このビデオが表示された上位 5 つのチャネル。プ
	レーヤがロードした回数、ビデオが再生された回数およびこのチャネーの再生のパーセンテージのデータが含まれています
	マネルの母土のハーセンテーンのテーダかるまれています。 • 日付スタンプ・データが最終更新された日時。
	ロロスタイノ・ノー ノル 取べて利じていて口町。

タスク	説明
属性の表示 アセットのカテゴリの 表示	デジタル・アセットの属性を表示するには、 プダウン・メニューで「属性」を選択します。属性値を変更するには、 パネルの下部で「編集」をクリックします。 アセットが格納されているリポジトリにタクソノミが関連付けられて いる場合、 「たクリックしてからドロップダウン・メニューで「カテ ゴリ」を選択すると、アセットに割り当てられているカテゴリを表示 できます。「アセット・カテゴリの割当て」を参照してください。
	カテゴリは、Oracle Cloud Infrastructure でのみ使用できます (Oracle Cloud Infrastructure Classic で は使用できません)。
アセットのダーケット 対象となっているチャ ネルの表示(アセット・ リポジトリのみ)	アセットのターケット対象となっているナヤネルの表示および管理を 行うには、 します。必要に応じてチャネルを追加または削除します。
関連付けられている会 話の表示	アセットに関連付けられた会話を作成したり、会話に参加するには、 の をクリックし、ドロップダウン・メニューで「 会話」 を選択しま す。
アセットの使用場所の 表示	 このアセットを参照するすべてのコンテンツ・アイテムのインベント リ、またはこのアセットを使用するサイトを表示するには、 ウリックし、ドロップダウン・メニューで「インベントリ」を選択します。 インベントリ情報はタブに分割されています。 依存性: このタブには、コンテンツ・アイテムが依存するアセットの名前、タイプおよびステータスがリストされます。イメージやビデオなどのコンテンツ・アセットには、依存性はありません。 参照元: このタブには、このアセットを参照するすべてのコンテンツ・アイテムがリストされます。 使用サイト: このタブには、このアセットを参照するすべてのサイトと、このアセットが使用されるページがリストされます。
	 ✓ ノート: すべてのタブが表示されない場合には、 → または く をクリックして、タブの見 出しをスクロールする必要があります。
	- 「依存関係」タブまたは「参照元」タブのアセットにマウスのカーソル を合せると、 [●] が有効になります。 [●] をクリックして、スライド アウト・パネルでアセットをプレビューします。

タスク	説明
アセット・レンディシ ョンの表示(アセット・ リポジトリのみ)	イメージのレンディションの表示および管理を行うには、 クし、ドロップダウン・メニューで 「レンディション」 を選択します。 イメージ・レンディションの管理を参照してください。
アセットに割り当てら れているタグとコレク ションの表示	アセットに関連付けられているタグとコレクションの表示および管理 を行うには、 をクリックし、ドロップダウン・メニューで タグとコ レクション を選択します。必要に応じてタグを追加または削除しま す。
ワークフローによるア セットの移動(アセッ ト・リポジトリのみ)	表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場合 は、
レイアウトでのアセッ トの表示	 基礎となるアセット・タイプに関連付けられたレイアウトがある場合、 レイアウトにプレビューをクリックすると、これらのレイアウトでア セットを表示できます。デフォルトで、コンテンツ・フォーム・ビュ ー(アセット・タイプのフィールド名と値)が表示されます。 他のレイアウトまたは特定のサイト・ページ(構成されている場合) にアセットがどのように表示されるかを確認するには、ドロップ ダウン・リストからレイアウトまたはサイト・ページを選択しま す。 デフォルトでは、アセットはブラウザ・ウィンドウに合せて設定 されています。他のレイアウトまたはサイト・ページを選択する と、様々なデバイス・サイズを選択できます。独自のデバイス・ サイズを作成することもできます。デバイス・サイズの選択後、 ルーラーを表示して手動でデバイス・サイズを変更するには、 をクリックしてから、ハンドルを移動して高さおよび幅を変更し ます。

アセットを簡単に見つけられるようにする

アセットを見つけやすくするために、カテゴリ、コレクションおよびタグを使用できます。

 カテゴリ:表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、カテゴリを 使用できます。カテゴリは、ビジネス構造にマップされた階層組織であり、ユーザーは、 それにドリルダウンして必要なものを見つけることができます。アセットにカテゴリを 割り当てるには、「カテゴリ」をクリックします。アセットが公開された後で再分類され た場合、再分類されたアセットをすばやく確認できるように、アイコンが追加されます

(し)。再分類されたアセットのみを表示するためのフィルタもあります。アセット・カテゴリの割当てを参照してください。

♪ ノート:

カテゴリは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

コレクション: コレクションは、マーケティング・キャンペーンなどの特定のビジネス・
 ニーズに応じて関連アセットをグループ化する方法です。新しいコレクションは、各サイトでも自動的に作成されます。アセットが関連付けられているコレクションを変更する



には、「**コレクション」**をクリックします。複数のアセットを選択して、コレクションに同時に割り当てることができます。コレクションの使用を参照してください。

 タグ: キーワードなどのタグは、ユーザーが検索可能な用語です。リポジトリ管理 者がリポジトリでスマート・コンテンツを有効にしている場合、イメージはイメージのコンテンツに基づいて自動的にタグ付けされますが、任意の種類のアセット用 に手動のタグを追加することもできます。たとえば、次回の会議に関するドキュメ ントまたはコンテンツ・アイテムがあるとします。これに、「会議」、「イベント」、 「Web セミナー」、「ブレークアウト」などの用語をタグ付けできます。アセットの タグを追加または編集するには、「タグ」をクリックします。複数のアセットを選 択して、タグを同時に割り当てることができます。アセットのタグ付けを参照して ください。

↓↓ をクリックし、ドロップダウン・メニューで必要なオプションを選択することで、カテゴリ、コレクションおよびタグを表示することもできます。

サイトへのアセットの追加(アセット・リポジトリのみ)

アセットをサイトに追加するには、「アセットおよびコンテンツ・アイテムの操作」を 参照してください。

アセットの検索、フィルタおよびソート

アセットは、その他のファイルやフォルダの場合と同じ方法で検索できます。アセットをフィルタして検索を絞り込んだり、アセットをソートして必要なものを見つけたりすることができます

アセットの検索は、バナーの検索ボックス、「アセット」ページ、コレクション内、ま たはコンテンツ・アイテムの作成時のメディア・ピッカーで実行できます。選択した アセットと視覚的に似た用語、キーワード、タグまたはアイテムを検索します。Oracle Content Management により、アセットのタイトル、アセットのコンテンツ(PDF、 Microsoft Word ドキュメント、その他のテキスト・ドキュメントなどのデジタル・ア セットの全文を含む)およびタグが検索されます。スマート・タグは英語、フランス語、 イタリア語、ドイツ語、スペイン語および日本語で検索できます。手動で追加された タグは、追加時に使用されていた言語で検索できます。

トピックの選択:

- 視覚的類似アセットの検索(アセット・リポジトリのみ)
- 類似カテゴリのアセットの検索
- スマート・コンテンツ
- スマート・コンテンツおよびローカリゼーション
- アセットのフィルタ
- アセットのソート
- 翻訳およびフィルタの理解(アセット・リポジトリのみ)

視覚的類似アセットの検索(アセット・リポジトリのみ)

Oracle Content Management では、「アセット」ページで、またはコンテンツ・アイテムの作成時にイメージを選択するときに、選択したイメージと視覚的に似たアセットを検索できます。視覚的類似アセットを検索するには:



- 1. 左側のナビゲーション・メニューの「**アセット」**をクリックするか、コンテンツ・アイテムの作成時に「**選択」**をクリックし、メディアを選択します。
- 2. イメージを選択または右クリックして、右クリック・メニューまたは「検索」メニューの 「視覚的類似の検索」を選択します。

アセットがフィルタされ、コンテンツ・アイテムが除外され、最初に選択したイメージに似 たイメージのみに結果が制限されます。視覚的類似検索を表すカプセルがフィルタ領域に表 示されます。カプセルをクリアして検索をリセットします。

類似カテゴリのアセットの検索

カテゴリが有効で、アセットに割り当てられている場合、Oracle Content Management では 類似カテゴリに割り当てられているアセットを検索できます。類似カテゴリのアセットを検 索するには:

- 1. 左側のナビゲーション・メニューの「**アセット」**をクリックするか、コンテンツ・アイテ ムの作成時に「**選択」**をクリックし、メディアを選択します。
- アセットを選択するか、アセットを右クリックし、コンテキスト・メニューを開きます。 複数のアセットを選択して、カテゴリ内の選択したすべてのアセットに似た結果を表示で きます。

アセットがフィルタされてコンテンツ・アイテムが除外され、最初に選択した1つまたは複数のアセットに似たカテゴリに割り当てられているアセットのみに結果が制限されます。類 似カテゴリの検索を表すフィルタ領域にカプセルが表示されます。カプセルをクリアして検 索をリセットします。

スマート・コンテンツ

リポジトリでスマート・コンテンツが有効になっている場合、Oracle Content Management により、イメージに自動的に適用されたマシン・タグも検索されます。検索語を追加すると、 検索ボックスの下に推奨キーワードが表示されます。キーワードをクリックして検索に追加 します。これにより、両方の語でタグ付けされたイメージが結果リストの最上位近くに来る ようになり、追加したキーワードでタグ付けされた追加イメージが表示されます。

予期したアセットが表示されない場合は、正しいリポジトリを参照していること、および選択したフィルタによってコンテンツが非表示になっていないことを確認してください。

スマート・コンテンツおよびローカリゼーション

スマート・タグは英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語および日本語で使 用できます。ユーザーが言語プリファレンスをこの中のいずれかの言語に設定した場合に は、その優先言語でスマート・コンテンツ・タグが表示されます。ユーザーのプリファレン スに言語が指定されていない場合や、優先言語が前述の言語のいずれでもない場合、スマー ト・タグはデフォルトで英語になります。

スマート・タグが割り当てられているアセットに、手動でもタグが追加された場合、手動で 追加されたタグは、その入力に使用された言語で表示されます。このため、タグに複数の言 語が混在することがあります。たとえば、スマート・コンテンツにより英語でタグが割り当 てられていて、ユーザーが手動にて英語でタグを追加する場合、言語プリファレンスがスペ イン語に設定されているユーザーがアセットやタグを表示すると、スマート・コンテンツ・ タグはスペイン語で、手動で追加されたタグは英語で表示されます。

アセットのフィルタ

「アセット」ページでは、表示内容をフィルタできます。フィルタ機能が非表示になっている 場合は、 ようなのフィルタを適用できます。



- コレクション ドロップダウン・リストでコレクションを選択します。選択した リポジトリ内にあるコレクションのみが表示されます。
- チャネル(アセット・リポジトリのみ) ドロップダウン・リストでチャネルを選択します。選択したリポジトリに関連付けられているチャネルのみが表示されます。
- **言語(**アセット・リポジトリのみ) ドロップダウン・リストで言語を選択します。 選択したリポジトリ内で使用可能な言語のみが表示されます。
- メディア・グループ イメージ、ビデオ、ドキュメント、コンテンツ・アイテム またはその他でフィルタします。
- アセット・タイプ 選択したリポジトリで使用可能なアセット・タイプでフィル タします。
- ステータス 管理場所のリポジトリにより決定されたプロパティを持つアイテムのみが表示されるようにビューを制限できます。たとえば、公開ポリシーによって、アセットは承認された場合にのみ公開できると指示されているとします。これらのポリシーをコレクション内のアセットに適用した後は、次のステータス・タイプが表示されるようにフィルタできます。
 - **承認** ドラフト、翻訳済、レビュー中、承認済、却下済などの承認ステータ スでフィルタします。
 - 公開中(アセット・リポジトリのみ) 公開されているアセットを表示するか、
 公開されていないアセットを表示します。
 - カテゴリ化 最後に公開された後に再分類されたアセットが表示されます。
 分類されていないアセットを表示します。
 - **ロック** アセットを自分がロックしたか、他のユーザーがロックしたか、またはロックされていないかによってフィルタします。
 - **コレクション** コレクションにないアセットを表示します。
 - チャネル・ターゲット(アセット・リポジトリのみ) 公開チャネルにターゲット指定されていないアセットを表示します。
- カテゴリ 選択したリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、「カテゴリ」タブのカテゴリによりフィルタできます。タクソノミは、階層型のフォルダに似た構造をカテゴリ内に提供し、デフォルトで、選択されたノードのすべての子を検索します。

各カテゴリの横に、カテゴリおよびカテゴリの子に割り当てられたアセットの数が 表示されます。

デフォルトでは、カテゴリを選択すると、そのカテゴリに割り当てられたすべての アセットまたは選択したカテゴリの任意の子が表示されます。検索を特定の親カ テゴリに限定する場合は、カテゴリを選択し、「すべての子を含める」を選択解除 します。

タクソノミに多数のカテゴリがある場合は、「カテゴリ」タブの検索フィールドを 使用して、特定のカテゴリを検索できます。

💉 ノート:

タクソノミとカテゴリは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。



- フィールド 「フィールド」タブで、標準のプロパティ値(たとえば、作成者や説明)や、 カスタム・アセット・タイプの属性値を検索できます。
 - 標準のプロパティ値を検索するには、「アセット・タイプ」メニューから「すべて」 を選択し、「フィールド」メニューからプロパティを選択して、「演算子」を選択し、 検索する値を入力して、[ENTER]を押します。
 - 属性値を検索するには、「アセット・タイプ」メニューからアセット・タイプを選択し、「フィールド」メニューから属性を選択して、「演算子」を選択し、値を入力して、[ENTER]を押します。
 - フィルタをさらに追加するには、「追加」をクリックします。追加のフィルタは、フィルタ間に「または」を使用した場合と同様に追加されます。
 - フィルタを削除するには、検索バーで、フィルタの横にある 🔯 をクリックします。

アセットのソート

右側のアセット検索ボックスの下にあるドロップダウン・メニューを使用して、関連性、名 前または最終更新日でアセットをソートします。

翻訳およびフィルタの理解(アセット・リポジトリのみ)

すべての言語でアセットをフィルタする場合、予想しない結果が表示される可能性があることに注意してください。アセットが複数の言語に翻訳される場合、1つのアセットがマスターとみなされ、その他の翻訳バージョンはセカンダリとみなされます。特定の言語でフィルタすると、その言語のアセットが予想したとおりに表示されます。

ただし、言語を「すべて」に設定して再分類されたアセットに対してフィルタした場合、再

分類を示すアイコン(└──)なしでアセットが表示されることがあります。この場合、マスター・バージョンは再公開されていて、マスター・アセットでは再分類通知がクリアされていますが、翻訳済バージョンはまだ再公開されていません。

アイテムに関連付けられたすべての言語を表示するには、アイテムを選択して**「言語」**をク リックします。新しいスライドアウト・パネルが開き、アセットの翻訳バージョンが表示さ れます。

アセットのタグ付け

タグ付けは、アイテムをすばやく検索できるキーワードを追加することによって行います。

リポジトリ管理者がリポジトリでスマート・コンテンツを有効にしている場合、イメージは イメージのコンテンツに基づいて自動的にタグ付けされますが、任意の種類のアセットに手 動でタグを追加することもできます。

アップロードするときにファイルにタグを追加するか、アセット領域またはコレクションで 追加後にタグを付けることができます。コンテンツ・アイテムは、作成後にタグ付けするこ ともできます。検索語としてタグを使用してアイテムを検索できるため、ファイルを迅速に 見つけることができます。

アセットにタグ付けする際に考慮する点は次のとおりです。

 必要なだけいくつでもタグを追加できます。タグには、アイテム、場所、年、内容、また はオブジェクトの特定に必要な任意の要素を記述できます。どのようなタグが必要かは、 ユーザーが決定します。



- タグを付ける場合は、各タグの後に[Enter]を押します。すべてのタグの追加が完 了したら、「完了」をクリックします。
- タグでは大文字と小文字が区別されません。タグ付けする際の"Lake"と"lake"は同じです。
- アスタリスク(*)や丸カッコ()などの特殊文字は使用できますが、使用は避けてください。これにより、タグを付けたオブジェクトの検索は難しくなる可能性があります。

🖋 ノート:

すでに行ったタグ付けにさらにタグを追加することがわかっている場合は、 アセットを開き、キーワード・ボックスにタグを入力します。「検索」をクリ ックします。その既存のタグを持つファイルが表示されます。すべてを選択 し、ここで詳細に説明する手順を使用して新規タグを追加できます。

アップロード時のタグの追加

- 1. 「アセット」ページで、リポジトリを選択し、オプションでアセットを追加するコレクションを選択します。
- 2. 「追加」をクリックし、ファイルのアップロード元を選択します。
- 3. 追加するファイルを選択します。
- 4. サイドバー・メニューの「タグとコレクション」を選択します。
- アセットのタグを追加します。各タグの後に[Enter]を押します。各タグの後にカンマ、ハッシュタグ(#)またはセミコロン(;)を挿入してタグを区切ることもできます。
- 6. タグの追加が終了し、アセットをアップロードする準備が完了したら、「完了」を クリックします。

既存アイテムへのタグの追加

アセット・リストまたはコレクションのアップロード済アイテムに対するタグを追加 または編集できます。コレクションのタグを編集する場合、最初にコレクションを選 択します。

- 1. コレクションまたはアセット・リストで編集するアセットを検索します。
- 2. タグ付けするアセットを右クリックまたは選択し、右クリック・メニューまたは 「サイドバー」メニューの「タグとコレクション」を選択します。
- 3. 現在のタグを編集するか、またはさらにタグを追加します。

アセット・カテゴリの割当て

表示しているアセットを管理するために使用されるリポジトリにタクソノミが関連付 けられている場合、アセット・カテゴリを表示、割当ておよび削除して、アセットを 整理できます。



💉 ノート:

カテゴリは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

アセットのカテゴリを表示および管理するには:

- 1つ以上のアセットを右クリックまたは選択し、右クリック・メニューまたは「サイドバー」メニューの「カテゴリ」を選択するか、 をクリックしてからドロップダウン・メニューの「カテゴリ」を選択します。
 選択したアセットに割り当てられたカテゴリが表示されます。カテゴリ名の前にタクソノミの略語が付きます。
- 2. 必要に応じてカテゴリを追加または削除します。
 - カテゴリを追加するには、「カテゴリの追加」をクリックします。リポジトリに複数のタクソノミが割り当てられている場合、ドロップダウン・リストのタクソノミ選択を変更できます。リストされているタクソノミは、ログアウトするまでに最後に使用したものにデフォルト設定されます。カテゴリを検索するかタクソノミ・ノードを展開して、追加するタクソノミのカテゴリを見つけ、カテゴリを選択して「追加」をクリックします。各タクソノミ内で選択されている複数のアセットに、一度に複数のカテゴリを追加できます。複数のタクソノミからカテゴリを追加する必要がある場合は、まず1つのタクソノミからのカテゴリの追加を完了してから、別のカテゴリを選択する必要があります。
 - コンテンツ・アイテムを選択済で、スマート・コンテンツがリポジトリで有効化されている場合、アセット内のコンテンツに基づくカテゴリの提案が表示されます。コンテンツを変更した後、提案をリフレッシュできます。提案を選択して「追加」をクリックするか、提案されたカテゴリをすべて追加するには「すべて追加」をクリックします。
 - カテゴリを削除するには、カテゴリにカーソルを合せ、 ¹をクリックします。
 - 複数のアセットを選択し、そのうちの1つのアセットが、選択したすべてのアセット に割り当てる予定のカテゴリに割り当てられている場合、カテゴリにカーソルを合せ てをクリックします。

アセットに割り当てるカテゴリが見つからない場合、リポジトリ管理者に連絡して、その アセットが格納されているリポジトリに適切なタクソノミが割り当てられていることを 確認してください。

カテゴリを追加または削除すると、アイコン(¹)がアセットとともに表示され、再分類 されたことを示されます。再分類されたアセットを公開すると、アイコンが削除され、ア セットがもう一度再分類されると戻ります。**再分類**フィルタを有効にして、再分類された すべてのアセットのリストを表示し、再公開する必要があるアセットをすばやく判定しま す。

スマート・カテゴリ化

サービス管理者がスマート・コンテンツを有効にしてリポジトリのカテゴリを作成すると、 Oracle Content Management ではリポジトリのコンテンツ・アイテムをレビューし、迅速か つ容易に割り当てることができる大きなグループのコンテンツ・アイテムに対してカテゴリ を提案できます。



- サイドのナビゲーション・メニューの「アセット」をクリックして、分類するコン テンツ・アイテムを保持するリポジトリを選択します。
- 2. 「カテゴリ」をクリックするか、「詳細」メニュー(•••)を開きます。
- 3.「カテゴリ」の下でカテゴリの提案の表示をクリックするか、「詳細」メニューから カテゴリの提案を選択します。 Oracle Content Management では人工知能を使用してリポジトリのすべてのコン テンツ・アイテムをレビューし、各アイテムを割り当てることができるカテゴリを 提案します。検索フィールドにカテゴリを入力して、目的のものをすばやく検索し たり、提案のあるカテゴリ・リストを名前別、カテゴリごとに提案されたコンテン ツ・アイテム数別またはカテゴリ・パス別にソートできます。カテゴリ・パス別に ソートすると、同じサブカテゴリが複数の最上位レベルのカテゴリに存在する場合 に便利です。たとえば、ブログ・カテゴリは販売カテゴリと HR カテゴリの両方の サブカテゴリである場合があります。パス別にソートすると、コンテンツ・アイテ ムを割り当てるブログ・カテゴリを表示できます。
- コンテンツ・アイテムを割り当てる提案のあるカテゴリ・リストでカテゴリを選択します。提案されたコンテンツ・アイテムのリストが表示されます。カテゴリに割り当てる前にコンテンツ・アイテムをプレビューする場合、アイテムの上にカーソ

ルを置くか、これを選択して**「プレビュー」 (⁽)**をクリックします。

5. カテゴリに割り当てるコンテンツ・アイテムを選択して、カテゴリへの割当てをクリックします。適切な提案ではないと判断したコンテンツ・アイテムがある場合、これらを選択して「提示の却下」をクリックします。Oracle Content Managementではこの情報を使用して、提案の精度について学習し、これを向上させます。以前に却下したコンテンツ・アイテムを表示する場合、却下の表示をクリックします。

イメージの編集

イメージの切取り、回転または反転を行うか、フォーマット、背景色またはイメージ 品質を変更できます。次に、新しいイメージを新規レンディションまたは完全新規の アセットとして保存できます。

イメージの複数のバージョンがある場合、イメージを表示するときに、イメージ名の 横にあるドロップダウン・メニューを使用して、最新のドラフト・バージョンと最後 の公開済バージョンを切り替えることができます。公開されたイメージを編集するに は、そのイメージを新規リビジョンまたは新規アセットとして保存する必要がありま す。すでにドラフトがありサイト・ビルダーで作業中の場合、ドラフトは自動的にエ ディタで開かれます。「アセット」ページからアセットを表示中の場合、イメージを編 集可能にする前にドラフトに切り替える必要があります。

イメージを編集するには:

- 「アセット」ページからイメージを開き、次に「編集」をクリックするか、または サイト・ビルダーで、編集するコンポーネントのメニュー・アイコン をクリックし、「設定」を選択して、 をクリックします。サイト・ビルダー内で複数の イメージを許容するコンポーネント(ギャラリなど)を編集中の場合、「イメージ」 をクリックしてから、編集するイメージをクリックして編集アイコン()を表示 します。
- 2. 次のいずれかのアクションを使用してイメージを編集します。

- イメージを切り取るには、「「切取り」をクリックします。切取りツールバーで事前定義されたイメージ比率の1つを選択するか、イメージの切取りハンドルを目的の位置までドラッグします。完了したら、切取りツールバーで「切取り」をクリックします。
- イメージを回転または反転するには、「回転」をクリックします。回転ツールバーで、カスタム回転度を入力する、ボタンを使用してイメージを左または右に回転する、あるいはイメージを水平方向または垂直方向のいずれに反転するかを選択します。
- イメージにウォーターマークを追加するには、 「ウォーターマーク」をクリックします。テキストをイメージに追加し、テキスト・サイズ、スタイル、色および不透明度を、ウォーターマーク・ツールを使用して必要に応じて変更します。
- イメージ・フォーマットを変更するには、 「オプション」をクリックし、「フォーマット」ドロップダウン・リストから新しいフォーマットを選択します。
- 背景色を変更するには、 「オプション」をクリックし、「背景色」ドロップダウン・メニューからオプションを選択します。
- .jpg または.webp (Google Chrome ブラウザに対応)を編集中の場合、イメージ品質を 変更してより小さなファイル・サイズを作成できます。 「オプション」をクリッ クし、「品質」ボックスに新しいパーセンテージを入力します。
- 変更を元に戻すか、やりなおすには、 → または ⊂ をクリックします。行ったすべての変更を削除するには、「リセット」をクリックします。
- イメージの拡大率を変更するには、ズーム・コントロールを使用します (- - - +)。
- 3. 変更を保存するには、「保存」をクリックし、新規レンディション(アセット・リポジトリのみ)として保存するか、または完全新規のアセットとして保存するかを選択します。あるいは、カスタム・レンディションを編集中の場合、イメージを保存して置き換えることもできます。

ビデオの編集

Video Plus を有効にすると、ビデオのトリミングおよびクリップの設定によるフェード・インまたはフェード・アウトなど、Oracle Content Management で直接、Video Plus アセットを編集できます。

✓ ノート: Video Plus はビジネス・リポジトリでは使用できません。

次に、Video Plus アセットの編集時に表示されるものを示します:



アイ 説明 テム

1 編集するタイムライン上の時点に時間マーカーを移動します。編集はすべてビデオ・タイムライン上で行われます。編集しようとする時点のタイムライン上をクリックして時間マーカーを配置するか、タイムライン上で時間マーカーをクリックしてドラッグします。右矢印キーを使用して時間マーカーを1秒先に進めることも、左矢印キーをクリックして1秒前に戻すこともできます。[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒先に進み、[Alt]+右矢印を使用すると10秒

	[AII]+左矢印を使用すると 10 秒削に戻ります。
2	「分割」 は、タイムラインをセグメントに切ります。
3	セット・イン は、時間マーカーの時点を、ビデオの開始として指定します。
4	セット・アウト は、時間マーカーの時点を、ビデオの終了として指定します。
5	「削除」 は、選択されたセグメントをタイムラインから削除します。
6	フェード・イン/アウト は、指定された時間の長さ(秒単位)までセグメントをフェード・ インまたはフェード・アウトすることで、ビデオの開始と終了またはセグメント間の遷
	移をスムーズにします。アイコン()がタイムライン上に表示され、どのセグメントにフェードが使用されているかが示されます。
7	「リセット」 は、保存していないかぎり、ビデオに行われた編集を削除します。コピー を保存しないで 「閉じる」 をクリックすると、行った編集が取り消されます。
8	「元に戻す」は、行った編集をタイムラインから連続して削除し、「再実行」は、削除した編集をタイムラインに連続して追加しなおします。


アイ 説明

テム

- 9 オーディオの選択を使用すると、ビデオにオーディオ・トラックが複数ある場合に、使用するトラックを選択できます。選択したオーディオ・トラックは、タイムラインに表示されます。
- 10 「保存」をクリックして、編集したビデオを新規アセット、アセットのレンディション、 または元のアセットの新規バージョンのいずれとして保存するかを選択します。
- 11 **クリップ・フレーム**のいずれかの側を必要な時点にクリックしてドラッグすると、ビデ オの最初または最後の部分を簡単にトリミングして保存できます。

ビデオの編集

- 開始するには、サイドのナビゲーション・メニューで「アセット」をクリックして、編集 する Video Plus アセットを含むリポジトリを選択します。
- 2. Video Plus アセットを選択し、 と をクリックしてビデオを開きます。
- 3. 「編集」をクリックして「編集」タブを開き、ビデオ・タイムラインを表示し、ビデオ編 集ツールを有効にします。メニューを展開して「編集」を表示するには、・・・をクリッ クします。ビデオにオーディオ・トラックがある場合、タイムラインに表示されます。オ ーディオ・トラックが複数ある場合は、オーディオの選択をクリックして使用するサウン ド・トラックを選択します。
- 4. 前述したように、編集は編集ツールを使用して行います。
- 5. 「保存」をクリックして、編集したビデオを新規アセット、アセットのレンディション、 または元のアセットの新規バージョンのいずれとして保存するかを選択します。レンデ ィションとして保存する場合は、そのレンディションの名前を入力します。この名前は 28 文字以下です。

🖉 ノート:

現在のバージョンのアセットしか編集できないことに注意してください。ビデ オの一部を抜き出して、これを別のビデオ用に後で使用する場合、抜き出した ビデオを新規アセットとして保存すると、元のアセットを追加のビデオ用に使 用できます。

6. 「OK」をクリックします。

カスタム・アセット・タイプへのデジタル・アセッ トの変換

即時利用可能なデジタル・アセット・タイプ(イメージ、ビデオ、Video Plus またはファイル) からカスタム・デジタル・アセット・タイプにデジタル・アセットを変換できます。

- 1. サイド・メニューの「**アセット」**をクリックして、「アセット」ページを開きます。
- 2. 変換するアセットを選択するか右クリックして、「変換」メニューで「タイプの変換」を 選択します。
- 3. 「アセット・タイプの変換」ダイアログに、ファイル名、現在のソース・アセット・タイ プ、アイテムに適用されるターゲット・アセット・タイプ、ステータスなどの変換するア



イテムのリストが表示され、選択したアセット・タイプにデータ・フィールドがあ る場合は属性アイコン(^{III)})が表示されます。アセットを変換する前に、ダイアロ

る場合は属住アイコン(==)が扱いされより。アビットを変換りる前に、タイアロ グで次のアクションを実行する必要がある場合、または実行したい場合がありま す:

新規アセット・タイプの選択 — ファイル・タイプに変換可能な複数のカスタム・デジタル・アセット・タイプがある場合は、ドロップダウン・リストで新しいタイプを選択できます。または、複数のアイテムを選択し、「割当てタイプ」をクリックして、アセット・タイプを選択できます。アセットに選択したリポジトリで変換可能なアセット・タイプが関連付けられていない場合は、ス

テータスとして ^{Sele}「タイプなし」が表示されます。残りのアイテムを変換す る前に、アイテムを削除する必要があります。

• 属性値の編集 — アセットに一部の必須属性値がない場合は、ステータスとし

て 🎙 "属性"が表示されます。値の表示または編集が必要な場合もあります。

値を編集するには、 をクリックするか、アイテムを選択し、**属性の編集**を クリックします。アセット・タイプが同じである複数のアセットに同じ属性値 を入力するには、アセットを選択し、「**属性の編集」**をクリックします(属性ア イコンは単一のアセットの属性のみを示します)。

標準ビデオの Video Plus への変換

・ノート:

Video Plus はビジネス・リポジトリでは使用できません。

ビデオ管理と配信のエクスペリエンスが充実したものになるよう、Video Plus アセットには標準ビデオの全機能に加え、ストリーミングの最適化、ビデオ編集、自動トランスコードおよび会話用の高度な機能が備わっており、再生オプションの応答性も強化されています。

Video Plus が有効化されている場合、既存の標準ビデオは、自動的には Video Plus ア セットに変換されません。ただし、「アセット」ページから、または標準ビデオの表示 中に、標準ビデオ・アセットを Video Plus アセットに変換できます。

- 1. サイド・メニューの「**アセット」**をクリックして、「アセット」ページを開きます。
- 変換する標準ビデオを選択するか右クリックして、「変換」メニューで「ビデオの 変換」を選択します。

ノート: 公開済のビデオやビデオ・アセットではないアセット(イメージやドキュ メントなど)を選択すると、「ビデオの変換」は使用できなくなります。

Video Plus に変換されたビデオのリビジョン番号は、元の標準ビデオのバージョンと同じになります。



Video Plus アセットが公開されておらず、依然として標準ビデオである以前のリビジョンが ある場合、標準ビデオ・リビジョンを選択して現行にすると、Video Plus に変換されるリビ ジョンが新規に作成されます。

標準ビデオ・アセットは、表示中に変換することも可能です。

- 1. 「**アセット」**ページで標準ビデオ・アセットを選択し、 をクリックします。標準ビデオ・アセットが表示されます。
- 2. バナー・メニューで「変換」をクリックします。

イメージ・レンディションの管理

イメージのカスタム・レンディションを公開先のチャネル(モバイル、タブレット、Web など)に合せてアップロードできます。

ノート:イメージ・レンディションはビジネス・リポジトリでは使用できません。

リポジトリにイメージを追加すると、イメージの大、中、小およびサムネイルのレンディションが Oracle Content Management によって自動的に生成されます。これらのレンディションを使用することも、ニーズに合った独自のレンディションを作成することもできます。

▲ ノート:

自動生成レンディションを作成するためにイメージのサイズが大きくなることはありません。小さくなるのみです。たとえば、100 ピクセル×100 ピクセルのイメージを追加する場合に、このサイズが定義済のサムネイルより小さいときは、すべての自動生成レンディションが 100 ピクセル×100 ピクセルになります。

イメージのレンディションの表示および管理を行うには、イメージを開いてしまをクリックし、ドロップダウン・メニューで「**レンディション」**を選択します。

- レンディションを表示するには、それを選択します。
- レンディションをダウンロードするには、それを選択して・・・をクリックし、「ダウンロード」を選択します。
- 元のイメージの新しいバージョンをアップロードするには、元のイメージを選択して
 ・・・をクリックし、「新規バージョンのアップロード」を選択します。
- 新しいレンディションを追加するには、「レンディションの追加」をクリックします。レンディションを追加するには、そのアセットが公開されていないことが必要です。レンディションを追加する場合、名前を編集して、そのレンディションの目的を示すことができます。
- 特定のレンディションの URL をコピーするには、そのアセットが公開されている必要が あります。レンディションを選択して・・・をクリックし、「URL のコピー」を選択して、



レンディションを新しいタブで開く場合は ドにコピーする場合は をクリックします。

アセットのステータスの変更

デジタル・アセットはすべて、「承認済」や「レビュー中」など、別のステータスに明 示的に変更されるまでドラフトとみなされます。

アセットのステータスの変更について知っておく必要があることを次に示します。

- アセットのステータスを変更できるのは、アセットを表示している場合のみです。
- アイテムのステータスを変更できるのは、マネージャまたはコレクションの所有者のみであることに注意してください。コレクションがあなたと共有されていても、マネージャ・ロールを持っていない場合、ステータスを変更することはできません。また、使用されているオブジェクトの公開の取消しや削除を行うこともできません。ステータスを変更する前に、それが使用されている Web サイトから削除する必要があります。
- デジタル・アセットの新しいバージョンをアップロードすると、自動的に「ドラフト」としてラベル付けされます。
- 何かを公開するには(アセット・リポジトリのみ)、アセットが管理されているチャネルに対して少なくともコントリビュータ・ロールを持っている必要があります。

アイテムのステータスは、そのアイコンによって示されます。

- 🔼 公開済(アセット・リポジトリのみ)
- • 承認済
- 🛛 却下済
- . **I** ドラフト
- A 翻訳済

アセットのステータスを変更するには:

- 1. 「アセット」ページで、アセットを右クリックまたは選択します。
- 右クリック・メニューまたは「ワークフロー」メニューから新しいステータスを選択します。

アイテムに翻訳済バージョンがある場合(アセット・リポジトリのみ)、アイテムを右ク リックまたは選択し、右クリック・メニューまたはアクション・バーの「言語」メニ ューの「言語の管理」を選択します。翻訳バージョンのステータスを変更できるのは、 それが承認されている場合のみです。アイテムが承認されていない場合、ステータス の変更はメニュー・オプションに表示されません。



アセット・ワークフロー(アセット・リポジトリのみ)

サービス管理者とコンテンツ管理者が追加のワークフロー・オプションを使用するように Oracle Content Management を構成している場合、アセット・ステータスの変更は、アセッ トがワークフローを移動するにつれて自動的に行われます。追加のワークフロー・オプショ ンを使用する方法の詳細は、ワークフローの使用を参照してください。

アセットのロックまたはロック解除

ユーザーがアセットを編集できないようにアセットをロックできます。たとえば、承認また は翻訳を待機している場合にこれを行うことが必要な場合があります。

アセットのロックについて必要な知識は次のとおりです。

- アセットを表示できる任意のユーザーがそれをロックできますが、ロックするには自分が ロックしたものであるか、リポジトリに対するマネージャ・ロールが必要です。
- 複数のアセットを同時にロックまたはロック解除できます。
- アセットに従属物がある場合は、アセットのみ、またはアセットとその従属物をロックできます。
- アセットに翻訳がある場合、「アセット」ページからそれをロックすると、言語ドロップ ダウン・リストで選択したバージョンのみロックされます。翻訳バージョンをロックする には、「言語」パネルから行います。

アセットをロックする手順:

- 1. 「アセット」ページで、アセットを右クリックまたは選択します。
- 右クリック・メニューまたはアクション・バーの「ロック」メニューから、「アセットの ロック」または「アセットと依存関係のロック」を選択します。

アセットの特定の翻訳バージョンをロックする手順:

- 1. アセットを右クリックするか選択します。
- 2. 右クリック・メニューまたはアクション・バーの「言語」メニューの「言語の管理」を選 択します。
- 3. ロックする言語を右クリックまたは選択します。
- 右クリック・メニューまたはアクション・バーの「ロック」メニューから、「アセットの ロック」または「アセットと依存関係のロック」を選択します。

アセットのロックを解除するには、かわりに「アセットのロック解除」または「アセットと 依存関係のロック解除」を選択します。

ワークフローの使用

ノート:ワークフローはビジネス・リポジトリでは使用できません。

最初にトピックを選択します。



- ワークフローの概要
- アセットでのワークフローの使用
- ワークフロー通知
- ワークフロー・タスクの表示

ワークフローの概要

サービス管理者が Oracle Content Management を Oracle Integration に統合し、コンテ ンツ管理者が Oracle Integration ワークフローを登録した場合、追加のワークフロー・ オプションを使用できる場合があります。次のダイアグラムの例では、ワークフロー に提出されたアセットは、却下されるか、詳細情報を必要として戻されるか、追加の 承認を必要として渡された後に承認されます。



コンテンツ管理者がワークフローを登録し、それをリポジトリに割り当て、ユーザー をメンバーとして追加してワークフロー・ロールに割り当てたら、アセットを操作す る際にそのワークフローを使用できます。

アセットでのワークフローの使用

- 1. 「アセット」ページで、ワークフローに提出するアセットを右クリックするか選択 します。
- - 提出(アセットに進行中の手動のワークフローがない場合に表示されます)―使用可能なワークフローのリストからワークフローを1つ選択し、「レビューに提出」をクリックするとワークフローが開始されます。一部のワークフローはデフォルトで選択されている場合があります(リポジトリ・マネージャによって構成済)。必須のワークフローの場合、これらを選択解除できません。アセットが作成時に自動的にワークフローに提出された場合、タブの下部に「すで

にレビュー中」 セクションが表示され、このセクションを展開してワークフローを表示します。

```
🖉 ノート:
```

Oracle Content Management またはサードパーティのクラウド・ストレージ・プロバイダから追加されたアセットは、現在、自動ワークフロー割当てをサポートしていません。

- 進行中(アセットに対してワークフローが開始されると提出タブと置き換わります)— ワークフローにおけるアセットの進捗状況を表したステップのリストが表示されま す。完了したステップから、ユーザーとアクションの実行日がわかります。あるステ ップを担当する場合、実行できるアクションは選択ボックスに表示されます。選択時 にはアクションの確認が必要で、オプションでコメントの追加が可能です。アクショ ンが終了すると、次のステップがある場合には、それがリストに追加されます。ワー クフローに完了したアクションが複数ある場合は、「監査証跡」というラベルが付い た展開可能な見出しの下にグループ化されます。
- 完了(常に表示されています)—アセットに完了したワークフローがある場合には、そのワークフローと、各ワークフローが完了した日付のリストが表示されます。完了したワークフローには、承認されたものと却下されたものの両方が含まれます。完了したワークフローのそれぞれを展開して、ワークフロー内のアクションの詳細なリストを参照できます。

いつでもワークフロー・ペインのアセットの「進行中」タブに戻り、ワークフローを移動す るアセットの現在のステータスを確認できます。アセットがすでにワークフローを移動済の 場合、「完了」タブをクリックすると、アセットが完了したワークフローの履歴を確認できま す。

ワークフロー通知

ユーザーが、ワークフロー・ステップに関連付けられたロールを割り当てられ、ワークフロ ー・タスクを完了する職責を担当している場合、使用可能なアクションへのリンクまたはワ ークフローをオンライン表示できるリンクを含む電子メール通知を受け取ります。ワークフ ローをオンライン表示すると、Oracle Content Management にアセットが開かれます。使用 可能なアクションは、ワークフローごとに異なっており、担当するステップの「**アクション」** メニューにリストされます。

ワークフロー・タスクの表示

自分が担当するすべてのワークフロー・タスクのリストを表示してアクションを実行するに は、「アセット」ページの●●●を使用します。

- 1. 「アセット」で、・・・をクリックし、「ワークフロー・タスク」を選択します。すべての リポジトリで注意が必要なすべてのタスクのリストが表示されます。
- アクションを実行します。使用可能なアクションは、ワークフローやユーザーのロールによって異なります。
 - 実行するタスクを選択し、バナー・メニューで実行するアクションをクリックします。
 - 実行するタスクを選択して、バナー・メニューで「プレビュー」をクリックし、ワークフロー・ペインが表示された状態でアセットを開いて、ワークフローの関連付けられているタスクの「アクション」メニューから実行するアクションを選択します。



/ ノート:

アクションが各タスクに共通の場合は、複数のタスクを選択し、選択し たすべてのタスクにアクションを実行できます。たとえば、複数のタス クが選択されている場合、取得は使用できませんが、選択したタスクに 使用されるワークフローのレビュー権限がある場合には、「承認」や「却 下」を使用できます。複数のタスクが選択されている場合は、個々のア セットのプレビューに関連するため、「プレビュー」は使用できません。

アセットの公開

アセットを公開して、サイトまたは他のチャネルで使用するためにこれらを使用でき るようにします。すぐにアセットを公開したり、後で公開するようにスケジュールで きます。

ノート:ビジネス・リポジトリでアセットを公開することはできません。

アセットを公開するには:

- 1. 「**アセット」**ページで、公開するアセットを右クリックするか選択します。
- 右クリック・メニューまたは「公開」メニューから「今すぐ公開」または「後で公開」を選択します。アセットを公開するようにすでにスケジュールされている場合、「今すぐ公開」オプションは表示されません。
- 3. 「後で公開」を選択した場合、公開カレンダで容易に見つけられるように公開ジョ ブの名前を入力し、公開する日時を選択します。
- 4. アセットをロックした場合は、「公開後、自動的にロックされたアセットをロック 解除」を選択すると、アセットのロックを自動的に解除できます。公開後にアセットのロックを解除したくない場合は、必ずこのオプションの選択を解除してください。
- 5. 必要に応じて、公開チャネルを選択します。アセットは、特定のチャネルに前もっ てターゲット指定できるため、そのチャネルを使用して簡単に公開したり、アセッ トに使用する代替チャネルを選択できます。 異なるチャネルを選択する必要がある場合、「選択済」をクリックし、1つ以上の チャネルを選択します。
- 6.「検証」をクリックします。 Oracle Content Management は、アセットをチャネルの承認およびローカリゼーション・ポリシーと比較します。検証結果には、選択したアセットのステータス、関連する翻訳、および依存アセットがリストされ、チャネルに対して設定されている承認およびローカリゼーション・ポリシーにアセットが準拠しているかどうかが表示されます。結果は、チャネルまたはステータスによりフィルタできます。

別のバージョンのアセットの公開がすでにスケジュールされている場合、前にスケ ジュールした公開より後の日付で公開をスケジュールする必要があります。そう しないと、エラーが発生します。

7. 公開からアセットを削除するには、アセットの横にある「X」をクリックします。



8. すべてのアセットに「準備完了」のステータスが表示されると、「公開」(すぐに公開する ことを選択した場合)または「スケジュール」(後で公開することを選択した場合)をクリッ クします。

アセットを後で公開するようにスケジュールした場合、アセットのバージョンは公開用に予約され、必要に応じて新しいバージョンで作業できるようになります。公開ジョブ・ページ で公開ジョブのカレンダを表示できます。

公開イベント・ログページですべての公開ジョブの履歴を表示できます。

公開のヒント

次に、アセットを公開する際の留意事項について示します。

- 一部のチャネルでは、アセットを公開する前に承認が必要です。
- コンテンツ・アイテムを公開する際に、それが翻訳済の場合、公開するバージョンは、翻 訳済として設定してから公開する必要があります。翻訳バージョンを選択して、「翻訳済 として設定」をクリックし、そのバージョンが承認されていることを示します。
- 公開するアセットを複数選択すると、アセットのターゲット対象となるすべてのチャネルが表示されます。たとえば、チャネルAに公開用にターゲット指定されている2つのアセットと、チャネルBにターゲット指定されている1つのアセットがある場合、「チャネル」リストには「チャネルA(2)」および「チャネルB(1)」と表示され、各チャネルにターゲット指定されているアセットの数が示されます。
- アセットは、それらの公開先であるチャネルのポリシーに対して検証されるまで、公開で きません。検証後に、ポリシーに準拠しているアセットと準拠していないアセットを示し た結果を確認できます。
- アセットが公開されると、新しいバージョンが作成され、小数点の左の番号が増加します。たとえば、バージョン 1.2 を公開すると、公開されたバージョンはバージョン 2 になります。
- 公開をスケジュールしている場合、スケジュール時間と公開時間の間に作成された新しい バージョンの番号は再番号付けされます。たとえば、バージョン 1.2 の公開をスケジュー ルし、バージョン 1.3 および 1.4 を作成した場合、公開したバージョンはバージョン 2 に なり、バージョン 1.3 はバージョン 2.1 になり、バージョン 1.4 はバージョン 2.2 になり ます。

デジタル・アセットまたはコンテンツ・アイテムを追加するには、「アセットおよびコンテン ツ・アイテムの操作」を参照してください

アセットの公開ジョブの管理

アセットの公開をスケジュールすると、*公開ジョブ*が作成されます。公開スケジュールを表示したり、保留中ジョブを編集または取り消すことができます。

ノート:ビジネス・リポジトリでアセットを公開することはできません。

公開スケジュールを表示するには、「アセット」ページで、バナー・メニューの・・・をクリックしてから、「公開ジョブ」を選択します。「公開ジョブ」ページに、すべての公開ジョブの カレンダおよびそのステータスが表示されます。



- ③ (保留中) 公開ジョブはまだ開始していません。
- 记 (進行中) 公開ジョブは進行中です。
- . ⊘ (完了) 公開ジョブは正常に完了しました。
- 🞯 (取消済) 公開ジョブは取り消されました。
- ▲ (失敗) 公開ジョブが失敗しました。ジョブが失敗した理由に関する失敗メッセージがバナーの上に表示されますが、ジョブをクリックして、これを表示することもできます。問題を修正して、ジョブを再スケジュールします。

次のタスクを実行できます:

タスク	説明
ジョブ詳細の表示	公開ジョブを表示するには、「開く」をクリッ クします。詳細には、スケジュール済公開日 付、ジョブの作成日時、作成者および検証の詳 細が含まれています。
保留中ジョブの編集	保留中の公開ジョブを編集するには、これをク リックし、「開く」をクリックしてから「ジョ ブの編集」をクリックします。ジョブ名を変更 したり、スケジュールを変更したり、追加アセ ットを追加したり、ジョブを管理できるユーザ ーを追加できます。ジョブからアセットを削 除するには、ジョブを取り消し、これを再作成 します。
	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
保留中ジョブの取消	ジョブを取り消すには、これをクリックし、 「ジ ョブの取消し」 をクリックします。
完了したジョブのコピー	完了したジョブをコピーするには、これをクリ ックし、 「開く」 をクリックしてから「 コピー」 をクリックします。



タスク	説明
カレンダに表示されたジョブのフィルタまた は検索	必要に応じて、 タ・ペインを表示します。ジョブ名または説明 を検索してから、結果をクリックしてカレンダ にジョブを表示します。ジョブ・ステータス別 にジョブをフィルタしたり、週末を非表示にし たり、スケジュールしたジョブのみを表示しま す。
カレンダ・ビューの変更	カレンダの右上にあるボタンを使用して、カレ ンダ・ビューを日、週または月に変更します。
特定の日付にジャンプ	フィルタ・ペインのカレンダの日をクリックし て、特定の日付にジャンプします。

公開イベント・ログページですべての公開ジョブの履歴を表示できます。

アセットの公開イベント・ログの表示

過去のすべてのアセット公開ジョブの履歴と詳細を表示できます。

✓ ノート: ビジネス・リポジトリには公開済アセットがありません。

公開イベント・ログを表示するには、「アセット」ページで、バナー・メニューの・・・をクリックし、「イベント・ログの公開中」を選択します。

ジョブ・タイプでリストをフィルタするには、最初のドロップダウン・リストでオプション を選択します。すべて、完了、失敗、今すぐ公開、または後で公開のジョブを表示できます。

デフォルトでは、1ページに表示されるジョブの数は 50 です。これを変更するには、2 番目のドロップダウン・リストで新しい値を選択します。

次の情報は、公開ジョブごとに使用可能です:



タスク	説明
名前	公開ジョブの名前。スケジュールされていな いジョブには、"Publishing Job"という名前の 後にジョブの日付が付けられます。 名前の前には、ジョブのタイプを表すアイコン が表示されます:
	・
	・
	・ 「レンディション」(公開 HTML)ジョブ
ステータス	• <a>Cull Cull Cull Cull Cull Cull Cull Cull </br></br></br></br>
	・ 🕓 (失敗) - 公開ジョブが失敗しました。
公開	公開ジョブの日時。
 公開者	公開ジョブを開始したユーザー。
公開ログ	▲ をクリックして、公開ジョブの JSON ログ をダウンロードします。
レンディション・ログ	▲ をクリックして、公開ジョブによって作成 されたレンディション(公開された HTML)の JSON ログをダウンロードします。

ジョブに関する詳細情報を表示するには、これを選択してから、しまをクリックします。「プロパティ」ペインには、ジョブの説明や公開チャネルなどの情報が表示されます。

Adobe Creative Cloud 拡張機能の使用

Photoshop、InDesign、After Effects などの Adobe Creative Cloud アプリケーションで Oracle Content Management に格納されているアセットを使用できます。

Adobe Creative Cloud アプリケーション(Photoshop、Illustrator、InDesign、Premier Pro、After Effects、Animate および Audition) 2018 以上で、デスクトップ・アプリケー ションの一部として拡張機能を使用できます。

▲ ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、Adobe Creative Cloud の拡張機能はサポートされません。完全な機能セットを利用 するには、Premium Edition にアップグレードします。



使用している Adobe アプリケーションに応じて、異なるメニューを通じて拡張機能にアクセスし、様々な機能を使用できます。次に、一部の機能について説明した後、各アプリケーションで使用可能な機能を示す表を示します。

- **アセットのリンク** アセットを現在のプロジェクトにリンクします。
- **アセットの埋込み** アセットを現在のプロジェクトにコピーします。
- **アセットの編集** Oracle Content Management パネルから、アセットをアプリケーション・キャンバス、エディタまたはファイル・リストにドラッグします。
- **アセットのアップロード** アセットを Windows エクスプローラ、Mac Finder またはア プリケーション・パネルから Oracle Content Management パネルにドラッグします。
- **ワークフローの使用** ワークフローの確認、開始および対応を行います。
- Video Plus の使用
 - 標準ビデオ・アセットを Video Plus アセットに変換します。
 - Video Plus フィルム・スリップを再生するには、サムネイルにカーソルを合せます。
 - 拡張機能で完全なビデオを表示するには、アセットを右クリックし、ビデオ・プレー
 ヤを選択します。

💉 ノート:

現在のバージョンのアセットのみ編集できます。Video Plus アセットの編集が 終了したら、新しいアセット、または元のアセットのリビジョンとして保存で きます。ビデオの一部を抜き出して、これを別のビデオ用に後で使用する場合、 抜き出したビデオを新規アセットとして保存すると、元のアセットを追加のビ デオ用に使用できます。

アプリケー ション	アセットの リンク	アセットの 埋込み	アセットの 編集	アセットの アップロー ド	ワークフロ ーの使用	Video Plus の使用
Photoshop	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	はい	いいえ
Illustrator	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	はい	いいえ
InDesign	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	イメージ・ア セット	はい	いいえ
Premiere Pro	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	いいえ	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	はい	はい
After Effects	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	いいえ	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	はい	はい
Animate	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	いいえ	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	イメージ、ビ デオおよびオ ーディオ・ア セット	はい	いいえ



アプリケー ション	アセットの リンク	アセットの 埋込み	アセットの 編集	アセットの アップロー ド	ワークフロ ーの使用	Video Plus の使用
Audition	いいえ	ビデオおよび オーディオ・ アセット	ビデオおよび オーディオ・ アセット	ビデオおよび オーディオ・ アセット	いいえ	いいえ

最初にトピックを選択します。

- 拡張機能のインストール
- 拡張機能のカスタマイズ
- 拡張機能の使用
- 拡張機能でのワークフローの使用
- 拡張機能のトラブルシューティング

拡張機能のインストール

拡張機能をインストールする手順:

- デスクトップ・アプリケーションをインストールし、少なくとも1つの Oracle Content Management アカウントを構成します。
- Adobe アプリケーションで、「拡張機能」メニューを開きます。これは、「ウィンドウ」などの別のメニューからアクセスできるサブメニューです。メニューの場所は、使用しているアプリケーションごとに変化します。
- 3. 拡張リストで Oracle Content Management を選択します。
- アカウント名とパスワードでサインインします。複数のアカウントを持っている 場合、使用するものを選択します。

N-F:

リポジトリが見つからないというメッセージが表示された場合、リポジ トリがまだ構成されていないか、サインインに使用したアカウント名で リポジトリが共有されていないことを意味します。

拡張機能のカスタマイズ

アセットのフィルタ方法や他の使用状況詳細を変更できます。 **し**をクリックして、 「プリファレンス」を選択します。



次のタスクを実行できます:

- **使用しているアカウントの変更―「アカウント」**を選択し、リストから別のアカウントを 選択します。
- アカウントの追加—「アカウント」を選択し、
 レRLを入力します。「保存」をクリックする際は、ユーザー名とパスワードを入力してアカウントを検証する必要があります。
- アカウントの削除—「アカウント」を選択し、削除するアカウントを選択し、
 ックします。ロックされているアカウントは、デスクトップ・クライアントを使用して追加されており、デスクトップ・クライアントを使用して削除する必要があります。
- アセットに対する変更の処理方法の指定—アセットの変更を自動的にアップロードする か、それを手動で処理できます。たとえば、現在のプロジェクトにリンクされたアセット があり、そのアセットに部分的な変更を追加した場合、アセットは保存時にプロジェクト で自動的に更新されます。

拡張機能の使用

拡張機能を使用する前に、必要なアセットが格納されているリポジトリにアクセスできることを確認します。ユーザーがリポジトリでアセットを使用するには、リポジトリ・マネージャとそのリポジトリを共有している必要があります。

拡張機能を開いてサインインする手順:

- Adobe アプリケーションで、「拡張機能」メニューを開きます。これは、「ウィンドウ」 などの別のメニューからアクセスできるサブメニューです。メニューの場所は、使用して いるアプリケーションごとに変化します。
- 2. 拡張リストで Oracle Content Management を選択します。
- 3. アカウント名とパスワードでサインインします。複数のアカウントを持っている場合、使 用するものを選択します。

🖍 ノート:

リポジトリが見つからないというメッセージが表示された場合、リポジトリが まだ構成されていないか、サインインに使用したアカウント名でリポジトリが 共有されていないことを意味します。

拡張機能の様々な領域で様々な操作を実行できます。最初にトピックを選択します。

- 一般的なタスク
- アセット・ビュー
- 「ドキュメント」ビュー
- リンク・ビュー
- レンディション

一般的なタスク

拡張機能では、次のタスクを実行できます。



タスク	説明
ビューの選択	 「アセット」ビュー - 「アセット」ビューでは、アセットを参照または検索し、Adobe Creative Cloud アプリケーションに配置できます。 「ドキュメント」ビュー - 「ドキュメント」ビューでは、Oracle Content Management のファイルとフォルダを表示および管理できます。 「リンク」ビュー - 「リンク」ビューでは、現在のプロジェクトにすでにリンクされているアセット・リストを表示できます。
	✓ ノート: 「リンク」ビューは、Audition では使用できません。
アイテム・タイプでフィル タ(ドキュメント・ビューの み)	をクリックしてから、アイテム・タイプ・メニューで、表示するアイテムのタイプ(すべて、自分に関連、共有またはお気に入り)を選択します。
アイテム・リストのソート	をクリックしてから、ソート・メニューで、関連性、名前ま たは最終更新によってソートします。
アイテム・リスト表示方法 の変更	をクリックしてから、ビュー・メニューで、表ビューまたは グリッド・ビューを選択します。

アセット・ビュー

「アセット」ビューで追加のタスクを実行できます。

タスク	説明
リポジトリの選択	ドロップダウン・リストから、リポジトリを選択します。特定の リポジトリを検索するには、検索フィールドを使用します。
アセットのフィルタ	 フィルタするには、 アセットをコレクション、公開チャネル、アセット・タイプ、 アセット・ステータスおよびロック・ステータスでフィルタ します。リポジトリに関連付けられているタクソノミがある 場合、アセットが最後の公開以降に再分類されているかどう かによってもフィルタできます。 リポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、「カテゴ リ」タブが表示されます。このタブをクリックして、カテゴ リで検索およびフィルタします。デフォルトでは、「すべての 子を含める」が有効であるため、フィルタ結果には、選択し たカテゴリおよびサブカテゴリのイメージがすべて表示され ます。このオプションを選択解除して、選択したカテゴリ内 のそれらのイメージのみにリストを制限します。 アセット・ビューにフィルタ・オプションを固定するには、



タスク	説明
アセットの検索	 検索するには、 をクリックします。 リポジトリでスマート・コンテンツが有効になっている場合、 Oracle Content Management により、イメージに自動的に 適用されたタグも検索されます。検索語を追加すると、検索 ボックスの下に推奨キーワードが表示されます。キーワード をクリックして検索に追加します。これにより、両方の語で タグ付けされたイメージが結果リストの最上位近くに来るよ うになり、追加したキーワードでタグ付けされた追加イメージが表示されます。 別のイメージに似たイメージを検索するには、イメージを右 クリックし、視覚的類似の検索をクリックします。 別のアセットに類似するカテゴリに分類されているアセット を検索するには、類似カテゴリの検索をクリックします。 アセット・ビューに検索基準を固定するには、 をクリック します。
アセットを現在のプロジェ クトにリンクします	アセットを右クリックしてから、 アセットのリンク を選択します。 このオプションは、Audition において、または別のユーザーによ ってロックされている場合使用できません。 アセットをドラッグ・アンド・ドロップするか、「アセット」ビュ ーの一番下にある適切なアイコンをクリックして、アセットをリ ンクすることもできます。
現在のプロジェクトへのア セットの埋込み	アセットを右クリックしてから、 アセットの埋込み を選択します。 これにより、アセットが現在のプロジェクトにコピーされます。 このオプションは、Premiere Pro、After Effects または Animate では使用できません。 アセットをドラッグ・アンド・ドロップするか、「アセット」ビュ ーの一番下にある適切なアイコンをクリックして、アセットを埋 め込むこともできます。
レビューでのアセットの移 動	アセットにレビューが必要な場合、 レビューに提出 をクリックし ます。すでに提出済の場合、リポジトリ管理者であればアセット を 「承認」 または 「却下」 できます。
アセットのロックまたはロ ック解除	他のユーザーがアセットを編集したり、新規バージョンを追加し たりできないようにするためにアセットをロックできます。アセ ットを右クリックし アセットのロック を選択するか、以前にアセ ットをロックしている場合、 アセットのロック解除 を選択します。

タスク	説明
アセットの新規バージョン をアップロードします	アセットを右クリックし、 選択したレイヤーからバージョンをア ップロード または 選択したイメージからバージョンをアップロー ドを選択します。アセットが別のユーザーによってロックされて いる場合、このオプションは使用できません。 -
	✓ ノート:
	新規アセットをアップロードする場 合、そのアセットは表示しているリ ポジトリにアップロードされます。 いずれかのカテゴリ、コレクション またはチャネルを選択した場合、そ れらはアセットに自動的に適用され ます。デフォルトでは、即時利用可 能なデジタル・アセット・タイプ(フ ァイル、イメージまたはビデオ)がア セットに適用されます。ただし、す べてのメディア・オプション(たとえ ば、「すべてのイメージ」)を選択した のでない場合は、最初に選択したア セット・タイプがアセットに適用さ れます。
アセットの削除	-
アセットを Web で表示	アセットを右クリックし、 Web で開く を選択します。これにより、アセットがブラウザに開きます。
プロパティを表示します	ファイル・サイズやアセットを公開できるかどうかなどのアセッ ト・プロパティを表示するには、アセットを右クリックするか、
	アイテムを開き、 をクリックしてから、 「プロパティ」 を選択します。
レンディションの表示	アセットに関連付けられているすべてのシステムおよびカスタ ム・ レンディション を表示するには、アセットを右クリックする
	か、アセットを開いて <mark></mark> をクリックし、 レンディション を選択 します。
コレクションの表示	アセットが属するコレクションを表示するには、アセットを開き、
チャネルの表示	アセットを公開チャネルにターゲット指定するには、アセットを
	開き、 🚩 をクリックしてから 「チャネル」 を選択します。
カテゴリの表示	表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場
	合、アセットを開いて をクリックし、「カテゴリ」を選択する ことで、アセットにカテゴリを割り当てることができます。カテ ゴリは、ビジネス構造にマップされた階層組織であり、ユーザー は、それにドリルダウンして必要なものを見つけることができま す。
タグの表示	アセットにタグを割り当てるには、アセットを開いて ^{IMM} をクリ ックし、 「タグ」 を選択します。



タスク	説明
ワークフローの表示	表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場 合、拡張機能でワークフローを <u>表示</u> できます。ワークフローを表
	示するには、アセットを開いて をクリックし、 「ワークフロ ー」を選択します。
ビデオの表示	ビデオ・アセットを表示する場合は、アセットを開いて ^{IMM} をク リックし、 プレーヤ を選択します。

「ドキュメント」ビュー

「ドキュメント」ビューでは、Oracle Content Management のファイルとフォルダを表示およ び管理できます。

「ドキュメント」ビューで追加のタスクを実行できます:

タスク	
フォルダの作成	フォルダを作成するには、 し をクリックし、名前を入力し、オプショ ンで説明を入力してから、 「保存」 をクリックします。
ブレッドクラムでのファルダ への移動	「ドキュメント」ビューの上部に、ブレッドクラム(フォルダ・パス)が 表示されます。パス内のフォルダをクリックして、そのフォルダに移動 します。
ファイルまたはフォルダの検 索	ファイルまたはフォルダを検索するには、 [ENTER] を押します。 デフォルトでは、表示中のフォルダを検索します。すべてのフォルダを 検索するには、 デクリックし、 「現在のフォルダ」 基準を削除しま
	9。 検索結果を右クリックして、ファイルまたはフォルダに対してアクショ ンを実行します。他のアクションに加えて、アイテムの含まれるフォル ダを開くことができます。
現在のプロジェクトへのファ イルのリンク (ファイルのみ)	ファイルを右クリックしてから、 「アイテムのリンク」 を選択します。 ファイルが別のユーザーによってロックされている 場合、このオプショ ンは使用できません。
現在のプロジェクトでのファ イルの埋込み (ファイルのみ)	ファイルを右クリックしてから、 「アイテムの埋込み」 を選択します。 これにより、ファイルが現在のプロジェクトにコピーされます。
ファイルのロックまたはロッ ク解除 (ファイルのみ)	他のユーザーがファイルを編集したり、新規バージョンを追加したりで きないようにするためにファイルをロックできます。ファイルを右ク リックしてから「アイテムのロック」を選択するか、以前にファイルを ロックしている場合は「ファイルのロック解除」を選択します。
ファイルまたはフォルダの名 前を変更できます	ファイルまたはフォルダを右クリックしてから、 「アイテム名の変更」 を選択します。
お気に入りへのファイルまた はフォルダの追加	ファイルまたはフォルダを右クリックしてから 「お気に入りに追加」 を 選択するか、以前にアイテムをお気に入りに追加している場合は 「お気 に入りから削除」 を選択します。
ファイルの新しいバージョン のアップロード (ファイルの み)	ファイルを右クリックしてから、「選択したレイヤーからバージョンを アップロード」または「選択したイメージからバージョンをアップロー ド」を選択します。ファイルが別のユーザーによってロックされている 場合、このオプションは使用できません。



タスク	説明
アセット・リポジトリへのフ ァイルの追加(ファイルのみ)	ファイルをアセット・リポジトリに保存できます。ファイルを右クリッ クし、「アセットへのアイテムの追加」を選択し、宛先リポジトリを選 択し、ファイルに適用するアセット・タイプを選択して、「保存」をク リックします。
 ファイルまたはフォルダを削 除します	ファイルまたはフォルダを右クリックしてから、 「アイテムの削除」 を 選択します。
Web でのファイルまたはフ ォルダの表示	ファイルまたはフォルダを右クリックしてから、 「Web で開く」 を選択 すると、ブラウザでファイルまたはフォルダが開きます。
プロパティを表示します	ファイル・サイズや所有者などのアイテム・プロパティを表示するに は、アイテムを右クリックしてから、 「プロパティ」 を選択します。
タグの表示	タグをアイテムに <u>割り</u> 当てるには、アイテムを右クリックし、 「プロパ
	ティ」 を選択し、 と をクリックしてから 「タグ」 を選択します。

リンク・ビュー

🖍 ノート: 「リンク」ビューは、Audition では使用できません。

「リンク」ビューについて知っておくべきポイントをいくつか示します。

- プロジェクトにすでにリンクされているアセットが表示されます。
- アセットに部分的な変更が発生すると、バージョン番号の最後にアスタリスクが追加されます。
- リポジトリで新しいバージョンが使用可能になると、バージョン番号の後にメモが 作成されます。

「リンク」ビューで追加のタスクを実行できます。

タスク	説明
アセットのダウンロード	アセットを右クリックし、 最新バージョンのダウンロード を選択 してアセットをコンピュータにダウンロードします。
アセットの新規バージョン をアップロードします	アセットを右クリックしてから、 新規バージョンのアップロード を選択します。アセットが別のユーザーによってロックされてい る場合、このオプションは使用できません。
プロパティを表示します	ファイル・サイズやアセットを公開できるかどうかなどのアセッ ト・プロパティを表示するには、アセットを右クリックするか、
	アイテムを開き、 Market アイテムを開き、 Market アイテムを開き、 Market アクリックしてから、 「プロパティ」 を選択 します。
レンディションの表示	アセットに関連付けられているすべてのシステムおよびカスタ ム・ レンディション を <u>表示</u> するには、アセットを右クリックする
	か、アセットを開いて <mark></mark> をクリックし、 レンディション を選択 します。
コレクションの表示	<u>アセ</u> ットが属するコレクションを表示するには、アセットを開き、
	──をクリックしてから 「コレクション」 を選択します。



タスク	説明
チャネルの表示	アセッ <u>トを</u> 公開チャネルにターゲット指定するには、アセットを
	開き、 ととなり いうしてから 「チャネル」 を選択します。
カテゴリの表示	表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場
	合、アセットを開いて をクリックし、「 カテゴリ」 を選択する ことで、アセットにカテゴリを割り当てることができます。カテ ゴリは、ビジネス構造にマップされた階層組織であり、ユーザー は、それにドリルダウンして必要なものを見つけることができま す。
タグの表示	アセットにタグを割り当てるには、アセットを開いて ^{IMM} をクリ ックし、 「タグ」 を選択します。
ワークフローの表示	表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場 合、拡張機能でワークフローを表示できます。ワークフローを表
	示するには、アセットを開いて ^{■■} をクリックし、 「ワークフロ ー」を選択します。
ビデオの表示	ビデオ・アセットを表示する場合は、アセットを開いて をク リックし、 プレーヤ を選択します。

レンディション

アセットに関連付けられているすべてのシステムおよびカスタム ・レンディションを表示す るには、アセットを右クリックするか、 をクリックして**レンディション**を選択します。

アセットにいくつかのバージョンがある場合、バージョン番号の横にあるドロップダウン・ メニューを使用して、最新のバージョンと以前のバージョンを切り替えることができます。 ドロップダウンから前のバージョンを選択して、そのバージョンのレンディションを表示し ます。選択されたバージョンの作成者や変更日付の情報が、アセット・タイトルの下に表示 されます。以前のバージョンは、まず、「このバージョンを現行に設定」をクリックして現行 にしないと編集できません。公開されたアセットは、「新規バージョンとして保存」を選択し ないと編集できません。

システム・レンディションの場合、レンディションを右クリックし、次のアクションを実行 します。

- レンディションをコピーして、レンディションのカスタマイズ・バージョンを作成します。
- レンディションを現在のプロジェクトにリンクします。

カスタム・レンディションの場合、レンディションを右クリックし、次のアクションを実行 します。

- レンディションを現在のプロジェクトにリンクまたは埋め込みます。
- レンディションを、選択したレイヤーと置き換えます。
- レンディションを、選択したイメージと置き換えます。
- レンディションを削除します。



✓ ノート: アセットが別のユーザーによってロックされている場合、一部のオプション を使用できません。

拡張機能でのワークフローの使用

表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場合、拡張機能でワー クフローを表示できます。ワークフロー・パネルを開くには、アセットを右クリック するか をクリックし、「**ワークフロー」**を選択します。ワークフロー・パネルには、 考えられるワークフローの状態を表すタブがあります:

- 提出(アセットに進行中のワークフローがない場合に表示されます)—選択ボック スにある使用可能なワークフローのリストからワークフローを1つ選択し、「レビ ューに提出」をクリックするとワークフローが開始されます。
- 進行中(アセットに対してワークフローが開始されると提出タブと置き換わります)—ワークフローにおけるアセットの進捗状況を表したステップのリストが表示されます。完了したステップから、ユーザーとアクションの実行日がわかります。あるステップを担当する場合、実行できるアクションは選択ボックスに表示されます。選択時にはアクションの確認が必要で、オプションでコメントの追加が可能です。アクションが終了すると、次のステップがある場合には、それがリストに追加されます。ワークフローに完了したアクションが複数ある場合は、「監査証跡」というラベルが付いた展開可能な見出しの下にグループ化されます。
- 完了(常に表示されています)―アセットに完了したワークフローがある場合には、 そのワークフローと、各ワークフローが完了した日付のリストが表示されます。完 了したワークフローには、承認されたものと却下されたものの両方が含まれます。 完了したワークフローのそれぞれを展開して、ワークフロー内のアクションの詳細 なリストを参照できます。

拡張機能のトラブルシューティング

プラグインの問題を報告する必要がある場合、ログ・ファイルを圧縮してサポートに 送信できます。 をクリックし、「トラブルシューティング」を選択します。ログ の.zip ファイルを保存するように要求されます。

サードパーティ・クラウド・ストレージ・プロバ イダへのアクセス権の取消し

管理者が他のサードパーティ・クラウド・ストレージ・プロバイダを統合しており、 プロバイダからのアセットを追加するためにアカウントにサインインした場合、プロ バイダへのアクセス権を取り消すことが必要になることがあります。

サードパーティ・クラウド・ストレージ・プロバイダへのアクセス権を取り消す手順:

- 1. 「アセット」ページで、「追加」をクリックして「ソースの管理」を選択します。
- 保存したすべてのソース・アクセスのリストで、切断するプロバイダの横の「取 消」をクリックします。



10 構造化コンテンツ(コンテンツ・アイテム)の使 用

構造化コンテンツには、コンテンツ・タイプとコンテンツ・アイテムが含まれます。コンテ ンツ・アイテムは、複数の言語に対応する複数のバージョンに翻訳できます。

/ ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、アセットのサポートは制限されます:

- **5,000** アセットのみ無料
- 5カスタム・アセット・タイプのみ
- 翻訳ジョブはサポートされません
- スマート・オーサリングはサポートされません

アセットの数を増やし、完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

- 構造化コンテンツの理解
- 「アセット」ページについて
- コンテンツ・アイテムの作成
- コンテンツ・アイテムの表示および管理
- アセットの検索、フィルタおよびソート
- スマート・コンテンツ
- アセットのタグ付け
- アセット・カテゴリの割当て
- コンテンツ・アイテムのバージョンの比較
- コンテンツ・アイテムの使用
- コンテンツ・アイテムのローカライズ(アセット・リポジトリのみ)
- 言語アセットの操作(アセット・リポジトリのみ)
- コンテンツ・アイテムのレビューと言語の追加(アセット・リポジトリのみ)
- コンテンツ・アイテムのローカライズ(アセット・リポジトリのみ)
- アセット翻訳ジョブの管理(アセット・リポジトリのみ)
- アセットのステータスの変更



- アセットの公開(アセット・リポジトリのみ)
- コンテンツ・アイテムをサイトに追加するには、アセットおよびコンテンツ・アイ テムの操作(アセット・リポジトリのみ)に関する項を参照してください。

✓ ノート:

ビジネス・リポジトリでアセットを公開または翻訳することはできません。

構造化コンテンツの理解

構造化コンテンツは、ファイルやレイアウトとは別に存在するコンテンツを表すため に使用される用語です。

構造化コンテンツの概要

コンテンツ・タイプは、Webサイトまたは他のプロジェクトで使用できる情報のフレ ームワークです。コンテンツ・タイプには、そのコンテンツ・タイプを使用して入力 された情報を様々な方法でフォーマットできるように、様々なレイアウトを関連付け ることができます。コンテンツ・タイプは、情報が入力および保存されるフォームの ようなものと考えることができます。その情報を後で様々なレイアウトやフォーマッ トで使用できます。コンテンツ・タイプを作成できるのは、コンテンツ管理者の権限 がある場合のみです。

コンテンツ・タイプは、コンテンツ管理者ロールを持つユーザーが作成します。作成 後はリポジトリと関連付ける必要があります。少なくともリポジトリに対するコント リビュータ・ロールを持つエンタープライズ・ユーザーは、コンテンツ・タイプを使 用して新規のコンテンツ・アイテムを作成できるようになります。ロールと職責の詳 細は、「ユーザー・ロールについて学習」を参照してください。

コンテンツ・タイプには、テキスト、日付、イメージ、または様々な数値フィールド が必要な場合があります。それはすべて、必要とされるものによって決まります。コ ンテンツ・タイプには複数の異なるレイアウトが関連付けられていることがあるため、 アイテムが必要な場所に応じて、大きいピクチャと小さいフォントで表示されること もあれば、小さいピクチャとそれを囲むテキストで表示されることもあります。ロケ ーションおよび連絡先情報がある場所では省略され、別の場所では挿入されることも あります。コンテンツ自体は変わらなくても、入力した実際のコンテンツに影響を及 ぼすことなく、レイアウトを変更できます。

たとえば、「従業員情報」というコンテンツ・タイプがあるとします。それには、役職、地理ロケーション、簡単な履歴およびピクチャのフィールドが含まれているとします。そのコンテンツ・タイプを使用して*コンテンツ・アイテム*を作成する際には、 コンテンツ・アイテムが管理されるコレクションを選択します。その後、役職、ロケ ーション、自分自身に関する情報など、具体的な情報を入力し、そのコンテンツ・ア イテムで使用するピクチャをデジタル・アセット・コレクションから選択します。





そのコンテンツ・アイテムは、*コレクション*の一部になります。コレクションには写真、ビ デオまたはドキュメントが含まれている場合があり、それらはすべて、Web サイトやパンフ レットなど、それが必要な場所があればどこでも使用できます。コレクションを使用すると、 1つのプロジェクトに必要なすべてのものを 1箇所で管理できます。

構造化コンテンツの使用

組織内のロールによっては、使用する構造化コンテンツを実際に配置しない場合もあります。 ただ単にコンテンツ・アイテムを作成したり必要なデジタル・アセットを追加する場合があ ります。ロールおよび権限の詳細は、「ユーザー・ロールについて学習」を参照してくださ い。

構造化コンテンツとデジタル・アセットを作成および使用する方法の大まかな概要を次に示 します。一部の組織では、ステップが行われる順序が前後する場合があります。

 Web サイトとコンテンツ・タイプ用のテンプレートとレイアウトが設計およびデプロイ されます。これは通常、コンテンツ管理者またはサイト管理者の権限を持つ IT 設計者に よって処理されます。多くの場合、これらのロールは1人の人物に付与されますが、組織 によっては、複数の異なる人物がこれらのロールを受け持つこともあります。



- Web サイト要素を管理するためにコレクション(1)が作成されます。Web サイト が作成されると、コレクションが自動的に作成され、サイトのすべてのコンテンツ を管理しやすくなります。または、ユーザーがデジタル・アセットを管理するため に独立したコレクションを作成することもできます。
- コンテンツ管理者ロールを持つ人物がコンテンツ・タイプ(2)を設計します。
- コンテンツ管理者はコレクションを共有し、コンテンツ・タイプをリポジトリを関連付ける必要があります。これにより、少なくともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールを持つユーザーは、アセットをアップロードし、コンテンツ・アイテム(3)を作成できるようになります。
- コントリビュータが、コンテンツ・アイテムを追加し、Web サイトまたはプロジェクト用のデジタル・アセット(4)をアップロードします。コンテンツ・アイテムが作成されたら、コレクションに割り当てられ、コレクションのポリシーを使用して管理できるようになります。
- 1つのコンテンツ・タイプに複数の異なるコンテンツ・レイアウト(5)を関連付ける ことにより、コンテンツを異なる方法で表示できるようになります。
- IT 設計者またはサイト管理者がデジタル・アセットまたはコンテンツ・アイテム を Web サイトまたはプロジェクトに追加します。このアイテムは Web サイト上 で、サイト上で使用可能なコンテンツの一部として表示されます。

1	Collection		
	Content Item	3	
	Name		
	Deepa Patik		
	Description (Optional	l)	
	Patik personnel info	ormation	
	job title*	17 of 2000 characters	
2 Content Type	Marketing Analyst		Digital Asset
A job title	profile picture		
profile picture	Deepa	a.jpg Change	
	your picture		
A location	location*	14 of 2000 characters	
	Redwood Shores		
A phone	your location		
	phone	12 of 2000 characters	
	415-555-5555		
		/	
ſ	Content Layout 5	Content Layout	1
	Contact	Directory Listing	
	Name Job Title	Job Title	
	Location Phone	profile picture	
	+	¥	
OR	ACLE	Site Pag Employee of th	ge ne Month
Dee Mark	eting Analyst	Deep	ba Patik ting Analyst
Redv (415	wood Shores 5) 555-5555	Descrip	tion of employee's for the month.

コンテンツ・アイテムの作成

コンテンツ・アイテムは、コンテンツ・タイプをフォームまたはテンプレートとして 使用して作成されます。

コンテンツ・アイテムを作成するには:

- 1. ブラウザのナビゲーション・パネルで、「**アセット」**をクリックします。
- 「作成」をクリックし、「新規コンテンツ・アイテムを作成します」を選択します。 コンテンツ・アイテムを以前に作成した場合は、最後に使用した5タイプが表示されます。そうでない場合は、使用されているコンテンツ・タイプを表示されている 中から選択します。

🖉 ノート:

表示されると思われるコンテンツ・タイプが表示されない場合は、コン テンツ管理者に連絡してください。

- 3. コンテンツ・アイテムの名前と説明(オプション)を入力します。
- 4. リポジトリでわかりやすい URL が許可されている場合(アセット・リポジトリのみ)、URL のわかりやすいアイテム名を入力します。
- 5. アイテムの翻訳に使用する言語を選択します(アセット・リポジトリのみ)。使用可 能な言語は、コンテンツ・アイテムが管理されるリポジトリによって設定されま す。アイテムを翻訳不能に設定することもできます。
- 6. リポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、右パネルに「カテゴリ」が表示されます。このコンテンツ・アイテムにカテゴリを割り当てるには、カテゴリの追加をクリックします。 スマート・コンテンツがリポジトリで有効化されている場合、アセット内のコンテンツに基づくカテゴリの提案が表示されます。コンテンツを変更した後、提案をリフレッシュできます。提案を選択して「追加」をクリックするか、提案されたカテゴリをすべて追加するには「すべて追加」をクリックします。
- オプションで、右側のパネルで「タグとコレクション」を選択して目的のコレクションを特定することにより、アイテムに関連付けられたコレクションを選択します。
- 右側のパネルで「チャネル」を選択して(アセット・リポジトリのみ)、このアイテムを使用するチャネルを表示または選択します。使用可能なチャネルは、コンテンツ・アイテムが管理されるリポジトリで定義されています。「追加」をクリックして、チャネルを選択してから、「追加」をクリックします。
- 必要なコンテンツ・アイテム・フィールドに情報を入力します。フィールドがグル ープ化され、特定のグループがデフォルトで縮小されている場合があります。縮小 されているグループを展開すると、追加のフィールドが表示されます。



🔊 ノート:

コンテンツ・タイプでは、一部のデータ・フィールドがマスター・アイテムか らコンテンツを継承するように設定されることを指定できます。マスター・ア イテムを作成する場合は、これらのフィールドに適切なコンテンツを移入する 必要があります。マスター・アイテムが移入されると、マスター・アイテムか ら継承するように指定されているフィールドは、言語が追加されたときに移入 されます。

- メディアが必須の場合、アセット・リポジトリで既存のメディア・アイテムを選択する か、コンテンツ・コネクタとして構成されていれば、Oracle Content Management ドキュ メント、ローカル・コンピュータまたは Google Drive などの外部ソースから新規メディ ア・アイテムを追加します。
 - アセット・リポジトリからメディアを選択するには、「選択」をクリックします。すべてのデジタル・アセットが表示されます。
 リポジトリでスマート・コンテンツが有効になっている場合、コンテンツ・アイテムの名前、説明およびテキスト・フィールドに基づいて、ユーザーへの推奨アセットが表示されます。「ユーザーへのレコメンデーション」をクリックします。上位5つの推奨キーワードが検索に追加され、追加の推奨キーワードが検索ボックスの下に表示されます。別の推奨キーワードを追加するには、それをクリックします。別のキーワードを手動で入力することもできます。キーワードを削除するには、キーワードの横の「X」をクリックします。

コンテンツ・アイテムで使用するアセットを選択し、「OK」をクリックします。アセットがコレクションにまだない場合は、コンテンツ・アイテムを保存した後でコレクションに追加されます。

- b. メディアを追加するには、「追加」をクリックして、ドキュメント、コンピュータまたは構成済コンテンツ・コネクタから選択して追加します。アイテムに移動して追加し、「OK」をクリックします。アイテムを割り当てるカテゴリ、コレクション、チャネルを選択して関連するタグを追加してから、「完了」をクリックしてアイテムをリポジトリに追加します。
- **11.** 参照フィールドが使用可能な場合、アセット・リポジトリで既存のコンテンツ・アイテム を選択するか、参照フィールドから直接新規コンテンツ・アイテムを作成します。
 - a. 既存のコンテンツ・アイテムを選択するには、「選択」をクリックして目的のコンテンツ・アイテムに移動します。
 - b. 参照フィールドから新規コンテンツ・アイテムを作成するには、「作成」をクリック してコンテンツ・アイテムのタイプを選択して作成するか、リストから「新規コンテ ンツ・アイテムを作成します」を選択してから手順に従ってコンテンツ・アイテムを 作成します。

作成したコンテンツに問題がなければ、「**保存」**、「閉じる」の順にクリックして「コンテン ツ・アイテムの作成」画面を閉じます。

コンテンツ・アイテムを作成したら、コンテンツ・アイテムにタグを追加したり、コンテン ツ・アイテムを翻訳することができます。コンテンツ・アイテムの表示および管理またはコ ンテンツ・アイテムのローカライズを参照してください。

コンテンツ・アイテムを作成して保存すると、
をクリックして新規ページに表示するか、
「プレビュー」をクリックしてスライドアウト・パネルに表示することで、コンテンツ・タイ
プに関連付けられている様々なレイアウトでコンテンツがどのように表示されるかを確認で
きます。デフォルトでは、コンテンツはブラウザ・ウィンドウに合せて設定されています。
ドロップダウン・メニューから他のレイアウト・オプションを選択して、異なるデバイス、



異なるサイズ、または(設定されている場合)特定のサイト・ページでアイテムがどのように見えるかを確認できます。独自のデバイス・サイズを作成することもできます。 または、 をクリックして、ルーラーを表示できます。ルーラーの下の空いている部分の1つをクリックすると、別のサイズではアイテムがどのように表示されるかを確認できます。モバイル・デバイス・サイズを選択すると、 を選択して、向きによってアイテムがモバイル・デバイスでどのように表示されるかを確認することもできます。

コンテンツ・アイテムの表示および管理

コンテンツ・アイテムのコンテンツが、様々なレイアウトでの表示、タグの追加、翻 訳の管理、およびコンテンツ・アイテムに関する他のアクションを実行する方法を確 認できます。

「**アセット」**ページでは、アクセス権を持っているリポジトリ内のすべてのアセットを 表示できます。「アセット」ページについてを参照してください。

セクションにジャンプして開始します。

- リポジトリでのアクションの実行
- 検索、フィルタおよびソート
- 選択したアセットでのアクションの実行
- アセットの表示中のアクションの実行
- アセットを簡単に見つけられるようにする
- サイトへのアセットの追加(アセット・リポジトリのみ)

リポジトリでのアクションの実行

「アセット」ページのヘッダーで、リポジトリに次のアクションを実行できます。

タスク	説明
デジタル・アセットの 追加	選択したリポジトリにデジタル・アセットを追加するには、 「追加」 を クリックしてから、アセットの追加元の場所を選択します。
コンテンツ・アイテム の作成	選択したリポジトリにコンテンツ・アイテムを作成するには、 「作成」 をクリックしてからオプションを選択します。
公開ジョブの表示(ア セット・リポジトリの み)	アセットを公開するようにスケジュールした場合、公開ジョブを表示 するには、 • • • をクリックしてから 「公開ジョブ」 を選択します。
翻訳ジョブの表示(ア セット・リポジトリの み)	翻訳のためにコンテンツ・アイテムをエクスポートした場合、・・・を クリックしてから 翻訳ジョブ を選択すると関連付けられた翻訳ジョブ を表示できます。
公開イベント・ログの 表示(アセット・リポジ トリのみ)	すべての公開ジョブのログを表示するには、●●●をクリックしてから 「イベント・ログの公開中」を選択します。
コレクションの管理	選択したリポジトリでコレクションを管理するには、・・・をクリックし てから「 コレクション」 を選択します。



タスク	説明
- 提案されたカテゴリの 適用	選択したリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合に、この オプションが表示されます。カテゴリは、ビジネス構造にマップする 階層組織を提供し、ユーザーがドリルダウンして必要なものを見つけ られるようにします。選択したリポジトリ内のアセットに対するカテ ゴリの提案を表示して適用するには、・・・をクリックし、カテゴリの提 案を選択します。
コンテンツ・アナリテ ィクスの表示(アセッ ト・リポジトリのみ)	選択したリポジトリに関連付けられているサイトおよびチャネルのア ナリティクスを表示するには、・・・をクリックしてから、コンテンツ・ アナリティクスを選択します。
ワークフロー・タスク の管理(アセット・リポ ジトリのみ)	管理者がワークフローを設定した場合、・・・をクリックし、 ワークフロ ー・タスクを選択して、自分に割り当てられているすべてのワークフ ロー・タスクを表示および管理します(選択したリポジトリに対して1 つとはかぎりません)。

検索、フィルタおよびソート

アセットを検索、フィルタおよびソートするには、「アセット」ページの左側のツールと一番 上の検索ボックスを使用します。

選択したアセットでのアクションの実行

コンテンツ・アイテムを選択または右クリックすると、次のアクションを実行できます。

タスク	説明
アセットを開く	コンテンツ・アイテムを開き、そのコンテンツ・タイプに関連付けられてい る様々なレイアウトを使用してコンテンツがどのように表示されるかを確 認するには、右クリック・メニューの「開く」を選択するか、アクション・
	バーの 🌄 をクリックします。
アセットの表示	「アセット」ページから移動することなく、スライドアウト・パネルでコン テンツ・アイテムを表示するには、右クリック・メニューの 「プレビュー」
	を選択するか、アクション・バーまたはアセット・タイルの [◎] をクリック します。
	 デフォルトで、コンテンツ・フォーム・ビュー(アセット・タイプのフィールド名と値)が表示されます。基礎となるアセット・タイプに関連付けられたレイアウトがある場合、次のアクションを実行できます。 他のレイアウトまたは特定のサイト・ページ(構成されている場合)にアセットがどのように表示されるかを確認するには、ドロップダウン・リストからレイアウトまたはサイト・ページを選択します。
	 テノオルトでは、アセットはノラクリ・クィントクに合せて設定されています。他のレイアウトまたはサイト・ページを選択すると、様々なデバイス・サイズを選択できます。独自のデバイス・サイズを作成するこ
	ともできます。デバイス・サイズの選択後、 ^L Dをクリックすると、方 向を変更できます。
	 ルーラーを表示して手動でデバイス・サイズを変更するには、 レックしてから、ハンドルを移動して高さおよび幅を変更します。
コンテンツ・アイテムの	エディタでコンテンツ・アイテムを開くには、右クリック・メニューの「編
編集	集」 を選択するか、アクション・バーまたはアセット・タイルの ックします。コンテンツ・アイテムの編集中、メディアまたはコンテンツ・
	ど1 アム



タスク	説明
コンテンツ・アイテムの	コンテンツ・アイテムを複製するには、右クリック・メニューの 「複製」 を
传表	選択するか、アクション・バーの ・ をクリックします。名前に「Copy」が 付加されたコンテンツ・アイテムの新規バージョンが作成されます。元のバ ージョンに影響を与えずに、必要に応じてアイテムを編集できます。
アセットのコピー	アセットを別のリポジトリにコピーするには、右クリック・メニューの 「コ
	ピー先」 またはアクション・バーの おジトリを選択して、「コピー」をクリックします。ターゲット・リポジト リに対してマネージャ・ロールを持っている必要があります。複数のアセッ トを選択して同時にコピーできます。各アセットの現在のバージョンのみ がコピーされます。 コピーしたコンテンツ・アイテムで使用されるコンテンツ・タイプがまだタ ーゲット・リポジトリに関連付けられていない場合、自動的に関連付けが行 われます。
	別のアセットを参照するコンテンツ・アイテムをコピーする場合、参照先の アセットもターゲット・リポジトリにコピーされます。
	リポジトリ・マネージャはあるリポジトリ・コレクションから別のリポジト リ・コレクションにアセットをコピーすることもできます。
アセットの翻訳バージ ョンの表示(アセット・リ ポジトリのみ)	コンテンツ・アイテムのすべての 翻訳済バージョンを表示するには、右クリ ック・メニューまたはアクション・バーの「言語」メニューの言語の管理を 選択します。 「言語」パネルで、許可されている場合は言語の追加をクリックしてコンテ
	ンツ・アイテムを翻訳できます。 コンテンツ・アイテムの翻訳を制限するには、 翻訳不能 をクリックします。 このアクションは元に戻すことができず、既存の翻訳は削除されるため、ア クションを確認する前に、必ずアイテムを翻訳不能にしてください。
コンテンツ・アイテムの 翻訳(アセット・リポジト リのみ)	コンテンツ・アイテムの翻訳を追加するには、右クリック・メニューまたは アクション・バーの「 言語」 メニューの「 翻訳」 を選択し、翻訳ジョブを作 成します。ジョブを作成した後、権限を持つ人が翻訳に送信する必要があり ます。
アセットのロックまた はロック解除	他のユーザーがアセットを編集できないようにロックするには、右クリッ ク・メニューまたは「ロック」メニューの「アセットのロック」を選択しま す。アセットの依存関係もすべてロックする場合は、右クリック・メニュー または「ロック」メニューから「アセットと依存関係のロック」を選択しま す。たとえば、承認を待機している場合にこれを行うことが必要な場合があ ります。アセットをすでにロックしてある場合は、かわりに「アセットのロ ック解除」または「アセットと依存関係のロック解除」を選択できます。
アセットの公開または 非公開 (アセット・リポジ トリのみ)	アセットを公開し、サイトで使用できるようにするには、右クリック・メニ ューまたは「公開」メニューから「今すぐ公開」または「後で公開」を選択 します。複数のアセットを選択して、同時に公開できます。アセットがすで に公開されている場合は、かわりに「公開取消」のオプションが表示されま す。

タスク	説明
レビューでのアセット の移動	アセットをレビューする必要がある場合、右クリック・メニューまたは「ワ ークフロー」メニューから「レビューに提出」を選択します。すでに提出済 の場合、リポジトリ管理者であればアセットを「承認」または「却下」でき ます。複数のアセットを選択して、レビューに同時に提出できます。送信ス テータスがアセット・プレビューの下に表示されます
	 ドラフト ・ ・ ・ レビュー中
	 承認済 メ_{却下済}
類似カテゴリのアセッ トの検索	アセットが分類されている場合は、右クリック・メニューまたは 「検索」 メ ニューの 「類似したカテゴリの検索」 を選択して、選択されているアセット と類似のカテゴリに割り当てられているアセットを検索します。
アセットへのカテゴリ の割当て	表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、右クリッ ク・メニューまたは「サイドバー」メニューの「カテゴリ」を選択して、ア セットにカテゴリを割り当てることができます。カテゴリは、ビジネス構造 にマップされた階層組織であり、ユーザーは、それにドリルダウンして必要 なものを見つけることができます。
アセットを公開チャネ ルにターゲット指定す る (アセット・リポジトリ のみ)	アセットを公開チャネルにターゲット指定するには、右クリック・メニュー または 「サイドバー」 メニューの 「チャネル」 を選択します。複数のアセッ トを選択して、チャネルを同時に割り当てることができます。
タグとコレクションの 割当て	タグおよびコレクションをアセットに割り当てるには、右クリック・メニュ ーまたは 「サイドバー」 メニューの 「タグとコレクション」 を選択します。
ワークフローによるア セットの移動(アセッ ト・リポジトリのみ)	表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場合は、右ク リック・メニューまたは「サイドバー」メニューの「ワークフロー」を選択 して、ワークフローを通じてアセットを移動します。
アセットのプロパティ の表示	アセットのプロパティを表示するには、右クリック・メニューまたは「サイ ドバー」メニューの「プロパティ」を選択します。プロパティには、アイテ ムの作成時刻や最終更新時刻などの読取り専用情報が含まれます。プロパ ティ情報はタブに分割されています。
	 一般 – アセットのタイプ、サイズ、公開されるかどうか、ロックされているかどうかに関する情報と、その他の一般情報が含まれます。 アクティビティ – レビュー・ステータスの変更、リビジョン履歴、ロック
	ク履歴、その他のアクティビティなど、特定のアクティビティの詳細。 • API – アセット ID、管理 URL、および公開済の場合は公開情報と配信 URL を表示します。ID または URL をクリップボードにコピーするに
	は、これの横にある をクリックします。アセットに対して関連付け られた JSON データを表示するには、管理または配信 URL の横にある
	を選択するか、アクション・バーの ゆをクリックします。複数のアセットを選択して、同時に削除できます。アセットが公開されている場合、削除される前に非公開になるため、アセットを非公開にする権限が必要です。



タスク	説明
アセット履歴の表示	前のバージョンのアセットのリストを表示するには、アセット・タイルでバ ージョン番号をクリックするか、右クリック・メニューまたは「サイドバ ー」メニューから「プロパティ」を選択して、「アクティビティ」タブをク リックします。
	Properties -
	General Activity API
	v0.2 • Approved 8/21/2020 at 1:13 PM
	Approved in 'Approve by Manager'



- 前のバージョンを表示するには、「アクティビティ」タブでバージョン 番号をクリックします。編集できるのは現在のバージョンのみです。
- 前のバージョンを現行にするには、前のバージョンを表示し、バナー・ メニューで「現行に設定」をクリックします。現在のバージョンがビデ オ・アセットで、以前のバージョンがそうではない場合、以前の非ビデ オ・バージョンを現行にすることはできません。

アセットが公開されると、新しいバージョンが作成され、小数点の左の番号 が増加します。たとえば、バージョン v1.2 を公開すると、公開されたバー ジョンは v2 になります。

アセットの表示中のアクションの実行

コンテンツ・アイテムの表示中に、次のアクションを実行できます。

タスク	説明
レビューでのアセット の移動	アセットにレビューが必要な場合、 レビューに提出 をクリックします。すで に提出済の場合、リポジトリ管理者であればアセットを 「承認」 または 「却 下」 できます。
コンテンツ・アイテムの 編集 	コンテンツ・アイテムを編集するには、 「編集」 をクリックします。コンテ ンツ・アイテムの編集中、メディアまたはコンテンツ・アイテム参照を追加 または編集できます。
コンテンツ・アイテムの 作成	リポジトリにコンテンツ・アイテムを作成するには、 「作成」 をクリックし てからオプションを選択します。
アセットを全画面で表 示	アセットを全画面モードで表示するには、 全画面 をクリックします。
アセットのプロパティ の表示	 アセットのプロパティを表示するには、 たクリックし、ドロップダウン・メニューで「プロパティ」を選択します。プロパティには、アイテムの作成時刻や最終更新時刻などの読取り専用情報が含まれます。プロパティ情報はタブに分割されています。 一般 - アセットのタイプ、サイズ、公開されるかどうかに関する情報と、その他の一般情報が含まれます。 アクティビティ - レビュー・ステータスの変更、リビジョン履歴、その他のアクティビティなど、特定のアクティビティの詳細。 API - アセット ID、管理 URL、および公開済の場合は公開情報と配信URLを表示します。ID または URLをクリップボードにコピーするには、これの横にある。 よこれの横にある。 をクリックします。アセットに対して関連付けられた JSON データを表示するには、管理または配信 URLの横にある。

タスク	説明
アセット履歴の表示	前のバージョンのアセットのリストを表示するには、アセット・タイルでバ ージョン番号をクリックするか、 「プロパティ」 をクリックして、 「アクティ ビティ」 タブをクリックします。
	Properties -

Propert	
General	Activity API
v0.2	Approved 8/21/2020 at 1:13 PM Approved in 'Approve by Manager'.
v0.2 📒	Submitted for Review 8/21/2020 at 1:13 PM Submitted for review in workflow 'Approve by Manager'.
v0.2	Updated 8/21/2020 at 1:12 PM
v0.1 🗙	Rejected 8/21/2020 at 1:11 PM Rejected in workflow 'Approve by Manager'.
v0.1	Submitted for Review 8/21/2020 at 1:11 PM Submitted for review in workflow 'Approve by Manager'.
v0.1	Created 6/24/2020 at 9:44 PM by

- 前のバージョンを表示するには、「アクティビティ」タブでバージョン 番号をクリックします。編集できるのは現在のバージョンのみです。
- 前のバージョンを現行にするには、前のバージョンを表示し、バナー・ メニューで「現行に設定」をクリックします。現在のバージョンがビデ オ・アセットで、以前のバージョンがそうではない場合、以前の非ビデ オ・バージョンを現行にすることはできません。

アセットが公開されると、新しいバージョンが作成され、小数点の左の番号 が増加します。たとえば、バージョン v1.2 を公開すると、公開されたバー ジョンは v2 になります。
タスク	説明
アナリティクスの表示	アセットの公開先またはターゲット対象となっているサイトおよびチャネ
(アセット・リホジトリの み)	ルのアナリティクスを表示するには、
	メニューで 「アナリティクス」 を選択します。 デフォルトではすべての分析データが表示されますが、ドロップダウン・リ
	ストで新規オプションを選択することで制限できます(たとえば、今年や過去
	30 日など)。アセットがターゲットとしているチャネルに関する次の情報が 表示されます。
	• 平均日次アクセス数: 折れ線グラフに、各チャネルへの一意の訪問数の
	1日当たりの平均が、公開済アセットと非公開アセットで分類されて表 示されます。一意の訪問とは、1時間の期間内に1つのチャネルを訪問
	する1人のユーザーです。そのため、ユーザーが1時間以内に20回サ
	 7 トを訪向しても、1 回の一息の訪向としてカワントされます。 アセット・ステータス: 各チャネル内のアセットの経過時間およびステ
	ータスが表示されます。
	公開済
	_ 承認済
	- 赵市済
	- II ドラフト
	- 😑 vez-e
アセットのカテゴリの まテ	アセットが格納されているリポジトリにタクソノミが関連付けられている
我小	場合、ししをクリックしてからドロップダウン・メニューで「カテゴリ」を
	選択すると、アセットに割り当てられているカテゴリを表示でさます。「ア セット・カテゴリの割当て」を参照してください。
	カテコリは、Oracle Cloud Infrastructure で のみ使用できます(Oracle Cloud
	Infrastructure Classic では使用できません)。
アセットのターゲット 対象となっているチャ	アセットのターゲット対象となっているチャネルの表示および管理を行う
ネルの表示 (アセット・リ ポジトリのみ)	には、 し には、 し たクリックし、ドロップダウン・メニューで 「チャネル」 を選択 します。必要に応じてチャネルを追加または削除します。
関連付けられている会	
詰の表示	クリックし、ドロップダウン・メニューで「会話」を選択します。

タスク	説明
アセットの使用場所の 表示	このコンテンツ・アイテムの依存先または参照元であるその他すべてのアセットのインベントリや、そのタイプとステータス、またはこのアセットを使
	用するサイトを表示するには、 し をクリックし、ドロップダウン・メニュ ーで「 インベントリ」 を選択します。インベントリ情報はタブに分割されて
	 依存性: このタブには、このコンテンツ・アイテムが依存するアセットの名前、タイプおよびステータスがリストされます。
	 参照元: このタブには、このコンテンツ・アイテムを参照するすべての コンテンツ・アイテムがリストされます。
	 使用サイト: このダブには、このコジテジツ・アイテムを参照するすべてのサイトと、このコンテンツ・アイテムが使用されるページがリストされます。
	✓ ノート:
	すべてのタブが表示されない場合には、 よ
	たは をクリックして、タブの見出しをスク ロールする必要があります。
	「依存関係」 タブまたは 「参照元」 タブのアセットにマウスのカーソルを合
	せると、 🌑 が有効になります。 🔍 をクリックして、スライドアウト・ パネルでアセットをプレビューします。
アセットに割り当てら れているタグとコレク	アセットに関連付けられているタグとコレクションの表示および管理を行
ションの表示 	っには、 し山 をクリックし、ドロップタワン・メニューで タクとコレクショ ンを選択します。必要に応じてタグを追加または削除します。
アセットのすべての翻 訳の表示 (アセット・リポ	コンテンツ・アイテムを開いているときにコンテンツ・アイテムの翻訳を表
ジトリのみ)	示および管理するには、↓↓↓をクリックし、プロパティ・ペインのドロップ ダウン・メニューで「翻訳」を選択します。このペインのオプションを使用
	して、次の操作を実行できます。
	 翻訳を囲いててのコンテンジを衣示します。 翻訳を削除します。
	 元のマスターのかわりに翻訳をマスターとして指定します。
	 すべての翻訳のステータスを表示します。 第回に住田されている一部に、住田された一部をまたよう。
	 翻訳に使用されている言語と、使用可能な言語を表示します。表示される言語は、コンテンツ・アイテムが管理されているリポジトリのチャネ
	ルで使用可能な言語です。アスタリスク (*) でマークされている言語は、 チャネル・ポリシーで必須の言語です。
ワークフローによるア	表示しているリポジトリにワークフローが割り当てられている場合は、
ト・リポジトリのみ)	をクリックし、ドロップダウン・メニューで「 ワークフロー」 を選択してワ ークフロー内でアセットを移動できます。

タスク	説明
レイアウトでのアセッ トの表示	 デフォルトで、コンテンツ・フォーム・ビュー(アセット・タイプのフィールド名と値)が表示されます。基礎となるアセット・タイプに関連付けられたレイアウトがある場合、次のアクションを実行できます。 他のレイアウトまたは特定のサイト・ページ(構成されている場合)にアセットがどのように表示されるかを確認するには、ドロップダウン・リストからレイアウトまたはサイト・ページを選択します。 デフォルトでは、アセットはブラウザ・ウィンドウに合せて設定されています。他のレイアウトまたはサイト・ページを選択すると、様々なデバイス・サイズを選択できます。独自のデバイス・サイズを作成することもできます。デバイス・サイズの選択後、「ひをクリックすると、方向を変更できます。 ルーラーを表示して手動でデバイス・サイズを変更するには、
	リックしてから、ハンドルを移動して高さおよび幅を変更します。
バージョンの比較	コンテンツ・アイテムが編集されていて、リポジトリに複数のバージョンが ある場合は、そのコンテンツ・アイテムを開いて、 「バージョンの比較」 を クリックするとバージョン間の差分を簡単に比較できます。
参照されたアイテムの 表示	コンテンツ・アイテムが別のデジタル・アセットやコンテンツ・アイテムを 参照している場合、コンテンツ・フォーム・ビューで、表示する参照された
	アイテムの横にある ^④ をクリックします。スライドアウト・パネルが開き、 参照されたアイテムが表示されます。

アセットを簡単に見つけられるようにする

アセットを見つけやすくするために、カテゴリ、コレクションおよびタグを使用できます。

 カテゴリ:表示しているリポジトリにタクソノミが関連付けられている場合、カテゴリを 使用できます。カテゴリは、ビジネス構造にマップされた階層組織であり、ユーザーは、 それにドリルダウンして必要なものを見つけることができます。アセットにカテゴリを 割り当てるには、「カテゴリ」をクリックします。アセットが公開された後で再分類され た場合、再分類されたアセットをすばやく確認できるように、アイコンが追加されます

(し)。再分類されたアセットのみを表示するためのフィルタもあります。アセット・カテゴリの割当てを参照してください。

🖉 ノート:

カテゴリは、Oracle Content Management でのみ使用できます(Oracle Content Management-Classic では使用できません)。

- コレクション: コレクションは、マーケティング・キャンペーンなどの特定のビジネス・ ニーズに応じて関連アセットをグループ化する方法です。新しいコレクションは、各サイ トでも自動的に作成されます。アセットが関連付けられているコレクションを変更する には、「コレクション」をクリックします。複数のアセットを選択して、コレクションに 同時に割り当てることができます。コレクションの使用を参照してください。
- タグ: キーワードなどのタグは、ユーザーが検索可能な用語です。リポジトリ管理者がリポジトリでスマート・コンテンツを有効にしている場合、イメージはイメージのコンテンツに基づいて自動的にタグ付けされますが、任意の種類のアセット用に手動のタグを追加することもできます。たとえば、次回の会議に関するドキュメントまたはコンテンツ・アイテムがあるとします。これに、「会議」、「イベント」、「Webセミナー」、「ブレークアウト」などの用語をタグ付けできます。アセットのタグを追加または編集するには、「タグ」



をクリックします。複数のアセットを選択して、タグを同時に割り当てることができます。アセットのタグ付けを参照してください。

LUをクリックし、ドロップダウン・メニューで必要なオプションを選択することで、カテゴリ、コレクションおよびタグを表示することもできます。

サイトへのアセットの追加(アセット・リポジトリのみ)

アセットをサイトに追加するには、「アセットおよびコンテンツ・アイテムの操作」を 参照してください。

コンテンツ・アイテムのバージョンの比較

コンテンツ・アイテムが編集されていて、アセット・リポジトリに複数のバージョン がある場合は、そのコンテンツ・アイテムを開いて、バージョン間の差分を簡単に比 較できます。

- 「アセット」ページで、複数のバージョンがあるアセットを右クリックまたは選択して、右クリック・メニューの「開く」を選択するか、アクション・バーのを
- 2. 「バージョンの比較」をクリックします。このオプションを使用できるのは、コン テンツ・アイテムに複数のバージョンがある場合のみです。
- **3.** メニューからターゲット・バージョンを選択し、ソース・バージョンと比較しま す。開いたバージョンがソース・バージョンで、通常は最新バージョンです。
- 4. 「バージョンの比較」をクリックします。

クリックします。

間に変更インジケータを挟んでコンテンツ・アイテムの 2 つのバージョンが隣同士で 表示され、変更された領域が強調表示されます。

🛆 Home	= 0							Ц	0	٢
Assets	VlogItem 🕫	13		Submit for Review	Eda	Create .	Full Screen	Close	Save	
			-							-
Recommendations										
0 Developer	English (United States) (e	n-US) 🚺		Content For	en View •	Fit to Winds	ж .	88	ompare Ver	skons
	Compare Version	5								
		 Source 	0	Target						
		03	0	2					•	
	Content Item Data	a Fields								
	Title	Creamy ked Coffee?	•	Coffee and Ice Cream!						
R Integrations	Author Image	avid round(2) one		david so pre						
				1272						
	Article	The debate has rapid sizes the first ground beam operad your eyes and warm milk closed them again. Gimm the bioloxy what's the BST Sometrin tool's musc surpace hap provided the answer. A new study from Jerry film Hoopen University was published recently in Food Science Quartly with results that you will find both calming and emigrouring. In a double-bind machato core study.	-	The debate has raged t BEST comfort food? No A new study from Jerry results that you will fin	since the firs ow, science i y Ben Haagu d both calm	st ground bean ar has provided the in University was ing and envigorat	d frozen milk - g answer. published recent ing. In a double-l	ven the choice y in Food Scie kind machiato	e, what's the nce Quart'ly cone study,	with

比較を隣同士に並べて表示できるほどブラウザが広くない場合は、変更された領域が 上下になった状態でバージョンが積み上げられ、変更インジケータは右になります。

「**バージョンの比較」**をクリックして比較を閉じ、開いたソース・バージョンを表示します。

前のバージョンをソース・バージョンとして使用する場合は、「プロパティ」パネルの「アクティビティ」タブから開くことができます。

1. ししをクリックして「プロパティ」ペインを選択し、「アクティビティ」タブをクリックします。



2. ソース・バージョンとして使用するバージョン番号をクリックして開き、選択するターゲットと比較します。

コンテンツ・アイテムの使用

コンテンツ・アイテムは、Web サイト上または別の通信出力内で使用できます。

コンテンツ・アイテムはコンテンツ・タイプをガイドとして作成されることに留意してくだ さい。ほとんどのコンテンツ・タイプは、Web サイトまたは他のタイプの出力における特定 のニーズに合せて調整されます。コンテンツ・アイテムが作成されたら、コレクションに関 連付けられた Web サイトで使用できるようになります。Web サイトのコントリビュータ・ロ ールを持つユーザーであれば誰でも、これを選択し、コンテンツを受け入れる任意のスロッ ト内の Web サイトにドラッグ・アンド・ドロップできます。

コンテンツ・アイテムを作成する場合、コンテンツ・アイテムが使用される場所に影響を与 えずに、コンテンツ・アイテムを後で編集できます。たとえば、Web サイトに短い更新を毎 日作成する必要がある場合があります。あなたまたはあなたの管理者が、ニュース記事と呼 ばれるコンテンツ・タイプを作成します。このコンテンツ・タイプには、短いテキスト、日 付、および小さいパラグラフ用のフィールドがあります。

このコンテンツ・タイプを使用して*今日のニュース*・コンテンツ・アイテムを作成し、Web サイト・コレクションに追加します。次に、*今日のニュース*・コンテンツ・アイテムを Web サイトに追加し、その外観をプレビューします。外観に問題がなければ、公開できます。

こうすることで、*今日のニュース*を毎日編集し、アイテム内のテキストを変更して、公開で きるようになります。変更したこのテキストは、他のユーザーが Web サイトを毎日更新しな くても Web サイトに反映されます。このコンテンツは Web サイトから独立して変更されま す。

言語アセットの操作

ノート:

この機能はビジネス・リポジトリでは使用できません。

コンテンツ・アイテムは、公開チャネルの言語要件に基づいて、ローカライズされたエクス ペリエンスを実現するために翻訳できます。デフォルトでは、コンテンツ・アイテムのマス ター・バージョンは「アセット」ページに表示されます。何の言語が存在するか、およびそ の翻訳のステータスを確認するには、アセットのリストで、言語の横にある下矢印をクリッ クします。



言語アセットを操作する際の追加オプションについては、右クリック・メニューまたはアク ション・バーの**「言語」**メニューの**「言語の管理」**を選択し、コンテンツ・アイテムの現在



のすべての言語アセットとそのステータスをリストするスライドアウト・パネルを開 きます。言語アセットを選択すると、様々なオプションがあるバナー・メニューが有 効になります。



アイテム	説明
1	言語アセット — コンテンツ・アイテムの現在のすべての言語がリストされます。
2	
	を有効にします。オプションは、アセットのステータスと選択されているアセット
	数によって異なります。これには次のものかあります。
	 「プレビュー」は、選択したアセットをスライドアウト・パネルに開きます。
	• 「翻訳済として設定」は、アセットを翻訳済としてマークし、アセットをレビュ
	ーに提出する前に行う必要があります。
	• 「レビューに提出」は、アセットをレビューの準備完了としてマークします。提
	出するとアセットを承認または却下できます。
	• 「承認」 は、レビュー中のアセットを承認します。
	• 「 却下」 は、レビュー中のアセットを却下します。
	• 「 削除」 は、選択されている1つまたは複数のアセットを削除します。
	• 「マスターとして設定」は、マスター・アセットとなるアセットを変更します。
	• 「 プロパティ」 は、「プロパティ」ペインを開きます。
3	言語の追加 — 新規言語へのアセットの翻訳を開始するスライドアウト・パネルを開
	きます。
4	
5	公開 — アセットを公開するスライドアウト・パネルを開きます。
6	「プロパティ」ペイン — 選択した言語アセットのプロパティの詳細を示します。

アイテム 説明 7 言語表示フィルタ — 表示される言語を選択します。 「既存の言語の表示」には、コンテンツ・アイテムに固有の言語が表示されます (デフォルトで表示されます)。 「リポジトリの言語の表示」には、コンテンツ・アイテムのリポジトリに定義されているすべての言語が表示されます。 「すべてのターゲット対象チャネル」には、すべてのターゲット対象チャネルで使用されている言語が表示されます。

• 特定のチャネル

コンテンツ・アイテムのレビューと言語の追加

🖉 ノート:

この機能はビジネス・リポジトリでは使用できません。

公開チャネルでは、コンテンツ・アイテムが特定の言語であることが必要な場合があります。 デフォルトでは、コンテンツ・アイテムのマスター・バージョンは「アセット」ページに表 示されます。追加オプションについては、右クリック・メニューまたはアクション・バーの 「言語」メニューの「言語の管理」を選択し、コンテンツ・アイテムの現在のすべての言語ア セットとそのステータスをリストするスライドアウト・パネルを開きます。デフォルトでは、 コンテンツ・アイテムの既存の言語が表示されます。表示された言語をフィルタして、リポ ジトリに対して使用可能な言語、すべてのターゲット・チャネルの必須言語、または各公開 チャネルに必要な言語を表示できます。

言語アセットを選択すると、様々なオプションがあるバナー・メニューが有効になります。 言語アセットの操作を参照してください。

コンテンツ・アイテムに言語を追加するには、次の手順に従います。

- アセットを右クリックまたは選択し、右クリック・メニューまたはアクション・バーの 「言語」メニューの言語の管理を選択します。
- 2. バナー・メニューで「言語の追加」をクリックするか、表示される言語をフィルタして、 リポジトリまたはチャネル言語を表示し、使用可能な言語の1つをクリックします。
- 3. すべてのフィールドに適切な言語を使用して、新しいコンテンツ・アイテムを作成したと きと同じ手順を実行します。
 - 翻訳アイテムの名前を入力します。
 - 説明を入力します(オプション)。

💉 ノート:

マスターから継承として指定されているデータ・フィールドがある場合があ ります。これらのフィールドは、マスター・コンテンツ・アイテムからデー タが移入され、編集や翻訳はできません。これらはコンテンツ・タイプの作 成時に指定されます。



- 使用可能な言語から言語を選択します。表示される言語は、リポジトリで許可 され、アイテムにまだ使用されていない言語です。
- コンテンツ・アイテムの翻訳言語バージョンを入力します。「比較」をクリックして別の言語を選択し、この新しい翻訳バージョンで使用するテキストをコピーします。コンテンツ・アイテムの各フィールドの下にコントロールが表示されます。コンテンツ・アイテム・フィールドの下の「表示」をクリックします。選択した言語のフィールドのコンテンツが表示されます。「コピー」をクリックして、元のフィールドのテキストとして他の言語のテキストを使用します。
- 完了したら、「保存」をクリックします。
- アイテムが翻訳された後、それをレビュー用に提出または公開する前に、ステータ スを翻訳済に変更する必要があります。マスター・コンテンツ・アイテムを選択 し、右クリック・メニューまたはアクション・バーの「言語」メニューの「言語の 管理」を選択します。翻訳されたアイテムを選択し、バナー・メニューの「翻訳済 として設定」をクリックします。これで、翻訳済アイテムをレビュー用に提出でき ます。

コンテンツ・アイテムのローカライズ

関連付けられたリポジトリで許可されている場合、コンテンツ・アイテムは複数の言 語に翻訳できます。ローカライズできるのは、コンテンツ・アイテムのみです。イメ ージなどのデジタル・アセットは、ローカライズできません。

ノート:この機能はビジネス・リポジトリでは使用できません。

次に、ローカリゼーションの留意事項について示します。

- リポジトリ(およびそのコンテンツ・アイテム)で使用可能な言語は、関連付けられた公開チャネルのローカリゼーション・ポリシーおよびリポジトリ用に選択された追加の言語によって決定されます。
- コンテンツ・アイテムが作成されると、翻訳不能として指定されることがあり、その場合、アイテムを翻訳するオプションはメニューに表示されません。コンテンツ・アイテムは、作成後に関連言語スライドアウト・パネルで翻訳不能として指定することもできます。コンテンツ・アイテムを右クリックまたは選択して、右クリック・メニューまたはアクション・バーの「言語」の言語の管理を選択し、パネルを開き、「翻訳不能」をクリックして、ローカライズされたすべてのバージョンを削除し、マスター言語を残します。
- コンテンツ・アイテムのローカライズ・バージョンは、元のマスター・バージョン とは別に存在します。マスター・バージョンに影響を与えずに、ローカライズ・バ ージョンの削除、ステータスの変更またはその編集を行うことができます。
- ファイルをエクスポートして翻訳し、翻訳されたファイルをインポートすることで、コンテンツ・アイテムのバッチをローカライズすることも、特定のコンテンツ・アイテムに対して一度に1つの翻訳を追加することもできます。

翻訳の作成および管理は、次の方法で行うことができます。

 コンテンツ・アイテムのバッチをローカライズするには、コンテンツ・アイテムの 文字列をエクスポートし、ソース・コンテンツの.zip ファイルをダウンロードし、



コンテンツを翻訳し、翻訳をインポートします。「アセット」ページからのコンテンツ・ アイテムのローカライズを参照してください。

ノート:
 Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、一度に1つのコンテンツ・アイテムに対する翻訳の追加に制限されます。コンテンツ・アイテムのバッチをローカライズすることはできません。完全な機能セットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

- 単一コンテンツ・アイテムの翻訳を追加するには、コンテンツ・アイテムのコピーを作成し、コンテンツを翻訳します。コンテンツ・アイテムのレビューと言語の追加を参照してください。
- 何の翻訳が存在するか、およびその翻訳のステータスを確認するには、アセットのリスト で、言語の横にある下矢印をクリックします。

en-US Master	-
en-US Master	٠
fr	·

または、コンテンツ・アイテムを右クリックまたは選択し、右クリック・メニューまたは アクション・バーの「言語」メニューの「言語の管理」を選択します。

- コンテンツ・アイテムを開いているときにコンテンツ・アイテムの翻訳を表示および管理 するには、 をクリックし、プロパティ・ペインのドロップダウン・メニューで 「翻 訳」を選択します。このペインのオプションを使用して、次の操作を実行できます。
 - 翻訳を開いてそのコンテンツを表示します。
 - 翻訳を削除します。
 - 元のマスターのかわりに翻訳をマスターとして指定します。
 - すべての翻訳のステータスを表示します。
 - 翻訳に使用されている言語と、使用可能な言語を表示します。表示される言語は、コンテンツ・アイテムが管理されているリポジトリのチャネルで使用可能な言語です。 アスタリスク(*)でマークされている言語は、チャネル・ポリシーで必須の言語です。

開いているコンテンツ・アイテムを表示するときに翻訳を表示および管理することもでき ます。コンテンツ・アイテムを開くには、これを右クリックするか選択して、右クリッ

ク・メニューの「開く」を選択するか、アクション・バーの 🖻 をクリックします。

翻訳コネクタの統合

Oracle Content Management は、機械翻訳サービスまたは手動翻訳サービスのためにサード パーティ翻訳プロバイダによって翻訳コネクタを統合できます。



💉 ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、翻訳コネ クタはサポートされません。完全な機能セットを利用するには、**Premium Edition** にアップグレードします。

翻訳コネクタは、使用可能にする前に管理者によって作成、構成および有効化される 必要があります。デフォルトでは、Lingotek による翻訳コネクタが使用可能ですが、 このコネクタを構成および有効化するには Lingotek アカウントが必要です。使用可能 な翻訳コネクタのリストを表示するには、サイド・メニューの管理領域にある「統合」 をクリックし、ページ・メニューから「翻訳コネクタ」を選択します。

翻訳コネクタの作成、構成および有効化

翻訳クライアントを有効化する前に、翻訳サービスに必要な適切なアカウント情報を 使用してコネクタを構成する必要があります。デフォルトでは、Lingotek が翻訳コネ クタとして使用可能ですが、このコネクタを構成および有効化するには Lingotek アカ ウントが必要です。Oracle Content Management では、Lingotek のトライアル・アカ ウントをリクエストするためのリンクが提供されます。

- サイド・メニューの管理領域にある「統合」をクリックし、ページ・メニューから 「翻訳コネクタ」を選択します。
- 2. 「作成」をクリックして新規コネクタを作成するか、構成する翻訳コネクタを選択し、「編集」をクリックします。
- 翻訳サービスに必要な情報を入力します。たとえば、Lingotek コネクタには、 Bearer トークンとワークフロー・プロファイル(両方とも Lingotek によって提供さ れます)を必要とする「追加フィールド」タブがあります。
- 4. オプションで、翻訳サービスから使用できる追加のデータ・フィールドを選択して、翻訳ジョブのすべてのドキュメントに追加できます。たとえば、Lingotekでは、期日や購買オーダーなどの特定のメタデータ・セットを翻訳セットの各ドキュメントに指定できます。
- 5. 翻訳コネクタが構成されたら、「保存」をクリックし、「統合」に戻り、「有効」を クリックします。
- 6. コネクタをリポジトリに追加します。

「アセット」ページからのコンテンツ・アイテムのローカ ライズ

「アセット」ページを表示しているときに、コンテンツ・アイテムまたはコンテンツ・ アイテムのバッチをローカライズできます。

/ ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、一度に 1 つのコンテンツ・アイテムに対する翻訳の追加に制限されます。コンテン ツ・アイテムのバッチをローカライズすることはできません。完全な機能セ ットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。



コンテンツ・アイテムへの言語の追加の詳細は、「コンテンツ・アイテムのレビューと言語の 追加」を参照してください。

翻訳する1つまたは複数のアセットをエクスポートする手順:

- 1. サイド・ナビゲーション・メニューの「**アセット」**をクリックして、使用可能なアセット を参照します。ローカライズする1つまたは複数のアセットのリポジトリを選択します。
- 2. 翻訳用にエクスポートする1つまたは複数のアセットを選択します。「アセット」ページ からアセットを個別に選択することも、「コレクション」ページからアセットのコレクシ ョン全体を選択することもできます。
- 3. 翻訳をクリックします。最初に「**詳細」**をクリックし、「翻訳」を選択する必要がある場合があります。
- 4. エクスポートしているアセットのバッチ、つまり翻訳ジョブの情報を入力し、次に「作 成」をクリックします。
 - a. 翻訳ジョブの名前を入力します。
 - b. ソース言語を選択します。
 - c. このアセットの翻訳後のターゲット言語を選択します。
 - d. 手動翻訳のための翻訳パッケージをエクスポートするか、パッケージを翻訳するための翻訳コネクタを選択するかを選択します。
 - e. 完了したら、「作成」をクリックします。
- 5. コンテンツコネクタを使用してコンテンツを翻訳する場合、翻訳ジョブの完了時にインポ ート・オプションを使用できます。●●●をクリックし、「翻訳ジョブ」を選択し、ジョブ のリストを表示してから、終了した翻訳ジョブを右クリックし、「インポート」を選択し ます。

Translata Canata at tana a Dadi na atala	
Updated just now by you LINGOTEK Translation Ready (Just now)	Open
	Refresh
	Import
	Delete

6. コンテンツを手動翻訳している場合、翻訳ジョブが終了したら、エクスポート済アセット の.zip ファイルをダウンロードします。バナーの「**翻訳ジョブ」**をクリックして翻訳ジョ ブを選択し、「**ダウンロード」**をクリックします。

エクスポートの.zip には、job.json および root フォルダが含まれています。これには、エ クスポートした各アセットの*<asset_GUID><asset_name>*.json ファイル(ソース言語フ ァイル)が含まれています。

ソース言語ファイルを手動翻訳している場合:

 ターゲット言語として選択した言語ごとに、de、es、fr などのフォルダを.zip ファイル に作成します。2018 年 12 月より前に翻訳ジョブが作成された場合は、翻訳ジョブの作成 時に選択した言語ごとに、フォルダを含める必要があります。2018 年 12 月より後に翻訳 ジョブが作成された場合は、選択した言語のサブセットを翻訳できます。たとえば、今ド イツ語(de)に翻訳し、後でスペイン語(es)およびフランス語(fr)に翻訳できます。



- **2.** *すべての<asset_GUID><asset_name>*.json ファイルを、root フォルダから 各言語フォルダにコピーします。
- すべての<asset_GUID><asset_name>.jsonファイルの文字列を、適切な言語 に翻訳します。.jsonファイルから文字列を削除したり、ファイルの名前を変更し たりしないでください。
- job.json、root、および翻訳済ファイルを含むすべての言語フォルダを圧縮します。

アセットを翻訳したら、翻訳をインポートします。

- 1. 「翻訳ジョブ」ページで、「インポート」をクリックします。
- 2. 翻訳コネクタを使用して翻訳パッケージが自動的に翻訳された場合、検証プロセス が開始されます。
- 翻訳パッケージが手動で翻訳された場合、「アップロード」をクリックし、翻訳されたアセットの.zip ファイルを選択してから、「OK」をクリックします。 Oracle Content Management は、ジョブで定義されているすべての翻訳が.zip ファイルで使用可能であることを検証します。どのアセットが翻訳ジョブに含まれているかを確認するには、ダイアログのリンクをクリックします。
- 翻訳をインポートする準備ができたら、「インポート」をクリックします。 インポートのステータスがバナーの上に表示されます。「詳細」をクリックすると、 ジョブの詳細を表示できます。

コンテンツ・アイテムのローカライズおよびアセット翻訳ジョブの管理も参照してく ださい。

アセット翻訳ジョブの管理

翻訳用のコンテンツ・アイテムをエクスポートすると、*翻訳ジョブ*が作成されます。 その後、翻訳対象のファイルをダウンロードし、翻訳してから、翻訳ファイルをイン ポートすることができます。

🖍 ノート:

- Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合、翻訳ジョブはサポートされません。完全な機能セットを利用するには、 Premium Edition にアップグレードします。
- この機能はビジネス・リポジトリでは使用できません。

翻訳ジョブを管理する前に、アセットをエクスポートする必要があります。コンテン ツ・アイテムのローカライズを参照してください。

翻訳ジョブのリストを表示するには、サイド・ナビゲーションの「サイト」をクリックしてから、バナー・メニューの「翻訳ジョブ」をクリックします。「翻訳ジョブ」ページには、すべての翻訳ジョブとそのステータスがリストされます。

 ・
 ・
 ・ (準備完了) - エクスポートされたアセットの.zip ファイルは、ダウンロードする準備ができています。



- (進行中) .zip ファイルはダウンロードされました。すべてのターゲット言語のすべての翻訳が正常にインポートされるまで、ステータスは進行中のままです。
- A (完了) このジョブのすべてのターゲット言語の翻訳は、正常にインポートされました。
- 【 (失敗) 翻訳ジョブが失敗しました。ジョブが失敗した理由に関する失敗メッセージ がバナーの上に表示されたはずです。このメッセージを再度表示する必要がある場合は、 翻訳ジョブを**再送信**できます。問題を修正した後、ジョブを**再送信**してください。

実行できるアクションは、次のとおりです:

- 翻訳ジョブの詳細を表示するには、そのジョブを開きます。詳細には、ソース言語、選択 されたすべてのターゲット言語、翻訳に含まれる追加のデータ・フィールド、およびそれ らの翻訳のステータスが含まれます。
- ジョブのエクスポートされたアセットの.zip ファイルをダウンロードするには、ジョブを 選択し、「ダウンロード」をクリックします。
- ジョブを削除するには、ジョブを選択して「削除」をクリックします。
- 翻訳をインポートするには、「インポート」、「アップロード」の順にクリックし、翻訳されたアセットの.zip ファイルを選択してから、「OK」をクリックします。
 Oracle Content Management は、ジョブで定義されているすべての翻訳が.zip ファイルで使用可能であることを検証します。どのアセットが翻訳ジョブに含まれているかを確認するには、ダイアログのリンクをクリックします。翻訳をインポートする準備ができたら、「インポート」をクリックします。

翻訳のロケール

翻訳用のアイテムを送信すると、ターゲット言語がコードで識別され、翻訳サービス・プロ バイダは、そのアイテムを何語に翻訳して返すかを判断します。たとえば、fr はフランス語 を、de はドイツ語を表します。

これらのコードは、その他にも地域の方言に拡張できます。たとえば、de-LI はリヒテンシュ タインで話されるドイツ語のコードで、de-LU はルクセンブルグで話されるドイツ語のコー ドです。ただし、言語サービス・プロバイダが地域の方言に対応していない場合は、コード を指定しても、2 文字のベース言語に切り捨てられます。たとえば、de-LI と de-LU の場合、 コードは de に切り捨てられます。

言語サービス・プロバイダがサポートする地域の方言がすべてではなく、1 つの場合は、代用 が行われます。たとえば、ms-BN はブルネイで話されるマレー語ですが、言語サービス・プ ロバイダがこの方言をサポートしていない場合には、マレーシアで話されるマレー語のコー ドである ms-MY などに切り替えられます。ベリーズの英語である en-BZ とジャマイカの英 語である en-JM など、言語サービス・プロバイダが方言を区別していない場合は、ベース言 語に切り捨てられ、このケースでは英語の en になります。

翻訳のカスタム・ロケール

カスタム・ロケールは、組織のニーズに基づいて、開発者が作成します。カスタム・ロケー ル・コードは、ベース言語と、任意の地域の方言コード(該当する場合)、カスタム・ロケール であることを示す x、カスタマイズを識別するためにお客様の組織が必要とするその他のもの で構成します。たとえば、英語のカスタム・ロケールは、en-JM-x-custom のようにします。



カスタム・ロケールはお客様の組織に固有であるため、翻訳用にカスタム・ロケール・ コードを送信すると、ベース言語と地域の方言(言語サービス・プロバイダがサポート している場合)に切り捨てられます。前述した en-JM-x-custom の例では、カスタマイ ズに固有のコード部分がなくなり、en-JM に切り捨てられます。また、言語サービス・ プロバイダがジャマイカ(JM)の地域の方言コードをサポートしていない場合には、ベ ース言語である en のみに切り捨てられます。

翻訳のカスタム・ロケールの作成

組織の開発者は、翻訳のカスタム・ロケールを作成できます。

- サイド・ナビゲーション・メニューの「管理」セクションで、「コンテンツ」をク リックします。
- 2. バナー・メニューから「ローカリゼーション・ポリシー」を選択します。
- 3. バナーで「言語」をクリックします。
- カスタム・ロケールに使用する地域の方言コードとともにベース言語コードを選択 します。
- ベース・コードの横のフィールドにカスタム・ロケール・トークンを入力します。 カスタム・ローカル・トークンは8文字を超えることができませんが、任意の数の トークンをダッシュで区切って入力できます。英数字(A-Z および 0-9)のみが有効 です。
- 6. 説明を入力します(オプション)。説明が入力されない場合、デフォルトではベース 言語コードの説明が表示されます。

たとえば、「ポルトガル語(ブラジル)」(pt-BR)をベース・コードおよび方言として 選択した場合、custom-south-america をトークンとして入力できます。結果とし て「言語コード」リストに表示されるカスタム・ロケールは、pt-BR-x-customsouth-america になります。説明が入力されていない場合、カスタム・ロケールの 説明は「ポルトガル語(ブラジル)」になります。南米ポルトガル語という説明が入 力された場合は、それが説明として表示されます。

7. 「追加」をクリックします。ローカリゼーション・ポリシーの作成時にカスタム・ ロケールを使用できるようになりました。

カスタム・ロケールを削除するには、「言語コード」リストでカスタム・ロケール・タ イプの横の ^(m) をクリックします。



11 レコメンデーションの使用

レコメンデーションは、場所や関心のある分野などのオーディエンス属性に基づいてアセットを表示することで、Web サイトのビジターにパーソナライズされたエクスペリエンスを提供する方法です。

/ ノート:

Oracle Content Management Starter Edition を使用している場合は、1 つのレコメン デーションのみに制限されます。レコメンデーションの数を増やし、完全な機能セ ットを利用するには、Premium Edition にアップグレードします。

レコメンデーションはリポジトリおよび特定のコンテンツ・タイプに関連付けられ、レコメ ンデーション・ルールはコンテンツ・タイプ・フィールド内の値をオーディエンス属性の値 と比較します。属性はセッションごと(サイト・ビジターの IP アドレスに基づく場所の情報な ど)、システムごと(現在の日付など)、または管理者によって定義されるその他のカスタム属 性ごと(サイト・ビジターの興味を引くのはどんな製品かなど)に一意にすることができます。 たとえば、ヨーロッパの IP アドレスのサイト・ビジターには、まず、サイトのホーム・ペー ジにヨーロッパのイベント告知が表示され、北アメリカからのサイト・ビジターには、米国 とカナダのイベントが表示されます。

サイトでレコメンデーションを使用すると、リポジトリにあるアセットのうち、レコメンデ ーションに定義されているすべてのルールを満たすものが選択されて表示されるため、サイ ト・ビジターにパーソナライズされたエクスペリエンスを提供しやすくなります。レコメン デーション・コンポーネントを追加することで、レコメンデーションをサイト・ページに配 置します。

レコメンデーションは、コンテンツ・コントリビュータであるユーザーが関連リポジトリに レビューのために提出または公開できます。ただし、コントリビュータ権限がない場合でも、 サイトやヘッドレス・エクスペリエンスにレコメンデーションを使用する前に、レコメンデ ーションの表示やテストを実行して、どのように機能するかを確認することが可能です。

最初にトピックを選択します。

- レコメンデーションの表示
- レコメンデーションの作成
- オーディエンス・ルールの定義
- レコメンデーションのテスト
- レコメンデーションの公開
- レコメンデーションの例



レコメンデーションの表示

使用可能なレコメンデーションのリストを表示するには、サイド・メニューで「レコ メンデーション」をクリックし、表示するレコメンデーションのリポジトリを選択し ます。

表示する情報のタブをクリックします。

- 一般 名前や API 名、関連付けられているコンテンツ・タイプ、チャネルおよび 任意のフォールバック・アセットなど、レコメンデーションの詳細が表示されま す。
- ルール レコメンデーションに定義されていて、レコメンデーションされるアセットの検索に使用されるルールがリストされます。
- テスト オーディエンス属性に値を適用し、どのようなレコメンデーションが行われるかを確認するためのテストを実行できます。値が適用されるまでは、指定されたフォールバック・アセットが表示されます。

/ ノート:

アセットのテスト中は、レコメンデーションを使用した場合に何が表示され るかの確認に便利なように、アセットのステータスを「公開済」に設定して チャネルを選択するか、すべてのチャネルでアセットのステータスを「管理」 に設定して、リポジトリ内に、レコメンデーションのルールに一致するどの ようなアセットがあるかを確認します。

レコメンデーションの作成

レコメンデーションはリポジトリの一部で、レコメンデーションに定義されているル ールは特定のコンテンツ・タイプに関連付けられていることに注意してください。リ ポジトリにコントリビュートする権限があるユーザーは、レコメンデーションを作成 できます。

- サイド・メニューで「レコメンデーション」をクリックして、使用するリポジトリ を選択します。
- 2. 「作成」をクリックします。
- レコメンデーションの名前を入力します。次の文字を使用することはできません::';":?<>%*



/ ノート:

必要な API 名が自動的に生成されるか、自動生成された名前を上書きできます。 API 名に次の文字を使用することはできません: '; ":?., < > % * tab space

- 4. 説明を入力します(オプション)。
- 5. コンテンツ・タイプを選択します。コンテンツ・タイプにより、オーディエンス属性にル ールを定義する際に使用できるフィールドが決まります。
- 6. レコメンデーションが公開されるオプションのチャネルを選択します。
- **7.** 結果を表示する順序を選択します。オプションには関連性順または公開日順が含まれます。
- 8. オーディエンス・ルールに定義されている基準に一致するその他のコンテンツがない場合 に使用するフォールバック・アセットを1つ以上選択します。
- 9. 「作成」をクリックします。

オーディエンス・ルールの定義

レコメンデーションを作成したら、パーソナライズされたコンテンツの特定と表示に使用するオーディエンス・ルールを定義する必要があります。

- レコメンデーションの「ルール」タブで、選択メニューから「コンテンツ・フィールド」、 「メタデータ」または「タクソノミ」を選択します。
- コンテンツ・フィールド、メタデータ・フィールド、アセット・カテゴリまたはアセット・タクソノミを選択して、ルール領域にドラッグします。コンテンツおよびメタデータ・フィールド・オプションには、レコメンデーションの作成時に選択されたコンテンツ・タイプで使用可能な、索引付けされたすべてのフィールドが含まれます。大きいテキストや関係、JSON フィールドなど、索引付けされていないフィールドは使用できません。アセット・カテゴリとアセット・タクソノミは、メニューで「タクソノミ」が選択されている場合に使用できます。
- 3. 使用する演算子を選択します。使用可能なオプションは、使用されるコンテンツ・フィー ルドのタイプによって異なります。タクソノミでは、「次と等しい」演算子のみがサポー トされます。



Upcoming Custo	mer Events vo.6	(1) - 1/1 + 3 - 6			Save Done
General	Rules	Test			Draft
Content fields	All rules Rec	ommendation includes	all of these rules		Add Group
Event Date	A Event Co	intry	Operator •	Attribute or Value	
A Event Name				Attribute O Date O Custom	
A Event Country	A Event Cit		Best match	4 Attribute Category	×
A Event City	Asset put	lished date (System)	Equal to	System	• ×
			Not equal to	Select an attribute	•
				Current date	

- **4.** このクリックして、オーディエンス属性を選択するか、検証する特定の値を入力します。
 - コンテンツまたはメタデータ・フィールドで日付フィールドを定義する場合 は、日付フィールドのカスタム関数を追加して、日付および日付範囲を自動的 に定義できます。たとえば、イベント・レコメンデーションを指定して、現在 から今月末までのイベントをリストできます。「1日の開始」または1日の終 わり属性を選択した場合は、オフセットを設定して、本日より特定の日数前ま たは後に結果を開始または終了できます。

ルールでリスト値と互換性のある演算子(「次と等しい」、「次と等しくない」、 「最適な一致」など)を使用する場合は、値リストを入力することもできます。 値リスト内のアイテムは、改行で区切る必要があります。たとえば、「次と等 しい」演算子とスポーツへの関心フィールドの一致を使用しているルールは、 次のように改行で区切られた値リストになります:

basketball baseball soccer

この場合、ルールは、コンテンツ・フィールドに basketball の値、baseball の 値または soccer の値がある場合に一致します。

- アセット・カテゴリまたはアセット・タクソノミでは、有効な属性カテゴリとして「カスタム」のみを使用できます。テストする場合、カスタム・オーディエンス属性の値を選択する必要があります。
- アセット・カテゴリ・ルールの子を含めるを有効にした場合、指定されたカテゴリと一致するすべてのアセットが、その子と一致するアセットとともに結果セットに含まれます。
- 単一ルールのすべての複数値オプションでは、**OR** 演算子が使用されます。
- 5. ルールの選択が完了したら、「完了」をクリックします。
- 6. 必要に応じて、追加ルールの作成を続行します。必要な数のルールを追加して、目 的の結果を返すことができます。



複数のルールの作成時に、すべてのルールを有効にするか(このルールおよび別のルール)、いずれかのルールを有効にするか(このルールまたは別のルール)を選択します。「すべて」を選択した場合、コンテンツが一致するには、すべてのルールが true である必要があります。つまり、AND によってすべてのルールが 関連付けられているということです。たとえば、レコメンデーションに都市イベントがポートランドと等しく、州イベントがオレゴンと等しいことを示すルールが1つある場合、オレゴンのポートランドにしかないイベントが表示され、メインのポートランドにあるイベントは表示されません。

「いずれか」を選択した場合、コンテンツが有効になるには、少なくとも1つのルールが満たされている必要があります。つまり、各ルールは OR によって関連付けられています。たとえば、レコメンデーションに都市イベントがニューヨークに等しいことを示すルールがあり、都市イベントがボストンであることを示す別のルールがある場合、ニューヨークとボストンの両方に発生しているイベントが表示されます。

- 7. ルールの追加を完了したら、「保存」をクリックします。
- 8. レコメンデーションの編集を完了したら、「完了」をクリックします。

レコメンデーションのすべてのオーディエンス・ルールは、レコメンデーションの詳細の「ル ール」タブにリストされています。

オーディエンス・ルールのグループ化

オーディエンス・ルールをグループ化すると、複合式を作成して詳細な結果を返すことがで きます。これにより、オーディエンス・メンバーに表示されるコンテンツを正確に示すこと ができます。また、AND および ALL グループ演算子を使用すると、複数のルールおよびサブ グループが相互作用してコンテンツを選択する方法を決定できることにも注意してくださ い。

たとえば、あるイベントに関連するコンテンツを選択するには、特定の価格範囲内でユーザ ーの付近にいる 200 人以上のユーザーのイベントを表示するとします。ニューヨークに移動 するよりもボストンに移動する方が高価になる可能性があるので、ニューヨークのイベント はボストンのイベントより高価になる場合があります。ルールは次のようになります:

展示者 >= 200 AND ((都市 = ニューヨーク AND 価格 < \$1000) OR (都市 = ボストン AND 価格 <= \$500))

- 1. 「ルール」タブで、を選択します。
- 2. 展示者数をルール領域にドラッグして「次以上」を選択して 200 と入力します。
- 3. 「グループの追加」をクリックしてルールの新規グループを作成し、任意のルールを選択 します。
- 4. 「グループの追加」を再度クリックして前のステップで作成したグループ内で新規子グル ープを作成し、すべてのルールを選択します。
- 5. イベント都市をルール・グループにドラッグし、「次と等しい」を選択して「New York」 と入力します。
- 6. チケットの価格を同じルール・グループにドラッグし、「小さい」を選択して、これを 1000 に設定します。
- 7. 「グループの追加」を再度クリックして、ステップ4 で作成したグループのレベルで新規 兄弟グループを作成し、すべてのルールを選択します。
- 8. イベント都市をルール・グループにドラッグして「次と等しい」を選択し、「Boston」と 入力します。



9. チケットの価格を同じルール・グループにドラッグし、「次以下」を選択して、こ れを 500 に設定します。

ルール・セットでは、ニューヨークのチケット価格が 1000 ドル未満の、最低 200 人の 展示者のイベントおよびボストンでチケット価格が 500 ドル未満の、展示者のイベン トを返します。

レコメンデーションのテスト

レコメンデーションのテストでは、オーディエンス属性に値を適用し、どのようなレ コメンデーションが行われるかを確認するためのテストを実行できます。値が適用さ れるまでは、フォールバック・アセットが表示されます。

- レコメンデーションの「テスト」タブで、アセット・ステータスを選択します。「管理」を選択すると、リポジトリ内に、レコメンデーションのルールに一致するどのようなアセットがあるかを確認できます。「公開済」とチャネルを選択して、表示される公開済コンテンツ・アイテムを確認できます。
- 「オーディエンス属性」のフィールドに値を入力して、「適用」をクリックします。 ルールでリスト値と互換性のある演算子(「次と等しい」、「次と等しくない」、「最適な一致」など)を使用する場合は、値リストを入力できます。値リスト内のアイテムは、次のように改行で区切る必要があります:

basketball baseball soccer

💉 ノート:

入力した値は、ブラウザのローカル・ストレージに永続化され、次回レ コメンデーションをテストする際に使用されます。

デフォルトでは、テストは現在のシステム日付を使用して実行され、**月の開始や月** の終わりなど、オーディエンス・ルールで使用されている任意の日付関数を処理で きます。レコメンデーションを別の日付であるかのようにテストする場合は、日付 を選択し、現在の日付(システム)フィールドを使用してシミュレートできます。

3. テストが終了したら、「完了」をクリックします。

テスト・プロファイルの作成と管理

テスト・プロファイルは、サイト・ビジターを表す異なる属性値を使用したレコメン デーションのテストを容易にするために使用できるオーディエンス属性のコレクショ ンです。テスト・プロファイルを作成するには:

- レコメンデーションを作成してルール・セットを定義したら、「テスト」タブの「オ ーディエンス属性」セクションに属性値を入力して、「プロファイルの作成」をク リックします。
- 2. 新しいプロファイルの名前とオプションの説明を入力します。「**テスト」**タブに入力したオーディエンス属性および値は、現在のプロファイルに取得されます。



- 3. 必要に応じて(たとえば、追加のオーディエンス属性を使用して他のレコメンデーション をテストするためにこのプロファイルを使用する場合)、「追加」をクリックし、追加のオ ーディエンス属性および値を追加します。
- 4. 終了したら、「作成」をクリックします。

/ ノート: テスト・プロファイルは、ブラウザのローカル・ストレージに永続化され、次回レ コメンデーションをテストする際に使用されます。

新しいプロファイルがテスト・プロファイル・メニューに追加されます。異なる属性値が含 まれる異なるプロファイルを使用してレコメンデーションをテストするためのプロファイル をリストから選択します。テスト・プロファイル・メニューは、ページに配置されたレコメ ンデーションをテストするときに使用するサイトの構築時にも使用できます。

テスト・プロファイルはサイトの構築時にのみ使用できます。テスト・プロファイルを複製、 編集および削除するには、Oracle Content Management でレコメンデーションを編集する必 要があります。

- Oracle Content Management のサイド・ナビゲーション・メニューの「レコメンデーション」をクリックします。
- 2. 編集するレコメンデーションを選択して、メニュー・バーの「編集」をクリックします。
- 3. 「テスト」をクリックして「テスト」タブを開きます。
- 「テスト」タブのテスト・プロファイル・メニューの上にある「管理」をクリックします。
 テスト・プロファイルを複製、編集および削除できます。

レコメンデーションの公開

レコメンデーションの作成とテストが正常に完了したら、ターゲット対象チャネルに公開し ます。

- 1. サイド・メニューで「レコメンデーション」をクリックします。
- 2. レコメンデーションを選択して「公開」をクリックします。検証結果が表示されます。

= 🔘 Content Management			© © ¤
Search			Q
Validation Results			Cancel Publish
Channels			
○ Targeted ● Selected			
blog-site 🙁			Validate
Channel Show			
🔗 blog-site 🔹 🖌 All	•		Reveal All Hide All
≣ Results		0 Total Issue	es / 0 Channel Issues
∆ Item	Туре	Status	
 Consumers 	Recommendation	Ready	×
Setting media URL in t	Starter-Blog-Post		
✓ Dependencies			
Author 5(420254).jpg	Digital Asset	Ready	
 Getting media URL in the Co. 	Translation Set	Ready	
▼ Getting media URL (er	-US)Starter-Blog-Post	Ready / Required	
A Hoador 3(425702) inc	Digital Accot		

- 3. ターゲット対象チャネルとレコメンデーション・ステータスを含め、検証された結 果が正確であることを確認します。全アイテムの依存関係のリストを表示するこ とも可能です。レコメンデーションの場合、依存関係とみなされるのは、指定され たフォールバック・アセットのみです。
- 4. レコメンデーションのステータスと依存関係の確認の準備ができたら、「**公開」**を クリックします。

レコメンデーションの例

サイト・ビジターの近くで開催されるイベントをリストするレコメンデーションを作成し、ターゲットとするチャネルに公開して、ページに配置してみましょう。この例では、サイト管理者が Customer-Events というコンテンツ・タイプと、Customer Events サイトに公開される Customer-Events という公開チャネルをすでに作成しているとします。

- サイド・メニューで「レコメンデーション」をクリックして、使用するリポジトリ を選択します。
- 2. 「作成」をクリックします。
- **3. Upcoming Customer Events** など、レコメンデーションの名前を入力します。必要な API 名が自動的に生成されます。

	Home	= O	Search			Q	Ц	0	0		
⊕	Assets	Uncoming Cu	Uncoming Customer Events v0.5						Done		
Ð	Sites	opconning ea	opcoming customer livents was						Done		
Ø	Recommendations										
Q	Developer	General		Rules	Test				Draft		
盟	Analytics	Name *									
COLL	ABORATION	Upcoming Customer Ever	nts								
Ð	Documents	The recommendation name sh	ould not contain the follow	/ing characters: ;":?<%>{}/\	*#						
ಧ	Conversations	API Name * Upcoming-Customer-Eve	nts								
ADMI	NISTRATION	Description									
۲	System	Customer events near you in the next two months					110				
æ	Integrations	Content Type *	Content Type *					146 Customer Events Item			
呣	Content	Customer-Events			•	Custo	mer-cver	ns nem			
		Channels									
		Customer-Events 🛞	Demo Channel 🔞				\mathbf{O}				
		Results Display Orde	ır.				Publishe	d			
		Relevance			•						
		Fallback Assets									
		CUSTOMER-EVENTS Londo	on Coffee Fest	Create - Select	Clear						
		Add									

- 4. 説明を入力します(オプション)。
- 5. 「Customer-Events」コンテンツ・タイプを選択します。
- 6. レコメンデーションが公開される「Customer-Events」チャネルを選択します。
- 7. オーディエンス・ルールに定義されている基準に一致するコンテンツがない場合に使用す るフォールバック・アセットを選択します。



opcoming custom	ler Events V0.6			Save	5 1
					1.11
General	Rules Test				C
Content fields •	All rules • Recommendation includes a	II of these rules			Add G
Event Date	A Event Country	Operator	Attribute or Value		
A Event Name			Attribute C	Date 🔿 Custom	
A Event Country	A Event City	Best match	Attribute Categor	у	
A Event City	Asset published date (System)	Equal to	System System Attribute	•]
		Not equal to	Select an attr	ibute 🔻	

8. 「保存」をクリックします。「ルール」タブが表示されます。

- 9. コンテンツ・フィールド「Event Country」を選択してルール領域にドラッグし、 オーディエンス属性「Country name」に一致するよう設定します。
- **10.** コンテンツ・フィールド「Event City」を選択して、オーディエンス属性「City name」に一致するよう設定します。
- レコメンデーションをテストするには、「テスト」をクリックして、オーディエン ス属性の国名として「UK」、都市名として「London」と入力し、「適用」をクリ ックします。フォールバック・アセットは、オーディエンス属性に一致するリポジ トリのコンテンツ・アイテムに置き換えられます。
- **12.「完了」**をクリックします。



🗋 Home	= O Search		Q	Ц	?	0
🕀 Assets	Upcoming Customer	Events v0.6				Done
同 Sites	I			10.0		
Q Recommendations						
@ Developer	General	Rules	Test			Draft 🚺
Analytics	Asset Status				-	
COLLABORATION	Management •					
Documents	Channel	Morning, noon, or night, coffee is just right.	ndon			
Conversations	All	Welcome to the London Coffee Festival, where once a year, Caffeine Crazy	offee			
ADMINISTRATION	System Date	is a way of life! 8/21/2020, 12:00:00 AM				
රීම System	8/21/2020 12:00 AM	The London Coffee Festival by Al	egra			
A Integrations	Audience Attributes Test Profile Manage	en-US Master London Coffee Fest v0.1 7 minutes ago	0			
Content	No Profile 🔹	Customer-Events				
	Update Profile Create Profile	1				
	City name (Session)					
	London					
	Apply					

13. テストが成功したら、レコメンデーションを公開します。



コレクションの使用

コレクションを使用すると、Web サイト、外部アプリケーションまたはマーケティング・キャンペーンで使用するコンテンツ・アイテム、デジタル・アセットおよびドキュメントをグループ化できます。コレクションを作成および共有するには、エンタープライズ・ユーザーである必要があります。

コレクションは、個々のリポジトリに固有で、リポジトリ内の一部のアイテムを管理するために使用できます。コレクションのすべてのアイテムは、そのコレクションに割り当てられた公開チャネルに関連付けられています。

アセット・ビューで「**コレクション」**をクリックしてコレクション・リストにアクセスする と、自分が管理できるコレクションのみが表示されます。リポジトリのコントリビュータ・ ロールを持っている場合、コレクションを作成できます。

すべてのユーザーは、アセットをフィルタしたときに、完全なコレクション・リストを参照 できます。ただし、コレクションにアセットを追加するには、そのコレクションのコントリ ビュータ・ロールを持っている必要があります。

Web サイトを作成する場合、その Web サイトとともに使用するリポジトリを指定します。 Web サイトを作成すると、コレクションが作成され、そのサイトの作成時に使用されていた リポジトリに関連付けられます。サイト作成によるコレクションにアセットを追加すると、 それらのアセットは、そのサイトで使用可能になります。

サイトに関連付けられていないコレクションを作成することもできます。たとえば、スポー ツ・カーに関連するコンテンツを含むリポジトリがあるとします。コレクションを使用して、 アメリカ製のスポーツ・カー、フランス製のスポーツ・カー、イタリア製のスポーツ・カー のすべてのデジタル・アセットをまとめてグループ化できます。リポジトリ内ですべてのス ポーツ・カーのアセットを管理しながら、その一部(アメリカ製のスポーツ・カー)を個別に管 理できます。アセットを適切なコレクションに配置することで、迅速なソートや正確な検索 を簡単に実行できます。

最初にトピックを選択します。

- コレクションの作成
- コレクションの共有

コレクションの作成

コレクションを使用すると、Web サイト、外部アプリケーションまたはマーケティング・キャンペーンで使用するコンテンツ・アイテム、デジタル・アセットおよびドキュメントをグループ化できます。コレクションを作成および共有するには、エンタープライズ・ユーザーである必要があります。

サイトに関連付けられていないコレクションを作成するには:

- 新しいコレクションを作成するため、左側のナビゲーション・パネルの「アセット」をクリックします。
- アセット・ビューが表示されます。使用するリポジトリを選択して●●●をクリックし、 「コレクション」を選択します。



- 3. 「作成」をクリックします。
- 4. 公開チャネルを選択してコレクションに関連付けます。
- 5. 完了後、「完了」をクリックします。

コレクションの名前またはチャネルを変更するには、コレクションを選択してメニュ ー・バーまたは右クリック・メニューから「プロパティ」をクリックします。プロパ ティ・ページでコレクションの詳細を編集できます。

コレクションの共有

他のユーザーが使用できるように、コレクションを共有する必要はありません。リポ ジトリの他のユーザーは、アセットを追加または削除できない場合でも、コレクショ ンを表示して、アセットをフィルタするためにそれを使用できます。リポジトリのメ ンバーであるすべてのユーザーは、デフォルトで参照者ロールを持っています。

共有を使用して、コントリビュータまたはマネージャ・ロールを持つユーザーを追加 します。共有は、フォルダを共有する場合と同じ方法で行います。コレクションを選 択し、「メンバー」をクリックして、メンバーをコレクションに追加します。グループ とは共有できません。Web サイト・コレクションを他のユーザーと共有すると、その ユーザーは、ダウンロード実行者ロールで Web サイトに自動的に追加されます。必要 に応じて、後でそのロールを変更できます。また、他のユーザーが Web サイトをあな たと共有すると、そのサイトのコレクションが表示されます。



A トラブルシューティング

ここでは、デジタル・アセットの使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

- アセット・タイプが表示されません
- アセット・リストに知らないファイルが表示されます
- 必要なアセットまたはコレクションが表示されません
- デジタル・アセットを削除できません
- 公開チャネルを削除できません

アセット・タイプが表示されません

アセット・タイプはリポジトリに関連付ける必要があります。これを使用してアセットを作 成するには、少なくともリポジトリに対するコントリビュータ・ロールを持っている必要が あります。

アセット・タイプは、コンテンツ管理者ロールを持つユーザーが作成できます。アセット・ タイプの作成後は、それを使用してアセットを作成できるように、アセット・タイプをリポ ジトリに関連付ける必要があります。デジタル・アセットを追加またはコンテンツ・アイテ ムを作成しようとしたときに、目的のアセット・タイプがリストに表示されない場合は、コ ンテンツ管理者に問い合せてください。

アセット・リストに知らないファイルが表示されま す

コレクションがあなたと共有されていた場合、あなたのアセット・リスト内にこれらのアセットが表示されます。

ナビゲーション・メニューから「**アセット」**を選択すると、アクセス可能なアセットがすべて表示されます。これには、あなたと共有されていたコレクション内のすべてのアセットが含まれます。アセットが管理されているコレクションは検索できます。アセットをダブルクリックすると、アイテムのプロパティが表示されます。アセットに関連付けられたコレクションおよびタグが表示されます。

必要なアセットまたはコレクションが表示されません。

アセット・ビューおよびコレクション・リストには、アクセスできるアイテムが表示されま す。

コレクションは Web サイトに関連付けられている場合もあれば、プロジェクトやイベント用 に作成するもののように、独立したコレクションである場合もあります。サイトに関連付け られたコレクションは、そのサイトの作成時に選択されたリポジトリにも関連付けられてい



ます。コレクション・リストを表示する際に、適切なリポジトリ内を検索しているこ とを確認してください。

すべてのユーザーは、アセットのフィルタ時にコレクションを表示できますが、表示 されるのは、自分がコレクション・リストで管理可能なコレクションのみです。「**コレ クション」**をクリックしたときにリストされるコレクションが表示されない場合、そ のコレクションのマネージャ・ロールがありません。

デジタル・アセットを削除できません

「**削除」**オプションは、デジタル・アセットを選択した場合には表示されないことがあ ります。

公開されているアセットは、使用中の可能性があるため、削除できません。アセット を削除するのに必要とされる適切なロールを持っていない可能性もあります。たとえ ば、リポジトリで参照者ロールを持っている場合、アセットに実行できる操作は限定 されます。

公開チャネルを削除できません

公開チャネルは、ナビゲーション・メニューの管理オプションを使用して、あるいは サイトの作成時に作成することができます。

公開済のアセットがない公開チャネルは削除できます。アセットが公開されている場合、チャネルは削除できません。サイトの作成時に作成した公開チャネルも削除でき ません。その種類のチャネルを削除するには、サイトを削除する必要があります。

